

IBM ThinkPad 390
ユーザズ・リファレンス



IBM ThinkPad 390
ユーザーズ・リファレンス

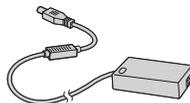
注

本書がサポートする製品をご使用になる前に、xiiiページの『安全に正しくお使いいただくために』、135ページの付録B、『取り扱い上のヒント』、および141ページの付録C、『特記事項』を必ずお読みください。

AC アダプターについて

ThinkPad の AC アダプターは、日本国内での使用を前提として、次の規格に適合しています。

- 定格：
 - 入力: AC 100V 50/60Hz
 - 出力: DC 16V
- 型式認可番号：
第 91 - 56011 号 または 第 91 - 56055 号

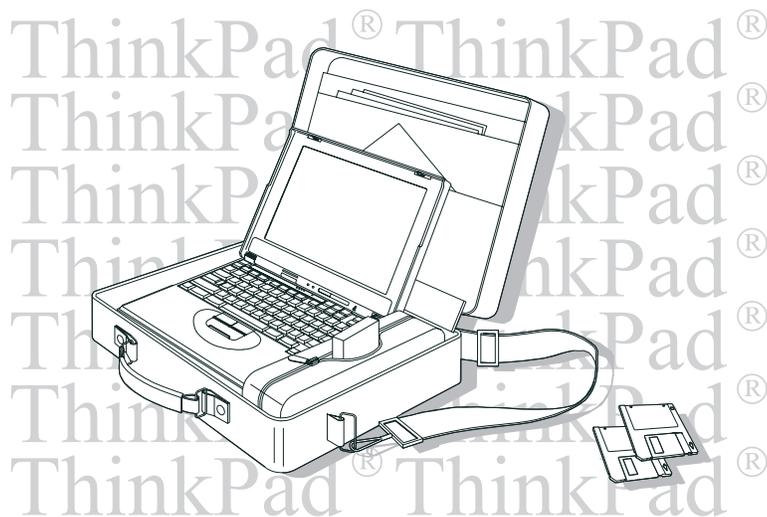


第 1 版 (1998 年 9 月)

原典	27L2643 IBM ThinkPad 390 User's Reference
発行	日本アイ・ビー・エム株式会社
担当	ナショナル・ランゲージ・サポート

このたびは **IBM ThinkPad 390** を
お買い上げいただき、
ありがとうございます

ThinkPad 390 は
お客様の技術的要件と高い信頼にお応えできるよう開発されました。
モバイル・コンピューターのニーズにしっかりと取り組んだ製品を
今後も作り続けるため、
セットアップ・ガイドを参照して、IBM にお客様登録をしていただくよう
お願いいたします。



機能の特徴

IBM ThinkPad の世界へようこそ!

高い機能をもつこのオールインワン・ノートブック・コンピュータには、お客様のコンピュータ環境を、より豊かで楽しいものにする数々の先進技術と使いやすい機能が装備されています。これらの機能のいくつかを次で紹介します。紹介されている機能の詳細とその他の機能については、本書の該当する章を参照してください。

高速プロセッサ

Intel® 高速プロセッサ搭載により、高速データ処理が可能になり、パフォーマンスが向上しました。

大容量のハードディスク・ドライブ

大容量ハードディスク・ドライブは、増加するデータにも充分に対応できます。このハードディスク・ドライブは、オプションでアップグレードすることができます。

大型カラー液晶ディスプレイ

大型の TFT (Thin-Film Transistor) 液晶ディスプレイは、鮮明でクリアな文字とグラフィックスを表示できます。

内蔵 CD-ROM ドライブ

モデルによっては装備されていません。データ読み取り速度が 10~24 倍速の拡張 CD-ROM ドライブが、コンピュータのマルチメディア機能を高めます。

リチウム・イオンまたはニッケル水素バッテリー・パック

大容量バッテリー・パックにより、ThinkPad を長時間携帯して使用できます。

オーディオ機能

ThinkPad には、オーディオ機能が内蔵されており、サウンドの録音および再生が可能です。再生機能では、2 つの高品質ステレオ・スピーカーによって、3D サウンドをお楽しみいただけます。さらに、ThinkPad では、DOS サウンド・ブラスター Pro ゲームもサポートしています。

オーディオ機能の使用法 ➡ ステップ・アップ・ガイド

拡張機能付きのトラックポイント

ThinkPad には、トラックポイントを押すだけで選択操作のできる拡張トラックポイント機能が付いています。また、新しく取り付けられたセンター・ボタンによって、トラックポイントが、スクロール制御デバイスまたは拡大表示に変わります。

トラックポイントの使用法 ➡ 10ページの『トラックポイント』

PC カード・サポート

ThinkPad には、16 ビット PC カード、CardBus カードおよび ZV (Zoomed Video) カードを取り付けられる 2 つの PC カード用スロットが装備されています。

PC カードの取り付け方法 ➡ 71ページの『PC カードの取り付け』

通信

PC カードのモデムを使用すると、効率的なデータ通信および FAX 通信が可能になります。ThinkPad の赤外線通信機能を使えば、もう 1 台の赤外線ポートを装備した ThinkPad や他のシステムと、ワイヤレスでデータ交換をすることができます。

目次

機能の特徴	iv
本書について	xi
安全に正しくお使いいただくために	xiii
絵表示について	xiii
危険/注意ラベルの表示について	xiii
レーザーに関する承諾事項	xvi
第1章 ご使用の ThinkPad について	1
各部の機能と名称	3
ThinkPad の正面図	3
ThinkPad の背面図	5
ThinkPad の底面図	7
システム状況インディケータ	8
ThinkPad の機能	10
キーボードの機能	10
ウルトラベイ FX	18
CD-ROM ドライブ	18
ThinkPad ユーティリティ・プログラム	22
システムのバックアップ	34
導入済みアプリケーション CD	34
Product Recovery CD-ROM	34
ディスク・ファクトリー	34
ConfigSafe	35
最新のソフトウェアの入手方法	35
バッテリー・パックの交換	36
第2章 ThinkPad 機能の拡張	39
トラックポイントのカスタマイズ	40
メモリーの増設	45
DIMM の取り付け	46
DIMM の取り外し方法	49
ハードディスク・ドライブのアップグレード	51

ウルトラベイ FX デバイスの交換	53
マウス、数値キーパッド、および外付けキーボードの接続	58
マウスまたは数値キーパッドの接続	58
外付けキーボードとマウスの接続	61
トラックポイントの使用不可	63
外付けディスプレイの接続	64
プリンターの接続	70
PC カードの取り付け	71
PC カードの取り外し	73
PC カード・モデム (オプション) の取り付け	74
ポート・リプリケーターの使用	76
CardBus スロットを使用可能にするには (Windows 98 の場合)	78
第3章 システムの保護	79
パスワードの使用	80
パスワードの入力	81
パスワードの設定	83
パスワードの変更と消去	84
ロック機能の使用	86
セキュリティーねじの使用	86
第4章 問題が起こったら...	89
よく聞かれる質問とその答え	90
ヒントおよび制限事項	100
ポート・リプリケーターで PC カードを使用	101
USB コネクタに関する考慮事項	102
2 枚目の CardBus カードの使用	102
マイクロホンの使用	102
問題判別ガイド	103
問題判別表	104
エラー・コードまたは画面上のメッセージ	105
エラー・コードまたは画面上のメッセージで表示されない問題	106
入力装置の問題	107
サスペンド・モードまたはハイバネーション・モードの問題	108
液晶ディスプレイ (LCD) の問題	111
インディケータの問題	112
バッテリーの問題	112

CD-ROM ドライブの問題	113
赤外線通信の問題	114
オーディオの問題	114
汎用シリアル・バス (USB) の問題	115
PC カードの問題	116
プリンターの問題	118
外付けディスプレイの問題	119
ポート・リプリケーターの問題	122
その他のオプションの問題	122
ソフトウェアの問題	124
その他の問題	125
削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復	126
リカバリー CD の使用	126
導入済みアプリケーション CD の使用	126
第5章 サービス体制	127
お使いの ThinkPad に関する情報	128
オプション・リスト	128
ID 番号の記録	128
問題記録用紙	129
付録A. 製品仕様	131
機能	131
仕様	133
付録B. 取り扱い上のヒント	135
次のことは行わないでください。	135
次のことを行うようにしてください。	137
ThinkPad のお手入れ	137
ThinkPad の携帯	137
バッテリーの寿命を長持ちさせるには	138
ハイバネーション機能の作成	139
ThinkPad にとっての厳しい環境	140
付録C. 特記事項	141
西暦 2000 年対応および説明	141
商標	142

用語集	145
索引	149

本書について

本書には、IBM ThinkPad 390 を操作するのに役立つ情報が記載されています。ThinkPad を実際に使用する前に、*セットアップ・ガイド*と本書の第1章を必ずお読みください。

- 第1章、『ご使用の ThinkPad について』では、ThinkPad の基本機能を紹介します。
- 第2章、『ThinkPad 機能の拡張』では、オプションの取り付け方法およびトラックポイントの使用法について説明します。
- 第3章、『システムの保護』では、パスワードの使用、パーソナライゼーション機能、およびロックの使用について説明します。
- 第4章、『問題が起こったら...』では、ThinkPad に問題が起こった場合の対処法について説明します。また、問題判別ガイドと、削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復方法についての説明が記載されています。
- 第5章、『サービス体制』では、IBM のサポートおよびサービスの各種オプションについて説明します。
- 付録A、『製品仕様』では、ThinkPad に関する機能と仕様について説明します。
- 付録B、『取り扱い上のヒント』では、ThinkPad を使用するときに知っておく必要のある事柄について説明します。

『用語集』では、本書で使用する用語を定義します。また、本書の最後には『索引』が付いています。

本書で使われるアイコン

次は、ThinkPad で使用する各オペレーティング・システムに固有の手順や説明を表すためのものです。



Microsoft® Windows 98®
に関する情報



IBM Operating System/2®
(OS/2)® に関する情報



Microsoft® Windows 95®
に関する情報



IBM PC/DOS に関する情報



Microsoft® Windows
NT® に関する情報



Microsoft® Windows
3.1® に関する情報

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書には、本製品を安全に正しくご使用いただくための安全表示が記述されています。この取扱説明書を保管して、必要に応じて参照してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への安全表示については、製品を正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある危険が存在する内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

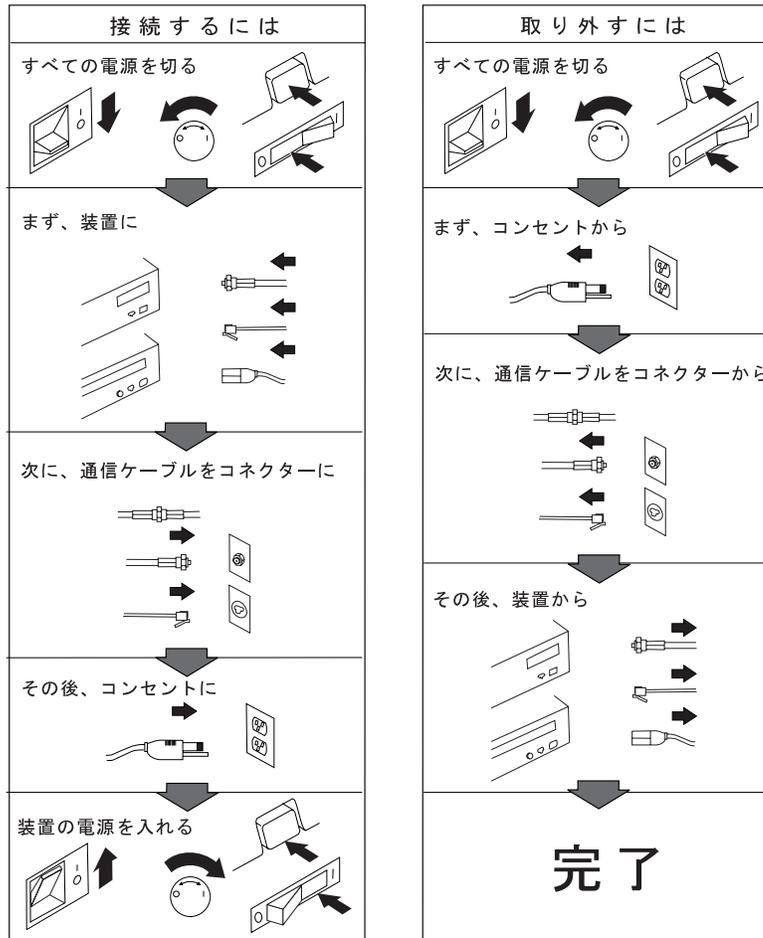
危険/注意ラベルの表示について

この製品の外部または内部に黄色地に黒文字で表示されているラベルがある場合は、安全上に関しての、危険または注意ラベルです。必ず表示の指示に従ってください。

この取扱説明書に記述されている内容以外に、危険または注意ラベルによる表示がある場合は (たとえば製品上)、必ずそのラベルの表示による指示に従ってください。

⚠危険

- 電源コードは、正しく設置された電源コンセントに接続してください。
- 電源コードは、電話ケーブル、および通信ケーブルには危険な電流が流れています。感電を防止するために、コンピューターまたは接続装置を設置または移動するとき、またはカバーを開ける際には、下記の手順でケーブルの接続および取り外しを行ってください。



電話ケーブル、通信ケーブルまたはテレビのアンテナ線を接続する製品は、雷の発生時にはケーブルの接続および取り外しをしないでください。

⚠ 危険

充電式バッテリー・パックを分解、焼却、ショートさせないでください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に液晶ディスプレイを捨てないでください。液晶ディスプレイの廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従ってください。

⚠ 危険

リチウム・バッテリー (IBM P/N 02K6502 UL - 認定済みコンポーネント - ファイル No.MH12210) は、IBM 代理店または IBM 特約店でのみお求めになれます。これには、リチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、および廃棄が原因で爆発する危険性があります。バッテリーを水に浸したり、**100°C**以上に熱したり、修理や分解をしないでください。液晶ディスプレイの廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従ってください。

⚠ 注意

液晶ディスプレイ (LCD) 内の蛍光灯の中には水銀が含まれています。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に LCD を捨てないでください。LCD の廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従ってください。

LCD はガラス製なので、ThinkPad を乱暴に扱ったり落としたりすると壊れることがあります。LCD が壊れて内部の液体が目に入ったり、手についたりした場合は、すぐに水で **15** 分以上洗ってください。その後、何らかの症状が現れた場合は、医師の診断を受けてください。

レーザーに関する承諾事項

IBM ThinkPad 390 に装備されている CD-ROM ドライブはレーザーを使用しています。次に示す CD-ROM ドライブの分類ラベルが、ドライブの表面に貼られています。

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1
LUOKAN 1 LASERLAITE
APPAREIL A LASER DE CLASSE 1
KLASS 1 LASER APPARAT

このドライブは EN60825 の要件に準拠していると認定されています。

危険

CD-ROM を分解しないでください。**CD-ROM** 内部にはお客様による調節の必要な部品はありません。

本書で指定された内容以外の、お客様による整備、調整、または手順を行った場合、レーザーの放射および露出の危険があります。

Class I (1) のレーザー製品は危険物とみなされていません。この CD-ROM ドライブには、760~810 ナノメートルの波長で作動する Class I (1) の 0.5 ミリワットの aluminum gallium-arsenide レーザーが入っています。このレーザー・システムおよび CD-ROM ドライブの設計は、通常の操作、保守を維持する限り、Class I (1) レベルを越えるレーザー放射は起こらないことを保証しています。

第1章

ご使用の ThinkPad について

本章では、ThinkPad の基本的な情報について説明します。

注

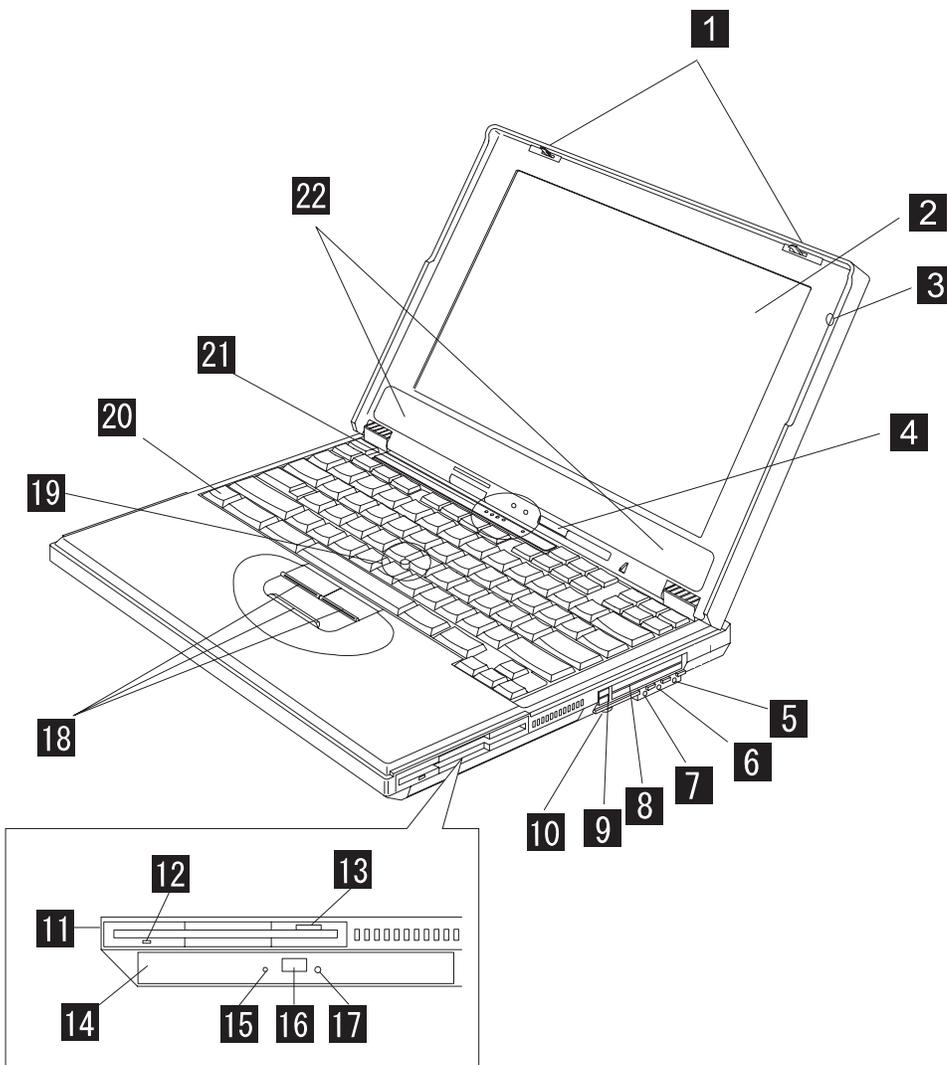
ThinkPad の電源をオフにした場合は、再度電源を入れるまでに 5 秒以上お待ちください。また、ThinkPad をサスペンド・モードまたはハイバネーション・モードにした場合も、5 秒以上待ってから通常の操作状態に戻してください。

各部の機能と名称	3
ThinkPad の正面図	3
ThinkPad の背面図	5
ThinkPad の底面図	7
システム状況インディケータ	8
ThinkPad の機能	10
キーボードの機能	10
トラックポイント	10
Fn キー機能	14
数値キーパッド	17
ウルトラベイ FX	18
CD-ROM ドライブ	18
ThinkPad ユーティリティ	22
BIOS セットアップ・ユーティリティ	22
ThinkPad の設定プログラム	32
システムのバックアップ	34
導入済みアプリケーション CD	34
Product Recovery CD-ROM	34
ディスク	34

ConfigSafe	35
最新のソフトウェアの入手方法	35
バッテリー・パックの交換	36

各部の機能と名称

ThinkPad の正面図

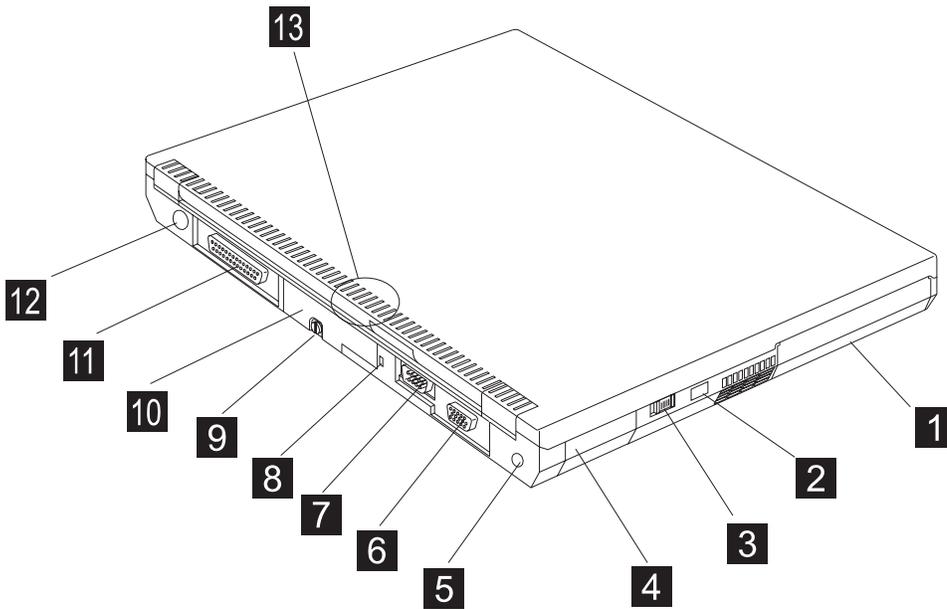


- 1** LCD ラッチ。これを押すと LCD が解放され、開くことができます。

各部の機能と名称

- 2** カラー液晶ディスプレイ (LCD) パネル。ThinkPad の出力を表示します。
- 3** 内蔵マイクロホン。オーディオ対応のアプリケーション・プログラムを使用する場合に、このマイクロホンから音声を ThinkPad に取り込むことができます。
- 4** 輝度調節つまみ。ディスプレイの明るさを調節します。
- 5**  ヘッドホン・ジャック。直径 3.5 mm (1/8インチ) のジャックで、ステレオのヘッドホンまたは外付けスピーカーを接続します。
- 6**  ライン入力ジャック。直径 3.5 mm (1/8インチ) のジャックで、外付けオーディオ装置を接続します。
- 7**  マイクロホン・ジャック。直径 3.5 mm (1/8インチ) のジャックで、電源内蔵型ステレオ・マイクロホンを接続します。
- 注: マイクロホン・ジャックにはマイクロホン以外の装置を接続しないでください。
- 8** PC カード・スロット。PC カードを挿入します。
- 9** PC カード排出ボタン。PC カード・スロットから PC カードを取り出すときに押します。
- 10**  オーディオ・音量つまみ。スピーカーの音量を調整します。
- 11** ディスケット・ドライブ (ウルトラベイ FX に取り付けられた状態が示されています)。
- 12** ディスケット・ドライブ活動インディケーター。コンピューターがディスク・ドライブにアクセスしているときに点灯します。
- 13** ディスケット排出ボタン。ディスク・ドライブからディスクを取り出すときに押します。
- 14** CD-ROM ドライブ (ウルトラベイ FX に取り付けられた状態を示す)。
- 15** CD-ROM アクセス・インディケーター。CD-ROM ドライブの CD-ROM からデータが読み取られているときにオンになります。
- 16** CD-ROM 排出ボタン。CD-ROM トレイを出すときに押します。
- 17** 手動排出穴 CD-ROM 排出ボタンで CD-ROM トレイが出てこない場合に使用します。ピンの先などをこの穴に差し込むと、CD-ROM トレイが排出されます。
- 18** トラックポイント・ボタン。トラックポイント **20** とともに使用し、マウス・ボタンと同様の働きをします。
- 19** トラックポイント 組み込み式のポインティング・デバイスで、マウスと同様の働きを提供します。
- 20** Fn キー。ファンクション・キーとともに使用して、Fn キー機能を実行します。
- 21** インディケーター・パネル。システム状況インディケーターと、その記号で ThinkPad の状態を表します。
- 22** 内蔵スピーカー。ステレオ・サウンドを生成します。

ThinkPad の背面図

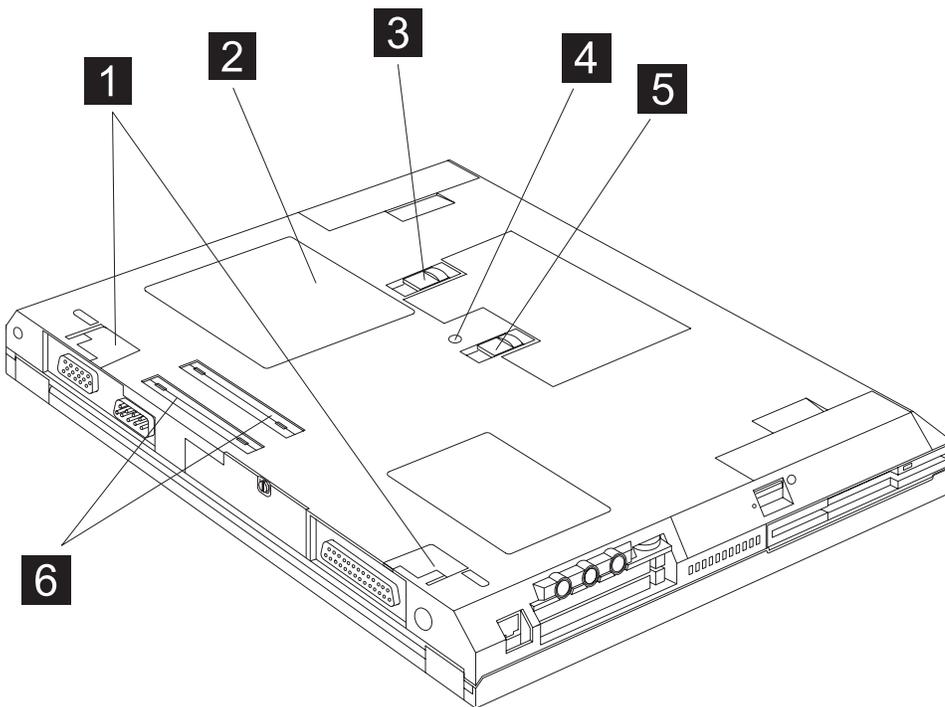


- 1 バッテリー・パック。ThinkPad 用の内蔵電源です。
- 2  赤外線ポート。赤外線通信機能をもつ他のデバイスと通信を行うことができます。
- 3  電源スイッチ。ThinkPad の電源をオンまたはオフにします。
- 4  汎用シリアル・バス (USB) ・ポート。USB 規格に対応するデバイスをここに接続できます。
- 5  電源ジャック。AC アダプターのケーブルをここに接続します。
- 6  外付けディスプレイ・コネクタ。外付けディスプレイをここに接続します。
- 7  シリアル・コネクタ。シリアル・デバイス用の 9 ピンのケーブルをここに接続します。
- 8  セキュリティ・キーホール。セキュリティ・システム・ロックをここに取り付けます。
- 9 ハード・ディスク用ネジ。ハード・ディスク (10) を取り外すときは、このネジを緩めます。
- 10 ハード・ディスク・ドライブ。ThinkPad に内蔵されている大容量記憶装置です。
- 11  パラレル・コネクタ。プリンターの信号ケーブルをここに接続します。
- 12  外付け入力装置コネクタ。マウス、外付けキーボード、または外付け数値キーパッドをここに接続します。

各部の機能と名称

- 13**  バッテリー状況ランプ。バッテリー・パックの状況を表示します。
-  サスペンド・ランプ。ThinkPad がサスペンド・モードにあるときに点灯します。

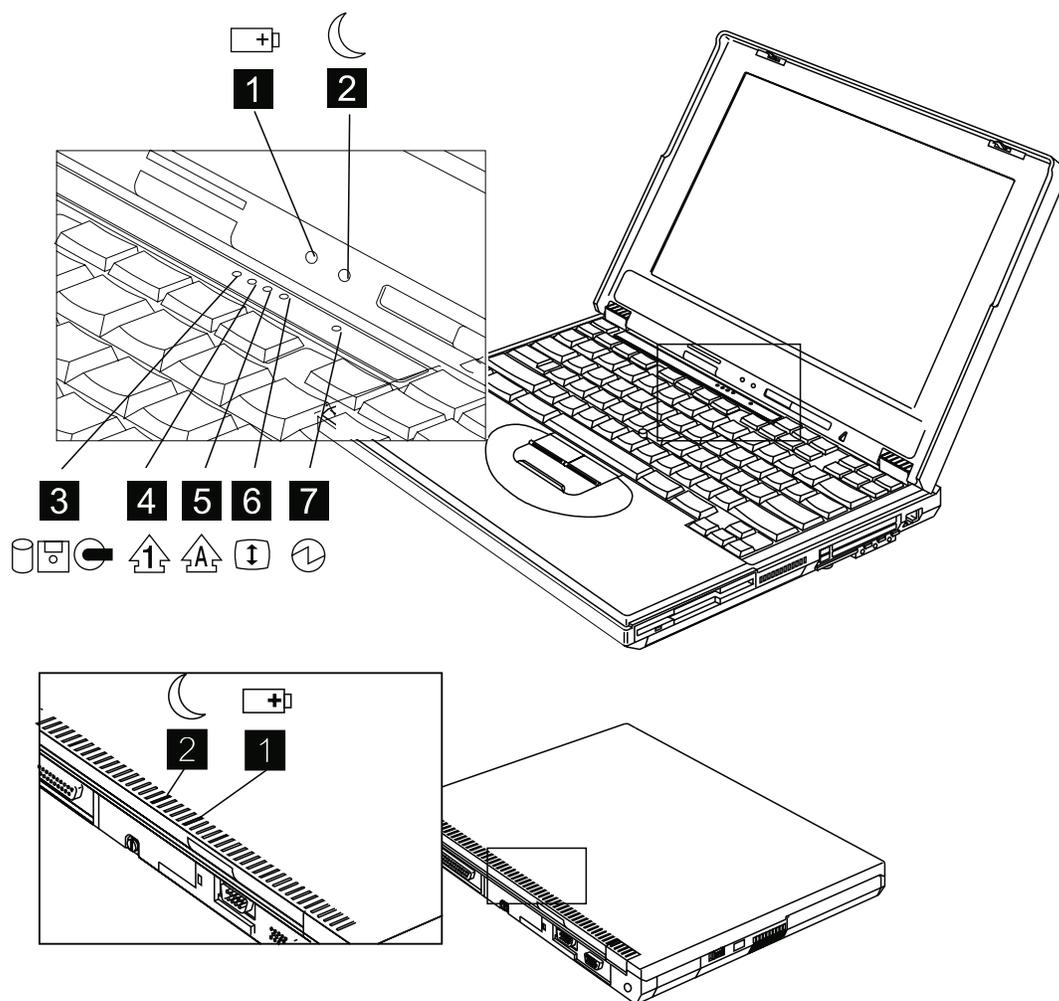
ThinkPad の底面図



- 1** ティルト脚。キー入力時に ThinkPad を操作しやすいように傾斜角度を付けたい場合に引き出します。
- 2** メモリー・スロット・カバー。メモリー・スロットのカバーです。
2 つのメモリー・スロット。オプションのメモリー・モジュール (DIMM) を取り付ける場所です。
注: 基本メモリー (32 MB または 64 MB) がメモリー・スロットを 1 つ占有します。
- 3** バッテリー・パック・ラッチ。バッテリー・パックのロックを開閉します。
- 4** ベイ用 LED。オンになっている場合は、ウルトラベイ FX 装置を取り外してはなりません。
- 5** ウルトラベイ FX デバイス・ロック。ウルトラベイ FX デバイスをロック、または解放します。
- 6** システム拡張コネクター (240 ピン)。ポート・リプリケーターをここに接続します。

システム状況インディケーター

ThinkPad のシステム状況インディケーターは、オン、オフ、または色 (緑およびオレンジ) によって ThinkPad の現在の状況を示すものです。各インディケーターの役割は記号で表されます。次に、各記号の位置と意味を示します。



システム状況インディケータ

記号	インディケータ ーの色	意味
1 バッテリー状況 	緑	操作に十分なバッテリー残量があります。
	オレンジ点滅	バッテリー・バックを充電する必要があります。
	オレンジ	バッテリー・バックを充電しています。
2 サスペンド・モード 	緑	ThinkPad がサスペンド・モードであることを示します。
	緑点滅	ThinkPad がサスペンド・モードに移行中です。
3 使用中ドライブ 	オレンジ	ハード・ディスクまたはフロッピー・ディスクのデータを読み書きしているとき、または CD-ROM のデータを読んでいるときに表示されます。このインディケータがオンになっている間は、ThinkPad をサスペンド・モードにしたり、ThinkPad の電源をオフにしないでください。
4 ナム・ロック 	緑	このインディケータがオンになっている場合は、キーボードの一部のキーを数値キーパッドとして使用することができます。 [Shift] キーを押しながら [NumLk] キーを押すことによって、数値キーパッド機能を使用可能または使用不可にすることができます。詳細については、17ページの『数値キーパッド』を参照してください。
5 キャップス・ロック 	緑	このインディケータがオンになっている場合は、Caps Lock (キャップス・ロック) モードで入力できます。このモードでは、 [Shift] キーを押さなくても、アルファベット (A~Z) はすべて大文字で入力されます。 [Shift] キーを押しながら [Caps Lock] キーを押すことによって、キャップス・ロック・モードのオン/オフができます。
6 スクロール・ロック 	緑	このインディケータがオンになっている場合は、スクロール・ロック・モードが使用できます。矢印キー ( 、  、  、 ) が画面スクロール機能キーとして作動します。この状態では、矢印キーでカーソルを移動させることはできません。この機能が使用可能かどうかは、使用するアプリケーション・プログラムにより異なります。 [ScrLk] キーを押すことによって、スクロール・ロック・モードを使用可または使用不可にすることができます。
7 電源 	緑	ThinkPad が使用できる状態であることを示します。ThinkPad の電源がオンで、サスペンド・モードに入っていないときにオンになります。

ThinkPad の機能

ThinkPad には、独自のキーボード機能と簡単な構成を行えるユーティリティーが用意されています。

ここでは、次の機能について説明します。

- キーボードの機能
- ウルトラベイ FX
- ThinkPad ユーティリティー・プログラム

キーボードの機能

ThinkPad のキーボードには、次の機能が付いています。

- トラックポイント
- Fn キー機能
- 数値キーパッド

トラックポイント

キーボードには、トラックポイントという特殊なポインティング・デバイスが組み込まれています。これを使用すると、ポインティング、選択、およびドラッグなどの操作を、通常のタイピング位置から指を離さずに一連の手順の中で行えます。



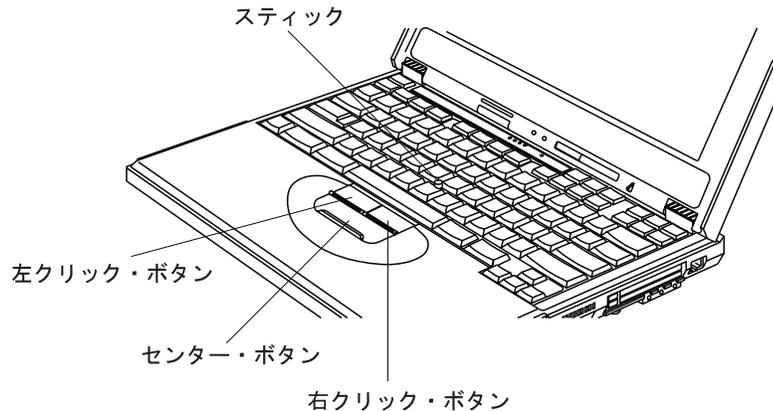
トラックポイントをカスタマイズすることによって、次の機能をカスタマイズできます。

- プレス・セレクト
- 感度
- スクロールまたは拡大表示

詳細情報 → 40ページの『トラックポイントのカスタマイズ』

ThinkPad の機能

トラックポイントは、キーボード上のスティックとキーボード手前の 3 つのクリック・ボタンとで構成されています。画面上のカーソルの動きは、スティックの先についてるキャップを押す指の圧力によってコントロールできます。圧力は、キーボード面に対して平行に前後左右に加えます。スティック自体は動きません。カーソルの移動速度は、スティックに加えられる圧力の強さによって決まります。左および右クリック・ボタンの機能は、通常のマウスの左および右ボタンに対応し、使用するソフトウェアによって異なります。



トラックポイントをはじめてお使いになる場合は、最初に、次の説明をお読みください。

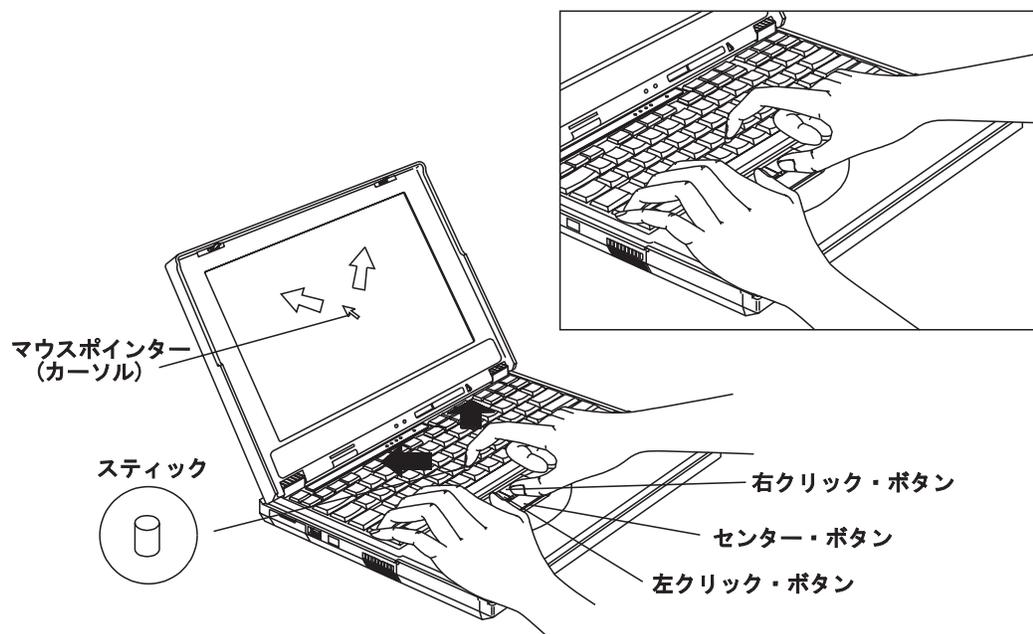
- 1 両手をタイプ位置に置き、カーソルを移動させたい方向に、人差し指でスティックをゆっくりと押します。

スティックを LCD 方向に押すと、カーソルが画面の上方向に移動します。スティックを手前に押すと、カーソルが画面の下方向に移動します。また、スティックを左右の方向に押すと、カーソルが左右の方向に移動します。



カーソルがドリフト (浮動) する場合があります。これは、故障ではありません。このような場合は、カーソルの動きが止まるまでトラックポイントを使用しないでください。

ThinkPad の機能



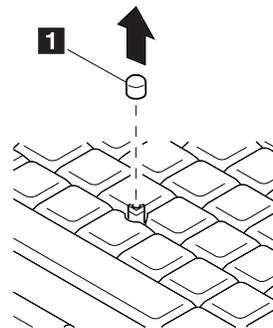
2 使用するソフトウェアの指示どおりに、親指を使ってクリック・ボタンを押し、選択およびドラッグ操作をします。

プレス・セレクトを使用可能にすると、トラックポイントのスティックを、左クリック・ボタンまたは右クリック・ボタンと同じように機能させることができます。詳細情報 ➡ 40ページの『トラックポイントのカスタマイズ』



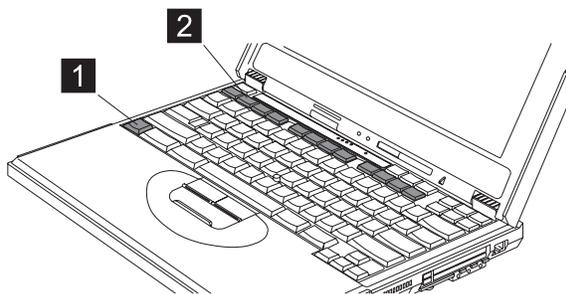
キャップの交換

トラックポイントのスティックの先に付いているキャップ **1** は着脱式です。必要に応じて、付属の予備キャップと交換できます。また、付属品を使い切ってしまった場合は、オプションでもご購入いただけます。



Fn キー機能

Fn キー機能は、特定の操作を瞬時に実行する便利な機能です。次の表で示す機能を使用する場合は、**Fn** キー **1** を押しながら、対応するファンクション・キー (**F1** ~ **F12**) **2** を押します。



Fn キー・ロック機能

Fn キーを 1 回押すだけで **Fn** キーを押し続けたときと同じ状態になるように、ThinkPad を設定できます。

「ThinkPad の設定」構成プログラムを始動し(32ページの『ThinkPad の設定プログラム』を参照してください)、「ユーザー補助」() アイコンをクリックしてから、「Fn キー・ロック」に対して「使用可能にする」をクリックします。

Fn キー・ロック機能を使用可能にしたあとで、**Fn** キーを 1 度だけ押してから、どれかファンクション・キーを押してください。ThinkPad は、**Fn** キー + ファンクション・キーが押されたときと同じように作動します。

Fn キー・ロック機能を使用可能にしたあとで **Fn** キーを 2 回押すと、ファンクション・キーを単独で押しても、**Fn** キー + そのファンクション・キーと一緒に押したように認識されます。これを止めるには、もう一度 **Fn** キーを押す必要があります。

ThinkPad の機能

次の表で、**Fn** キーと組み合わせが可能なキーの機能を示します。

機能とアイコン	キーの組み合わせ	意味
省電力機能		
バッテリー・メーター・プログラム表示のオンおよびオフ 	 +  (Windows のユーザーのみ)	このキーの組み合わせを使用すると、バッテリーの残量を示すウィンドウが表示されます (または消えます)。バッテリー残量のパラメーターを設定できます。 注: このキーの組み合わせを使用するには、事前にバッテリー・メーター・プログラムを始動しておく必要があります。 バッテリー・メーター・プログラムを始動する手順は、次のとおりです。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」ボタンをクリックします。 2. カーソルを、「プログラム」、「ThinkPad」の順に移動してから、「バッテリーメーター」をクリックします。
パワー・モードの切り替え 	 + 	ThinkPad の省電力機能により、パワー・モードが次のように変化します。 
バッテリー使用時の省電力機能		
スタンバイ・モード 	 + 	ThinkPad はスタンバイ・モードになります。このモードに関する詳細 → ステップ・アップ・ガイド
サスペンド・モード 	 + 	ThinkPad はサスペンド・モードになります。このモードに関する詳細 → ステップ・アップ・ガイド
ハイバネーション・モード 	 + 	ThinkPad はハイバネーション・モードになります。このモードに関する詳細 → ステップ・アップ・ガイド

ThinkPad の機能

機能とアイコン	キーの組み合わせ	意味
その他の機能		
LCD と外付けディスプレイの切り替え 	 + 	外付けディスプレイが接続されている場合、ThinkPad の出力が次の順序で表示されます。 



ThinkPad がサスペンド・モードのときにファンクション・キーを押さずに **Fn** キーを単独で押すと、ThinkPad は通常の操作状態に戻ります。

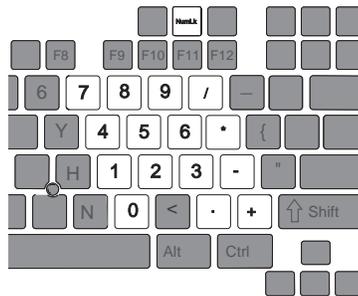
数値キーパッド

ThinkPad のキーボードの一部は、数値キーパッドの機能を使用可能にすれば、数値キーパッドのテン・キーのように使用することができます。(ただし、キーボードまたは数値キーパッドを外付けで接続しているときは、キーボード上のこの数値キーパッド機能は使用できません。)

Shift キーを押しながら **NumLk** キーを押すと、数値キーパッドの機能を使用可能または使用不可にできます。



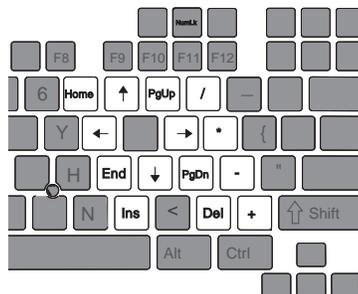
数値キーパッドの機能は、キーの手前に印刷されています。



数値キーパッドとして使用しているときに、**Shift** キーを押したまま数値キーパッドの各キーを押すと、一時的にカーソル制御キーや画面制御キーとして使用できます。



カーソル制御キーおよび画面制御キーの機能は、キーには印刷されていません。



ウルトラベイ FX

ウルトラベイ FX は ThinkPad の前部右側に付いています。



ウルトラベイ FX

ウルトラベイ FX により、ThinkPad でさまざまな装置を使用することができます。ウルトラベイ FX 内のデバイスは新しいデバイス (アップグレードしたドライブやセカンド・バッテリーなど) に交換できるので、ThinkPad の柔軟性を最大限に生かすことができます。以下のデバイスをウルトラベイ FX に取り付けることができます。

- CD-ROM ドライブ/ディスケット・ドライブ
- セカンド・バッテリー・パック
- セカンド・ハード・ディスク・ドライブ

注: ウルトラベイ FX デバイス・オプションは、IBM 特約店または IBM 代理店でお求めになれます。

ウルトラベイ FX デバイスの交換方法 ▶▶▶ 53ページの『ウルトラベイ FX デバイスの交換』

CD-ROM ドライブ

ThinkPad 390 コンピューターには、CD-ROM/ディスケット・ドライブが標準装備されています。CD-ROM ドライブはコンパクト・ディスク (CD) を使用することができます。

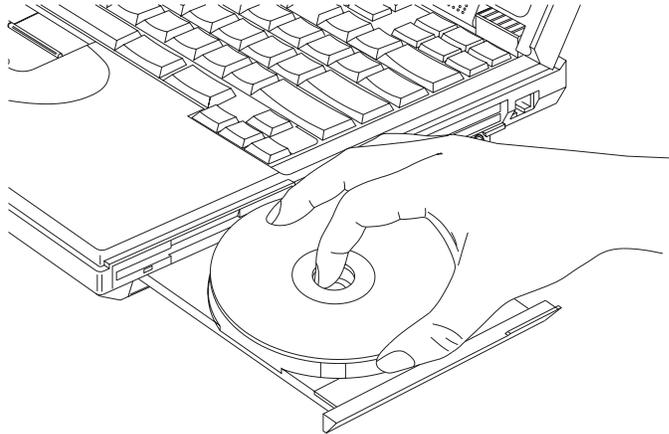
ThinkPad は次の CD をサポートします。

ThinkPad の機能

- 音楽 CD
- フォト CD
- CD-ROM または CD-ROM XA
- ビデオ CD

CD-ROM ドライブを使用する手順は、次のとおりです。

- 1** ThinkPad の電源をオンにします。
- 2** ThinkPad の側面にある CD-ROM 排出ボタンを押して、CD-ROM トレイを引き出します。
- 3** CD を中央の回転軸に合わせます。カチッと音がして CD が正しい位置に収まるまで、CD の中央部をしっかりと押します。



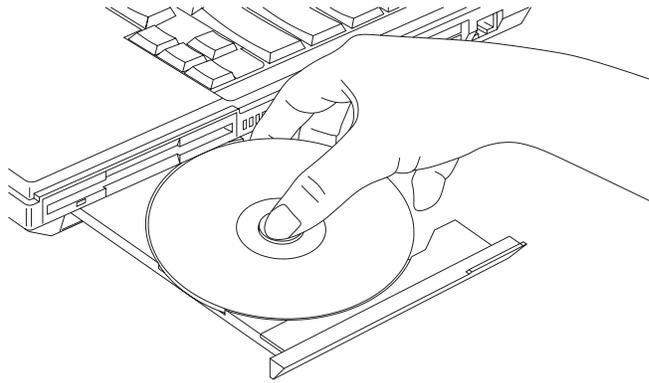
- 4** しっかりと閉じるまで、トレイを ThinkPad の中に押し込みます。

CD のデータへのアクセス方法は、その CD のタイプにより異なります。

ThinkPad の機能

CD を取り出す手順は、次のとおりです。

- 1** その CD のアプリケーション・プログラムを終了します。
- 2** CD-ROM 排出ボタンを押して、CD-ROM トレイを引き出します。
- 3** 回転軸を押さえながら、CD の端を持って静かに引き上げます。



- 4** しっかりと閉じるまで、トレイを ThinkPad の中に押し込みます。



CD の取り扱い

CD は高密度の媒体です。CD の取り扱いには十分な注意を払い、手入れを行って、データを正確に読み取れるようにしておく必要があります。CD の信頼性を維持するには、次のことを守ってください。

- CD は必ず端を持ってください。CD の表面に触れないでください。
- CD の汚れや指紋を取るには、乾いたやわらかい布でディスクの中央から外側に向かってふきとります。CD 上を回転するようにふくと、データが損失する原因となります。
- CD の表面には何も書かないでください。
- CD を直射日光の当たる場所に保管したり、置いたりしないでください。
- CD に液体をこぼさないでください。
- CD の汚れを落とすときに、ベンジン、シンナー、またはその他のクリーナーを使用しないでください。必ず、市販の CD-ROM クリーナーをご使用ください。
- CD を曲げたり折ったりしないでください。

ThinkPad ユーティリティ・プログラム

ThinkPad には、次のユーティリティ・プログラムが用意されており、簡単に構成できるようになっています。

- BIOS セットアップ・ユーティリティ
- ThinkPad の設定プログラム

ここでは、これらのユーティリティ・プログラムの概要について説明します。

BIOS セットアップ・ユーティリティ

ThinkPad はさまざまなセットアップ・パラメーターを選択することのできる BIOS セットアップ・ユーティリティを提供しています。

- 「**Config**」：ご使用の ThinkPad の構成を設定します。
- 「**Date/Time**」：日付と時刻を設定します。
- 「**Password**」：パスワードを設定します。
- 「**Startup**」：始動デバイスの優先順位を設定します。
- 「**Restart**」：システムを再始動します。

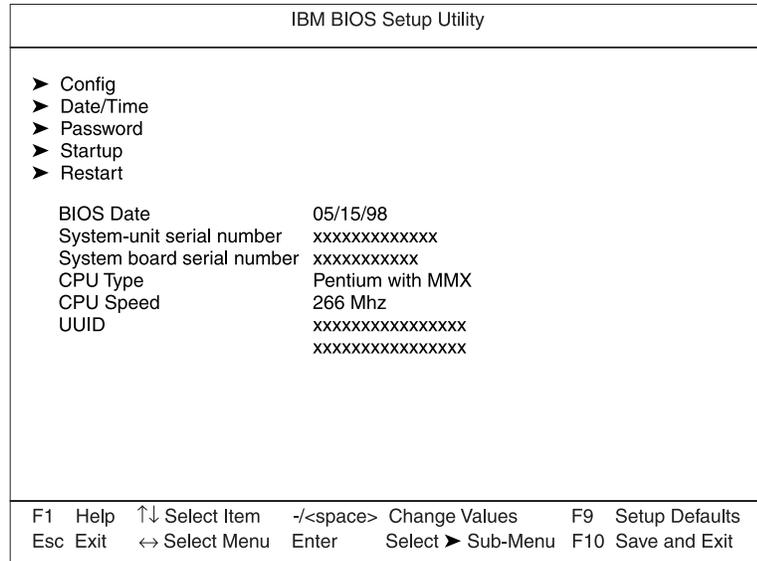
「BIOS セットアップ・ユーティリティ」を開始するには、以下のようにします。

1 ディスケット・ドライブからディスクを取り出し、また CD-ROM ドライブから CD を取り出した後、ThinkPad の電源をオフにします。

2 ThinkPad の電源をオンにし、IBM ThinkPad ロゴが表示されている間に **[F1]** を押します。

「BIOS セットアップ・ユーティリティ」メニューが表示されません。

ThinkPad の機能



3 矢印キーを使用して変更したい項目まで移動し、**Enter** を押します。

サブメニューが表示されます。

4 変更したい項目を変更します。

項目の値を変更するには、**-** または **スペース** キーを使用します。

5 サブメニューを終了するには、**Esc** を押します。

注: 下の階層のサブメニューの中の項目を選択して、「BIOS セットアップ・ユーティリティー」メインメニューが表示されるまで **Esc** を押します。

6 **F10** を押し、**Enter** を押すと、変更した項目が保管され、「BIOS セットアップ・ユーティリティー」メニューが終了します。

ThinkPad が再起動します。

注: 変更事項を破棄したい場合は、(31ページ) を参照してください。

Config: **Config** 項目を選択し、**Ente** を押すと、次の "Config" サブメニューが表示されます。

IBM BIOS Setup Utility		Item Specific Help
Config		
Memory		
System Memory:	640 KB	
Extended Memory:	31744 KB	
System Board		
BIOS Version	V1.0 R00-C5	
Video BIOS Version	V00.0C.0000	
Slave controller Version	012905	
Initialize	[No]	
▶ Advanced Setup		
F1 Help ↑↓ Select Item -/<space> Change Values F9 Setup Defaults		
Esc Exit ↔ Select Menu Enter Select ▶ Sub-Menu F10 Save and Exit		

"Config" サブメニューには次の項目が含まれています。

- 「**Memory**」セクションは、メモリー情報を表示します。
- 「**System Board**」セクションは、システム・ボードに関する情報を表示します。
- 「**Initialize**」は、拡張システム構成データ(ESCD) エリアを消去します。ここにはウルトラベイ FX ならびにポート・リプリケーター・デバイス構成情報が格納されています。
- 「**Advanced Setup**」は、"Advanced Setup" サブメニューに入ります。

Advanced Setup

注: ユーザーのためにデフォルト設定値がすでに最適化されているため、画面上の設定値を変更する必要はありません。値を変更すると、デバイスの競合を生じる場合があり、またオペレーティング・システムが正しく起動しない場合があります。

Advanced Setup 項目を選択し、**Enter** を押すと、次の "Advanced Setup" サブメニューが表示されます。

IBM BIOS Setup Utility		
Advanced Setup		Item Specific Help
▶ IDE Primary Master	[3253MB]	
▶ IDE Secondary Master	[CD-ROM]	
▶ Serial Port		
▶ Parallel Port		
▶ Infra Red		
▶ Audio		
▶ Embedded Modem		
▶ PCI IRQ		
▶ Keyboard/Mouse		
▶ Power		
Others		
Boot display device	[LCD]	
HV Expansion	[Off]	
Brightness	[Normal]	
FDD	[Internal]	
Startup Screen	[Enabled]	
F1 Help ↑↓ Select Item -/<space> Change Values F9 Setup Defaults		
Esc Exit ↔ Select Menu Enter Select ▶ Sub-Menu F10 Save and Exit		

"Advanced Setup" サブメニューには次の項目が含まれています。

- **IDE Primary Master** は、IDE 1 プライマリー・マスター・デバイスに関する値を設定するサブメニューに入ります。
- **IDE Secondary Master** は、IDE 2 セカンダリー・マスター・デバイスに関する値を設定するサブメニューに入ります。
- **Serial Port** は、シリアル・ポートのリソース値を設定するサブメニューに入ります。
- **Parallel Port** は、パラレル・ポートのリソース値を設定するサブメニューに入ります。
- **Infra Red** は、赤外線ポートのリソース値を設定するサブメニューに入ります。
- **Audio** は、オーディオのリソース値を設定するサブメニューに入ります。

ThinkPad の機能

- **Embedded Modem** は、内蔵モデムのリソース値を設定するサブメニューに入ります。
- **PCI IRQ** は、PCI 装置のためにISA IRQ ラインを割当てるサブメニューに入ります。
- **Keyboard/Mouse** は、キーボードおよびマウスの値を設定するサブメニューに入ります。
- **Power** は、電源管理に関する値を設定するサブメニューに入ります。
- **Others** セクション:
 - *Boot display device* は、始動時のディスプレイ出力装置を設定します。詳細については、66ページの『ディスプレイの表示モードの変更』を参照してください。
 - *HV Expansion* は、画面の拡大/縮小を行います。詳細については、68 ページを参照してください。
 - *Brightness* は、輝度レベルを指定します。
 - 「Normal」は、LCD 輝度が電源の種類に基づいて変化するよう指定します。ThinkPad がバッテリーで駆動されているときは、LCD 輝度レベルは半分に減少します。
 - 「High」を指定すると、ThinkPad がバッテリーで駆動されている場合であっても、LCD は常に最大輝度となります。ThinkPad は「Normal」モードの場合よりも、この設定値ではより多くの電力を消費します。
 - *FDD* は、ディスク・ドライブの位置を指定します。
 - *Startup Screen* は、始動画面を使用可能または使用不可とします。

始動画面は IBM ThinkPad ロゴを表示します。この画面を非表示としたい場合は、Off に設定します。

ThinkPad の機能

Date/Time: **Date/Time** 項目を選択し、**Enter** を押すと、次の "Date/Time" サブメニューが表示されます。

IBM BIOS Setup Utility	
Date/Time	Item Specific Help
System Time: [17:28:12] System Date: [05/21/1998]	
F1 Help ↑↓ Select Item -/<space> Change Values F9 Setup Defaults Esc Exit ↔ Select Menu Enter Select ▶ Sub-Menu F10 Save and Exit	

日付と時刻を変更する手順は、次のとおりです。

1 上矢印または下矢印キーを押して変更する項目、日付または時刻、を選択します。

2 **Tab** または **Enter** を押し、フィールドを選択します。

3 日付または時刻を入力します。

注: 入力を行う代わりに、**-** または **スペース** キーを押して、日付または時刻を調整することもできます。

4 **F10** を押し、**Enter** を押すと、「BIOS セットアップ・ユーティリティー」メニューが終了します。

ThinkPad が再起動します。

注: ThinkPad にインストールされているオペレーティング・システムのアプリケーションを使用して、現在の日付および時刻を設定することもできます。

ThinkPad の機能

パスワード: **Password** 項目を選択し、**Enter** を押すと、次の "Password" サブメニューが表示されます。

IBM BIOS Setup Utility		Item Specific Help
Password		
Set Setup password	[Enter]	
Set HDD-1 password	[Enter]	
Set HDD-2 password	[Enter]	
Set Power on password	[Enter]	
F1 Help ↑↓ Select Item -/<space> Change Values F9 Setup Defaults Esc Exit ↔ Select Menu Enter Select ► Sub-Menu F10 Save and Exit		

このサブメニューは、始動パスワード、ハード・ディスク・パスワード、およびセットアップ・パスワードを設定するために使用します。詳細については、80ページの『パスワードの使用』を参照してください。

Startup: **Startup** 項目を選択し、**Enter** を押すと、次の "Startup" サブメニューが表示されます。

IBM BIOS Setup Utility	
Startup	Item Specific Help
Start up sequence 1st priority device group [Diskette Drive] 2nd priority device group [ATAPI CD-ROM Drive] 3rd priority device group [Hard Drive] 4th priority device group [Network Boot]	
Start up sequence for Wake On LAN Wake On LAN capability [Enabled] 1st priority device group [Diskette Drive] 2nd priority device group [ATAPI CD-ROM Drive] 3rd priority device group [Hard Drive] 4th priority device group [Network Boot]	
Individual device priority in group ▶ HDD	
F1 Help ↑↓ Select Item -/⟨space⟩ Change Values F9 Setup Defaults Esc Exit ↔ Select Menu Enter Select ▶ Sub-Menu F10 Save and Exit	

このサブメニューは、ThinkPad のドライブの始動優先順序を変更するのに使用します。

たとえば、複数の着脱式ハード・ディスク・ドライブや PC カードに複数のオペレーティング・システムがインストールされている場合は、それらのデバイスのどれかからシステムを始動することができます。

考慮事項: 始動優先順位を変更した後は、各デバイスのドライブ名が変わる場合がありますので、コピー、保管、フォーマット操作などで誤ったデバイスを指定しないよう、細心の注意が必要です。デバイスを誤って指定すると、データやプログラムが消されたり、上書きされたりすることがあります。

このサブメニューには次の項目が含まれます。

- **Start up sequence** セクションは、ローカル・ドライブの始動優先順序を指定します。

- **Start up sequence for Wake On LAN**セクションは、Wake On LAN が使用可能になっている場合の、ローカル・ドライブの始動優先順序を指定します。

注: Wake On LAN は、通常、LAN 管理者がネットワークを介してリモートで ThinkPad にアクセスするときに使用します。

- **Individual device priority in group** は、2 つ以上のハード・ディスク・ドライブをインストールしてある場合の、ローカル・ハード・ディスク・ドライブの始動優先順序を設定することのできるサブメニューに入ります。

注: ThinkPad 390 コンピューターは、ウルトラベイ FX にインストールすることのできる、セカンド・ハード・ディスク・ドライブ・オプションをサポートしています。セカンド・ハード・ディスク・ドライブ・オプションは、IBM 特約店または IBM 代理店でお求めになれます。

始動優先順位を変更する手順は、次のとおりです。

- 1 上矢印または下矢印キーを押して変更する項目を選択します。
- 2 **[-]** キーを押して優先順位リスト中の項目を下に移動します。
[スペース] キーを押して優先順位リスト中を上を上に移動します。
- 3 変更したいその他の項目についても、ステップ 1 と 2 を繰り返します。
- 4 **[F10]** を押し、**[Enter]** を押すと、「BIOS セットアップ・ユーティリティー」メニューが終了します。

ThinkPad が再起動します。

始動順序からデバイスを取り除くには、以下のようにします。

- 1 上矢印または下矢印キーを押して取り除く項目を選択します。
- 2 **[Del]** キーを押します。
- 3 取り除きたいその他の項目についても、ステップ 1 と 2 を繰り返します。

- 4 **F10** を押し、**Enter** を押し、 「BIOS セットアップ・ユーティリティー」メニューが終了します。

ThinkPad が再起動します。

Restart: **Restart** 項目を選択し、**Enter** を押し、 次の "Restart" サブメニューが表示されます。

IBM BIOS Setup Utility	
Restart	Item Specific Help
Exit Saving Changes Exit Discarding Changes Load Setup Defaults Discard Changes Save Changes	
F1 Help ↑↓ Select Item -/<space> Change Values F9 Setup Defaults Esc Exit ↔ Select Menu Enter Select ► Sub-Menu F10 Save and Exit	

このサブメニューには次の項目が含まれます。

- **Exit Saving Changes:** は、変更事項を保管して「BIOS セットアップ・ユーティリティー」を終了します。
- **Exit Discarding Changes:** は、変更事項を破棄して「BIOS セットアップ・ユーティリティー」を終了します。
- **Load Setup Defaults:** すべてのセットアップ項目についてデフォルト値を使用します。
- **Discard Changes:** は変更を破棄します。
- **Save Changes:** は変更事項を保管します。

再始動オプションを選択し、**Enter** を押し、

ThinkPad の設定プログラム

「ThinkPad の設定」プログラムを使うと、ThinkPad の内蔵デバイスを必要に応じてセットアップしたり、カスタマイズすることができます。たとえば、ポートを使用可能または使用不可にしたり、ThinkPad の LCD と外付けディスプレイを切り替えたり、省電力機能を設定したりすることができます。



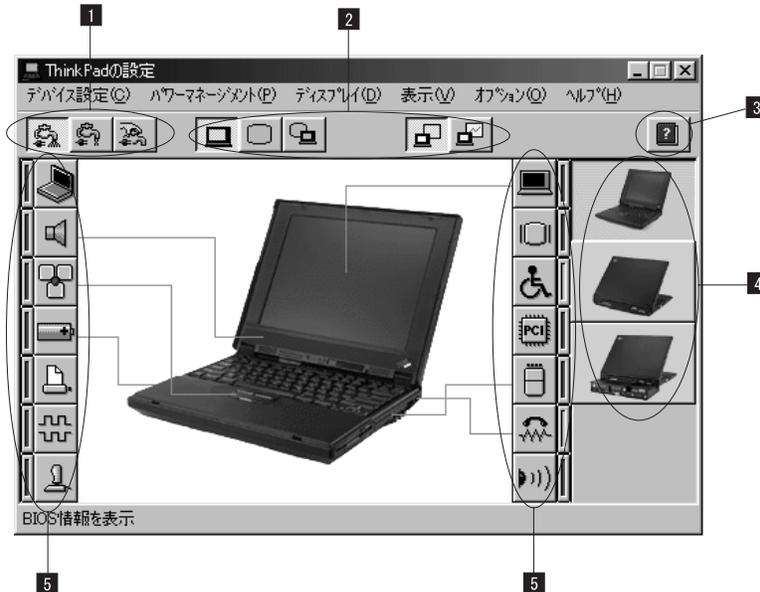
Windows 98 および Windows 95 の場合:

「ThinkPad の設定」プログラムを始動するには、タスクバーの右側にある「ThinkPad」アイコンを見つけ、それをダブルクリックしてください。

注: また、次の手順に従って、ThinkPad の設定プログラムを始動することもできます。

- 1** 「スタート」ボタンをクリックします。
- 2** カーソルを、「プログラム」、
「ThinkPad」の順に移動してから、
「ThinkPad の設定」をクリックします。

次のウィンドウが表示されます。



1 「パワー・モード」ボタン

これらのボタンのどれかをクリックして、パワー・モードを「ハイ・パフォーマンス・モード」、「オート・モード」、または「カスタマイズ・モード」のいずれかに設定します。

2 「ディスプレイ装置」ボタン

これらのボタンのどれかをクリックして、画面の表示先をLCD、外付けディスプレイ、または LCD + 外付けディスプレイのどれかに設定します。プレゼンテーションを行う場合は、「スクリーン・ブランピング」ボタンをクリックして、ディスプレイ・タイマーや省電力モード・タイマーなどのシステム・タイマーを使用不可にし、プレゼンテーション中に画面が消えることのないように設定できます。

3 「ヘルプ」ボタンで、オンライン・ヘルプが表示されます。

4 「描写方向」ボタン

ThinkPad の前面または背面を表すボタンをクリックして、ハードウェアの位置を表示することができます。

5 「デバイス」ボタン

ウィンドウから各デバイス用のボタンをクリックします。デバイスが使用可能な場合は、ボタンの横の赤いインディケータがオンになります。このインディケータがオフのときは、そのデバイスは使用できません。

システムのバックアップ

システムのバックアップを作成したり、オペレーティング・システムを再インストールできるように、ThinkPad には次の機能があります。

注: これらの機能は Windows 98、Windows 95、および Windows NT に関するものです。それ以外のオペレーティング・システムを使用している場合は、ThinkPad Web サイトからデバイス・ドライバーを入手してください (35ページの『最新のソフトウェアの入手方法』を参照してください)。

- 導入済みアプリケーション CD (Windows 98 のみ)
- Product Recovery CD-ROM
- 「ディスクレット・ファクトリー」プログラム
- ConfigSafe
- 最新のソフトウェアの提供 (Web)

削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアについて → 126ページの『削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復』

導入済みアプリケーション CD

初期インストール済み ThinkPad 用サポート・ソフトウェアおよびアプリケーションを、インストールまたは再インストールする場合に使用します。(導入済みアプリケーション CD の使用方法 → 126ページの『導入済みアプリケーション CD の使用』)

Product Recovery CD-ROM

誤ってハードディスクの内容を削除または損傷してしまった場合は、Product Recovery CD-ROM (以下、リカバリー CD) を使って、初期インストールされているハードディスクの内容を、購入時の状態に回復することができます。(リカバリー CD の使用方法 → 126ページの『リカバリー CD の使用』)

ディスクレット・ファクトリー

「ディスクレット・ファクトリー」プログラムには、ThinkPad 用のいくつかのサポート・ソフトウェアが入っています。

ディスクレット・ファクトリーの使用方法 → ステップ・アップ・ガイド

新しいオペレーティング・システム (Windows NT など) やサポート・ソフトウェアのインストールに関する詳細情報 ➡ [ステップ・アップ・ガイド](#)

ConfigSafe

ConfigSafe とは、Windows 98、Windows 95、または Windows NT 用のアプリケーションの 1 つです。これは、システム設定情報を定期的に保存するものです。たとえば、新しいデバイス・ドライバやソフトウェアのインストール後に ThinkPad が正しく作動しなくなったときに、ConfigSafe を使用すると、インストール前のシステム設定情報のバージョンが復元されます。この場合に新しいハードウェアやソフトウェアを作動させることはできない場合がありますが、ThinkPad を設定し、起動させることが可能です。このアプリケーションにより、データが保護されます。

最新のソフトウェアの入手方法

IBM は、インターネット Web ページやパソコン通信で、最新ハードウェア・デバイス・ドライバおよびシステム BIOS を提供しています。

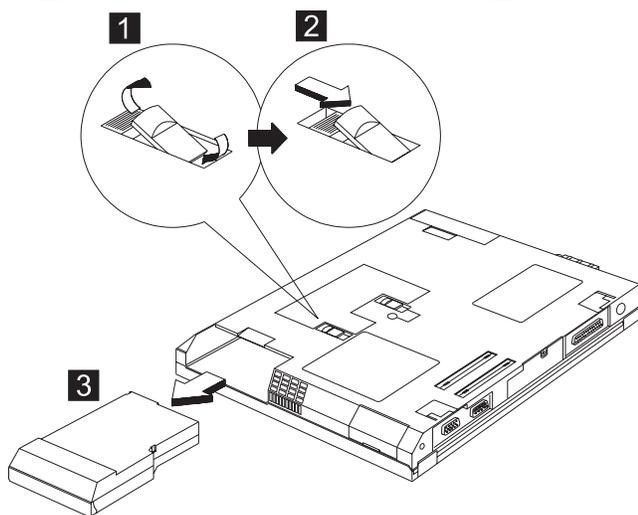
<http://www.ibm.co.jp/pc/home/download.html>

詳細情報 ➡ [ステップ・アップ・ガイド](#)

バッテリー・パックの交換

バッテリー・パックを交換する手順は、次のとおりです。

- 1 ThinkPad の電源をオフにします。
- 2 AC アダプターやその他のケーブル類を取り除きます。
- 3 液晶ディスプレイを閉じて ThinkPad を裏返します。
- 4 バッテリー・パック・ラッチをロック解除の位置にスライドして保持し **1**、バッテリー・パックを取り外します **2**。



- 5 新しいバッテリー・パックを取り付けるには、バッテリー・パックをバッテリー用スペースに挿入します。バッテリー・パック・ラッチが自動的に所定位置に固定されます。

これで、バッテリー・パックの交換が完了しました。

注: バッテリー・パックは、ThinkPad がハイバネーション・モードになっているとき、または ThinkPad の電源がオフになっているときに交換できます。PC カードを使っている場合は、ThinkPad がハイバネーション・モードに入らない場合があります。入らない場合は、ThinkPad の電源をオフにしてください。

バッテリー・パックの交換

AC アダプターが ThinkPad に電源を供給しているときは、ThinkPad の電源を切らずにバッテリー・パックを交換することができます。バッテリー・パックはベイ内に取り付けることもできます (53ページの『ウルトラベイ FX デバイスの交換』を参照)。

バッテリー・パックの交換

第2章

ThinkPad 機能の拡張

本書では、ThinkPad の機能をカスタマイズし、拡張する方法について説明します。外付けデバイスを接続して ThinkPad を使用したり、メモリーを増設したりすることができます。

トラックポイントのカスタマイズ	40
メモリーの増設	45
DIMM の取り付け	46
DIMM の取り外し方法	49
ハードディスク・ドライブのアップグレード	51
ウルトラベイ FX デバイスの交換	53
マウス、数値キーパッド、および外付けキーボードの接続	58
マウスまたは数値キーパッドの接続	58
外付けキーボードとマウスの接続	61
トラックポイントの使用不可	63
外付けディスプレイの接続	64
プリンターの接続	70
PC カードの取り付け	71
PC カードの取り外し	73
PC カード・モデム (オプション) の取り付け	74
ポート・リプリケーターの使用	76
CardBus スロットを使用可能にするには (Windows 98 の場合)	78

トラックポイントのカスタマイズ

トラックポイントをカスタマイズする手順は、次のとおりです。

- 1 「ThinkPad の設定」プログラムを始動します。
- 2 「トラックポイント」アイコン () をクリックします。
- 3 「トラックポイントのプロパティ」をクリックします。
「トラックポイントのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
このウィンドウで、次の機能を設定できます。

- プレス・セレクト
- 感度
- スクロールまたは拡大表示

注: スクロールおよび拡大表示機能を使用するには、外付けマウスを切り離し、トラックポイントを使用可能にする必要があります。

各機能に対応するタブをクリックするとその機能に関するウィンドウが表示されるので、そこで設定してください。

「プレス・セレクト」のページの使用



トラックポイントのカスタマイズ

「プレス・セレクト・オン」のボックスにチェック・マークを付けてプレス・セレクトを使用可能にすると、トラックポイントのスティックを、左クリック・ボタンまたは右クリック・ボタンと同じように機能させることができます。

- 「ドラッグ・オン」にチェック・マークを付けると、トラックポイントのスティックを軽く押すことで、トラックポイントで選択したアイコンをドラッグできるようになります。
- 「リリース・セレクト・オン」にチェック・マークを付けると、トラックポイントからすばやく指を離すだけで、簡単にクリックできるようになります。カーソルをアイコン上に移動したあと、トラックポイントからすばやく指を離した瞬間にクリックが入力されます。続けてトラックポイントをもう一度押すと（プレス・セレクト）ダブルクリックと同様の効果が得られます。
- 「プレス・セレクトへの割り当て」プレス・セレクトに左クリック・ボタン、右クリック・ボタンのどちらの機能をもたせるかを選択します。たとえば、「左ボタン」を選択すると、カーソルをプログラムのアイコンに合わせ、トラックポイントのスティックを 2 回軽く押すことにより、そのプログラムを始動できるようになります。

スティックを押すタイミングの調節は、「クリックの速さ」で設定します。



クリックの速さの設定を遅くし過ぎた場合は、意図しないクリック、カーソルの遅れ、またはドラッグの遅れなどが起こることがあります。また、設定を速くし過ぎた場合は、プレス・セレクトの操作が困難になります。

トラックポイントのカスタマイズ

「感度」ページの使用



この機能は、ポインターとプレス・セレクトの両方の感度を同時に調節します。「重く」の方にスライドさせると、カーソルの動きは鈍くなり、プレス・セレクトは、より強く押さなければ入力できなくなります。また、「軽く」の方にスライドさせると、カーソルの動きは軽くなり、プレス・セレクトは弱く押すだけで入力できるようになります。

「スクロール」ページの使用



スクロールおよび拡大表示機能を使用するには、外付けマウスを取り外し、トラックポイントを使用可能にする必要があります。

「スクロール」タブをクリックすると、トラックポイントのプロパティーを設定できます。

- 「スクロールまたは拡大表示の機能の選択」。次のラジオ・ボタンのいずれかを選択します。

－ 「スクロール」

この機能を選択すると、トラックポイントを使用して、長い文書や大きなスプレッドシートを簡単にスクロールできるようになります。スクロールをするには、スクロール・バーの代わりに、トラックポイントのセンター・ボタンを押しながら、トラックポイントを動かします。ほとんどのアプリケーション・プログラムで使用可能です。

－ 「拡大表示」

この機能を選択すると、ディスプレイの一部を拡大することができます。また、拡大表示されたウィンドウを通してクリックを入力することもできます。右ボタンは、拡大表示されたウィンドウのサイ

トラックポイントのカスタマイズ

ズ変更 (二段階) に、左ボタンは拡大率の変更 (二段階) に使用されます。センター・ボタンを押しながら、トラックポイントを動かすことにより、拡大表示されたウィンドウを移動させることができます。

- 「オフ」

これを選択すると、スクロール機能も拡大表示機能も使用できなくなります。

- 「スクロール方法の選択」:

- 「センター・ボタンを押しながらトラックポイント」

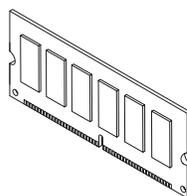
キーボードのセンター・ボタンを押しながらトラックポイントを動かすことによりスクロール機能や拡大表示機能を使えるようにします。センター・ボタンが押されていないときは、トラックポイントは通常のマウスとして動作します (マウス・ポインターを制御します)。



「外付けマウスの使用」 および「トラックポイントの使用」 ラジオ・ボタンはサポートされていません。

メモリーの増設

メモリーの増設は、プログラムの実行速度を速くするのに効果的な方法です。ThinkPad のメモリー容量は、オプションのメモリー・モジュール (DIMM) を増設して、増やせます。



さまざまな容量の DIMM を取り付けることができます。DIMM は、ThinkPad の底面にあるメモリー・スロットに直接取り付けます。ご使用の ThinkPad のメモリー容量は、256 MB まで拡張できます (128 MB DIMM オプション 2 枚使用時)。

注: 基本メモリー (32 MB または 64 MB) が DIMM スロットを 1 つ占有しています。

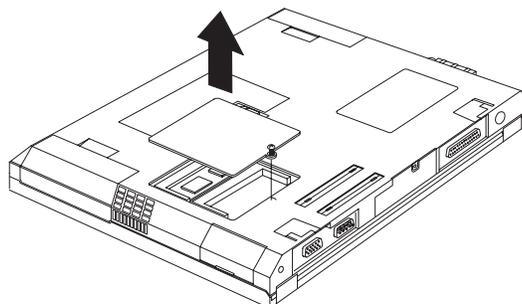
重要

ThinkPad 390 コンピューターは、SDRAM カードのみをサポートします。EDO DRAM カードはサポートしません。ThinkPad がサポートしない DIMM を取り付けると、システムの起動時に、エラー・コードが表示される可能性があります。適切なメモリー・オプションは、IBM 特約店または IBM 代理店でお求めになれます。

DIMM の取り付け

DIMM を取り付ける手順は、次のとおりです。

- 1** ThinkPad の電源をオフにし、ACアダプターやその他のケーブル類を取り外します。
- 2** LCD を閉じて ThinkPad を裏返し、バッテリー・パックを取り外します。
- 3** メモリー・スロット・カバーのネジを緩め、カバーを取り外します。



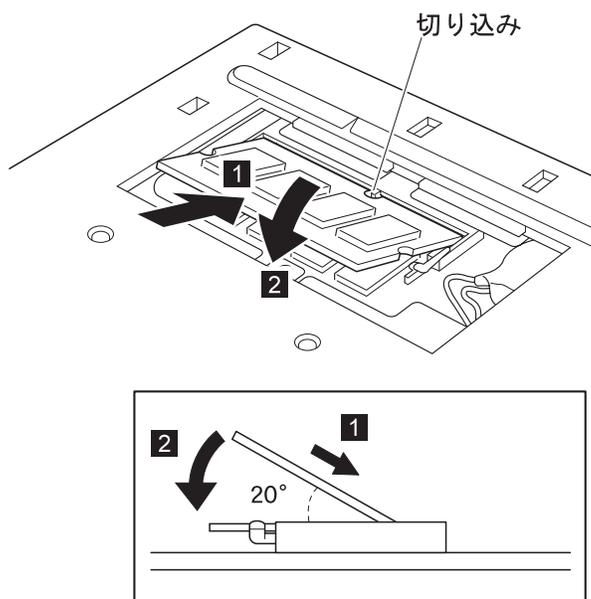
重要

DIMM の損傷を避けるため、DIMM の接点部分には手を触れないでください。

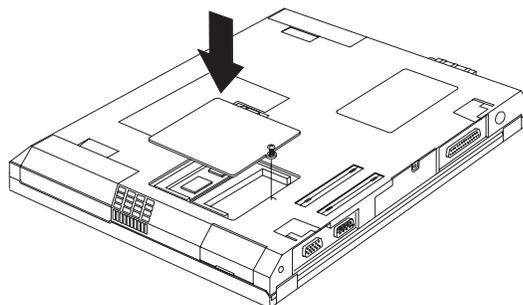
4 DIMM をメモリー・スロットに取り付けます。

- a** DIMM の切り込みのある側を探す。
- b** DIMM の切り込みのある側をソケット右側の突起部分に合わせ、DIMM を約 20 度の角度でソケットに差し、奥までしっかりと押し込む **1**。
- c** カチッと音がして正しい位置に収まるまで DIMM を手前に倒す **2**。

DIMM を 2 枚取り付ける場合は、上記のステップを繰り返します。



- 5** 最初にメモリー・スロット・カバーの後ろ側を合わせてからカバーを元通りにメモリー・スロットの上に取り付け、ネジで締めます。



- 6** バッテリー・パックを元に戻します。
- 7** ThinkPad を元通りに表を上に向けてから、電源をオンにします。
- 8** 新しいメモリー・サイズが検出されたかどうかを確認します。
- a) IBM ThinkPad ログが表示されている間に **[F1]** を押し、BIOS セットアップ・ユーティリティーに入ります。
 - b) **Config** を選択し、**[Enter]** を押します。
 - c) メモリー・セクションの値を確認します (48 ページを参照)。
- 9** これで、DIMM の取り付けは完了しました。すべてのケーブルを元通りに接続してください。

注:

- 1. メモリー・サイズの合計が、計算したサイズと違う場合、ThinkPad の電源をオフにし、46 ページを参照して DIMM をインストールし直します。
- 2. ThinkPad のメモリー容量を変更した場合は、ハイバネーション・ファイルを作成し直す必要があります。ハイバネーション・ファイルの作成方法については、➡ 139ページの『ハイバネーション機能の作成』またはオンライン・ユーザズ・ガイドの「基本事項」。

メモリー・サイズの合計の計算方法

メモリー・サイズの合計は、標準装備されているメモリー・サイズ (基本メモリーが 32 MB の ThinkPad の場合は 32384 KB) に DIMM のメモリー・サイズを加え、キロバイト (KB) で計算します。

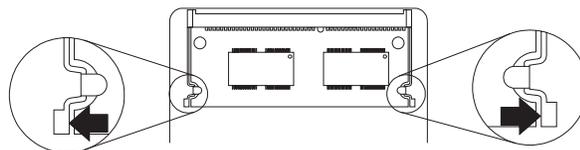
注: 384 KB は、システムで予約されています。

たとえば、32 MB 基本メモリーの ThinkPad に 32MB DIMM を取り付けた場合のメモリー・サイズは 64 MB になります。

ThinkPad では、メモリー・サイズがキロバイトで表示される場合があります。たとえば、640 KB (システム・メモリー) + 64512 (拡張メモリー) = 65152 KB。

DIMM の取り外し方法

- 1 ThinkPad の電源をオフにし、AC アダプターおよびその他のケーブル類を取り外します。
- 2 LCD を閉じて ThinkPad を裏返し、バッテリー・パックを取り外します。
- 3 メモリー・スロット・カバーのネジを緩めて、カバーを取り外します。
- 4 ソケットの両端の切り込み部分を同時に外側に押します。



- 5 DIMM を取り外します。
DIMM は安全な場所に保管しておいてください。
- 6 メモリー・スロット・カバーを取り付けてから、ネジを元通りに締めます。

メモリーの増設

- 7** バッテリー・パックを元に戻します。
- 8** ThinkPad を元通りにしてから、取り外した AC アダプターやケーブル類を接続し直します。

ハードディスク・ドライブのアップグレード

ThinkPad に標準装備されている組み込み式のハードディスク・ドライブをオプションのハードディスク・ドライブと交換すると、ThinkPad の記憶容量を増やすことができます。オプションのハードディスク・ドライブは、IBM 特約店または IBM 代理店でお求めいただけます。



ハードディスク・ドライブの交換は、アップグレードや修理の目的でのみ行ってください。本機のハードディスク・ドライブは、たびたび交換するようには設計されていません。

重要

ハードディスク・ドライブの取り扱い上の注意

- 落としたり、物理的な衝撃を与えないでください。
- カバーに圧力をかけないでください。
- コネクタには触れないでください。

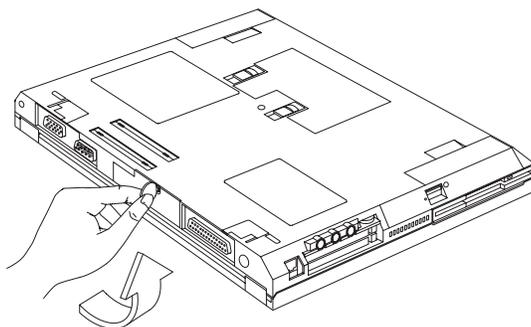
このドライブは非常にデリケートです。取り扱いを誤ると、重大な損傷やハードディスク内のデータの損失の原因となります。ハードディスク・ドライブを取り外す前に、ハードディスク内のすべての情報のバックアップ・コピーを作成してください。システムの作動中やサスペンド・モード中、あるいはハイバネーション・モード中には、ハードディスク・ドライブを絶対に取り外さないでください。

ハードディスク・ドライブを交換する手順は、次のとおりです。

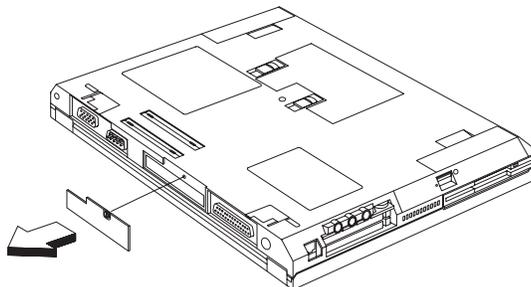
- 1** ThinkPad の電源をオフにし、AC アダプターやその他のケーブル類を取り外します。
- 2** LCD を閉じ、ThinkPad をひっくり返し、バッテリー・パックを取り外します (→ 36ページの『バッテリー・パックの交換』)。

ハードディスク・ドライブのアップグレード

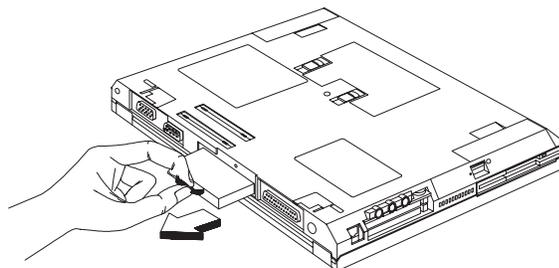
- 3** 次に、ThinkPad を右側を下にして立て、コインを使ってコイン型ネジを左回り (時計の針と反対回り) に回して外します。



- 4** ハードディスク・ドライブのカバーを取り外します。



- 5** ハードディスク・ドライブのテープを引っ張って、ハードディスク・ドライブを取り外します。



- 6** 新しいハード・ディスク・ドライブを取り付ける手順は、次のとおりです。

- a) 新しいハード・ディスク・ドライブをベイに入れます。ドライブがしっかりと接続されていることを確認してください。
- b) ハード・ディスク・ドライブを交換する手順は、次のとおりです。
- c) ThinkPad を元通りにして、電源をオンにします。



コイン型ネジをセキュリティ・ねじに交換して、ハードディスク・ドライブを簡単に取り外せないようにできます。詳細情報 → 86ページの『セキュリティ・ねじの使用』

ウルトラベイ **FX** デバイスの交換

以下の装置をウルトラベイ **FX** に取り付けることができます。

- CD-ROM ドライブ/ディスク・ドライブ
- セカンド・バッテリー・パック
- セカンド・ハード・ディスク・ドライブ

注: ウルトラベイ **FX** デバイス・オプションは、IBM 特約店または IBM 代理店でお求めになれます。

— ウルトラベイ FX デバイスの交換 —

CD-ROM ドライブ/ディスク・ドライブをウルトラベイ FX に対してウォーム・スワップすることができます。ウォーム・スワップとは、ThinkPad がサスペンド・モードになっているときにデバイスを取り外したり、取り付けたりすることを意味します。ウォーム・スワップは、Windows 98 または Windows 95 バージョン 4.00.950B オペレーティング・システムでのみ利用可能です。その他の場合では、CD-ROM ドライブ/ディスク・ドライブのスイッチングを行う前に ThinkPad の電源をオフにしてください。

AC アダプターが ThinkPad に電源を供給しているときは、バッテリー・パックをウルトラベイ FX に対してホット・スワップすることができます。

セカンド・ハード・ディスク・ドライブをスワップするには、ThinkPad の電源をオフにする必要があります。

注: ThinkPad がハイバネーション・モードにある場合は、ウルトラベイ FX デバイスをスワップしないでください。

ウルトラベイ FX デバイスをスワップするには、以下のようにします。

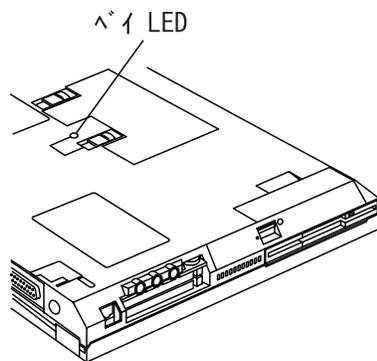
1 ThinkPad の電源がオンの場合は、以下のいずれかを行います。

- **Fn** + **F4** を押し、ThinkPad をサスペンド・モードにします。
- ThinkPad の電源をオフにします。

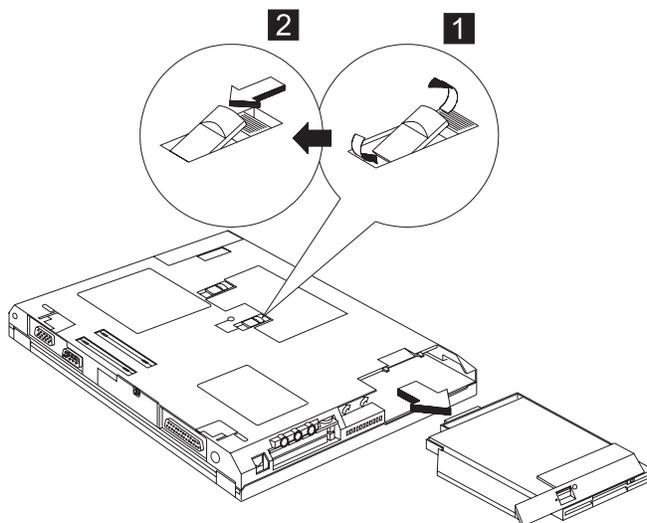
ベイの LED がオフになります。

重要: ベイの LED がオフになっていることを確認してください。ベイの LED がオンになっているときは、ウルトラベイ FX のデバイスを絶対に取り外さないでください。

ウルトラベイ Fx デバイスの交換



- 2** ウルトラベイ Fx デバイス・ロックをスライドし、ロック解除位置にします **1**。次にウルトラベイ Fx デバイスを引っ張って取り外します **2**。



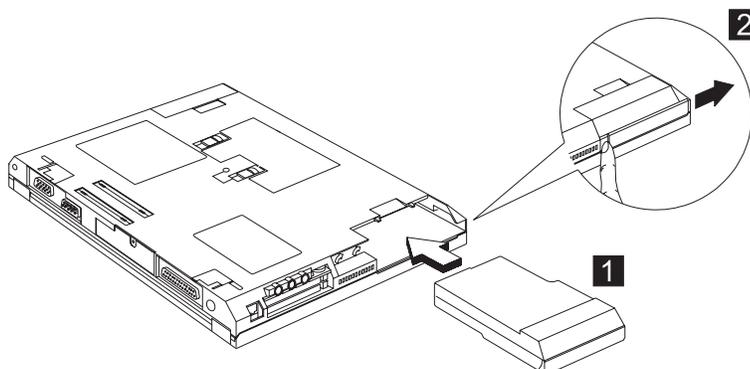
- 3** ウルトラベイ Fx デバイスをベイに挿入します。

ウルトラベイ Fx デバイス・ロックは自動的に所定位置で固定されます。

セカンド・バッテリー・パックを取り付けるには以下のようにします。

- 1** セカンド・バッテリー・パック **1** をウルトラベイ Fx に挿入します。

ウルトラベイ FX デバイスの交換



ウルトラベイ FX デバイス・ロックは自動的に所定位置で固定されます。

2 バッテリー・パック・カバー **2** をスライドさせて取り付けを完了します。

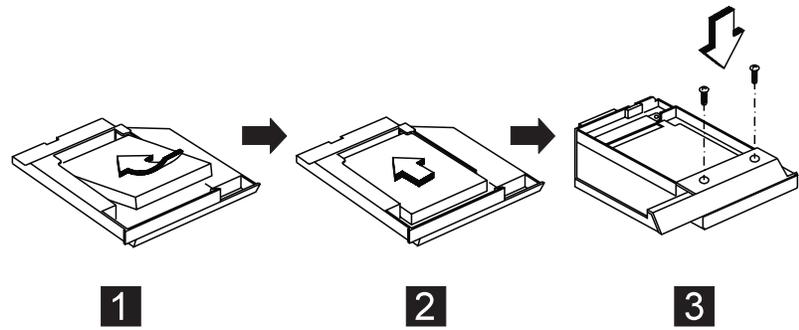
セカンド・ハード・ディスク・ドライブを取り付けるには、以下のようにします。



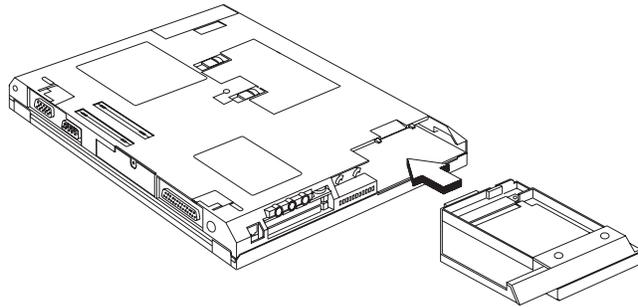
セカンド・ハード・ディスク・ドライブをウルトラベイ FX に取り付け
る前に、ThinkPad の電源をオフにします。

1 ハード・ディスク・ドライブをハード・ディスク・ドライブ・ベイ・アダプターに以下のようにして取り付けます。 **1** ハード・ディスク・ドライブをハード・ディスク・ドライブ・ベイ・アダプターに挿入します。 **2** ハード・ディスク・ドライブを所定位置にスライドさせ、 **3** ハード・ディスク・ドライブをハード・ディスク・ドライブ・ベイ・アダプターに固定します。

ウルトラベイ Fx デバイスの交換



- 2** セカンド・ハード・ディスク・ドライブをウルトラベイ FX に挿入します。



ウルトラベイ FX デバイス・ロックは自動的に所定位置で固定されます。

マウス、数値キーパッド、および外付けキーボードの接続

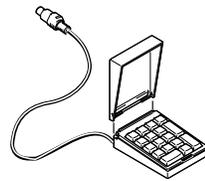
ここでは、ThinkPad にマウス、数値キーパッド、および外付けキーボードを接続する方法について説明します。

マウスまたは数値キーパッドの接続

マウスまたは数値キーパッドを、ThinkPad 背面の外付け入力装置コネクタ – () に外付けで接続することができます。



マウス

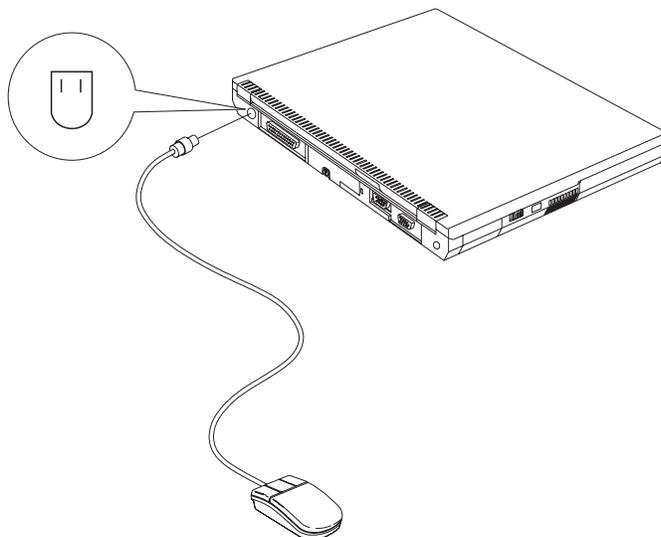


数値キーパッド

マウスは以下のようにして接続します。

- 1** ThinkPad の電源をオフにします。
- 2** マウスを、図に示されているように、外付け入力装置コネクタに直接接続します。

マウス、数値キーパッド、および外付けキーボードの接続



マウス、数値キーパッド、および外付けキーボードの接続

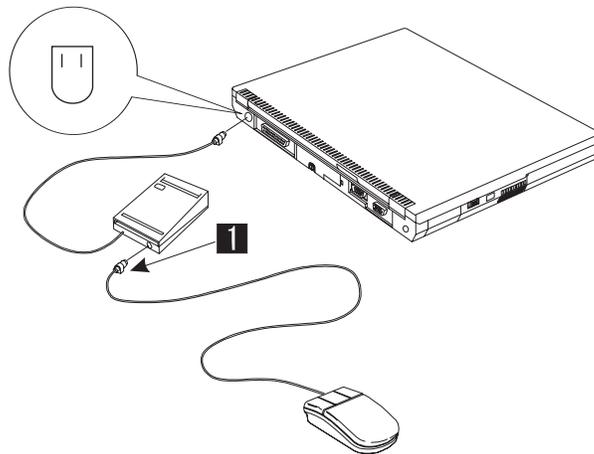
3 ThinkPad の電源をオンにします。

トラックポイントは自動的に使用不可となります。

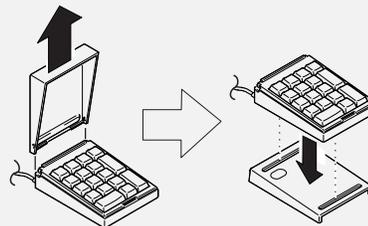
重要

シリアル・マウスを使用する場合は、マウスを接続してからトラックポイントを使用不可にし (63ページの『トラックポイントの使用不可』を参照)、次に ThinkPad を再起動します。シリアル・マウスまたは PS/2 マウス以外の外付けマウスを接続する場合は、マウスを接続してから ThinkPad を再起動します。

数値キーパッドとマウスを同時に使用したい場合は、まず数値キーパッドのケーブルを ThinkPad 本体に接続し、次にマウス・ケーブルを数値キーパッドの背面のコネクタに接続します **1**。



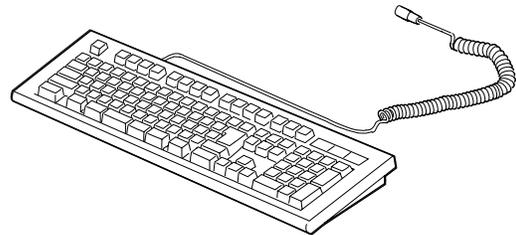
数値キーパッド・カバーを取り外し、数値キーパッドのスタンドとして使用できます。



外付けキーボードとマウスの接続



マウス



外付けキーボード

外付け入力装置コネクタから直接、またはキーボード/マウス・ケーブル・オプションを介して外付けキーボードを ThinkPad に接続することができます。

外付けキーボードを接続すると、次のキーが使用できなくなります。

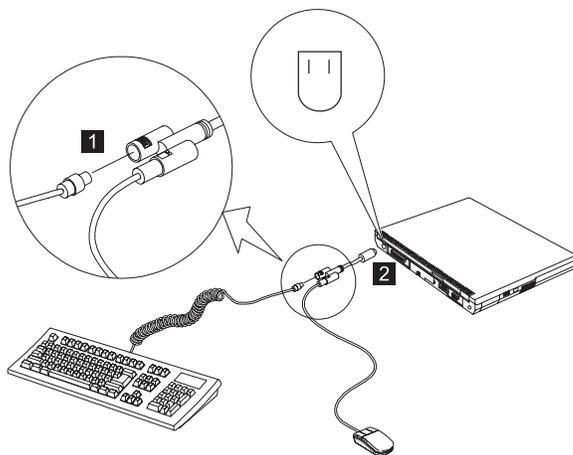
- ThinkPad 本体のキーボード上の数値キーパッド
- 外付けの数値キーパッド

代わりに、外付けキーボードの数値キーパッドを使用してください。

キーボード/マウス・コネクタを接続する場合は、ThinkPad の電源をオフにし、外付けキーボードをキーボード/マウス・コネクタのキーボード・ポートに接続してから **1**、キーボード/マウス・コネクタを ThinkPad に接続します **2**。

マウスは、キーボード/マウス・コネクタのマウス・ポートに接続します。

マウス、数値キーパッド、および外付けキーボードの接続



トラックポイントの使用不可

シリアル・マウスを使用するためには、その前にトラックポイントを使用不可にする必要があります。



Windows 98 および Windows 95 の場合:

トラックポイントを以下のようにして使用不可にします。

- 1** 「ThinkPad の設定」プログラムを起動します。(32ページの『ThinkPad の設定プログラム』を参照してください。)
- 2** 「トラックポイント」() ボタンをクリックします。
- 3** トラックポイントで「使用しない」をクリックします。

この変更は、ThinkPadの電源をいったんオフにし、もう一度オンにすると有効になります。

外付けディスプレイの接続

ここでは、ThinkPad の LCD と外付けディスプレイの使用方法について説明します。また、DOS のアプリケーションを使用する場合の考慮事項についても記述します。

ThinkPad の LCD は、*TFT (Thin-Film Transistor)* テクノロジーを採用しています。このタイプの LCD は、XGA (1024x768 の解像度) または、SVGA (800 x 600 の解像度) のビデオ・モードで 1,677 万色を出力します。

VGA (640x480 の解像度)モードよりも高解像度をサポートする外付けディスプレイを接続すれば、最大 1280x1024 の解像度で表示できます。

重要

ムービーの再生中やゲームのプレイ中など、動画の作動中は、ディスプレイの表示モードを変更しないでください。アプリケーションをいったん終了してからディスプレイの表示モードを変更してください。

外付けディスプレイを接続する手順は、次のとおりです。

- 1 ThinkPad の電源をオフにします。
- 2 外付けディスプレイを ThinkPad の背面にある外付けディスプレイ・コネクタ () に接続してから、電源コンセントに接続します。
- 3 外付けディスプレイと ThinkPad の電源をオンにします。
- 4 「ThinkPad の設定」プログラムを始動します。
32ページの『ThinkPad の設定プログラム』を参照してください。
- 5 「LCD と CRT ディスプレイ両方」 () アイコンまたは「CRT ディスプレイ単独」 () アイコンをクリックして、ディスプレイの表示モードを変更します。

重要

VGA モード (640x480 の解像度) のみをサポートする外付けディスプレイを接続する場合は、「LCD と CRT ディスプレイ両方」を選択 しないでください。選択すると、外付けディスプレイの画面が乱れ、出力も表示されなくなることがあります。さらに、画面が損傷する場合があります。代わりに「CRT ディスプレイ単独」を使用してください。



また、**Fn** + **F7** キーを押して、ディスプレイの表示モードを変更することもできます。

6 次のようにして、ディスプレイの表示先とディスプレイ・デバイス・ドライバーを設定します。



詳細情報 → 68ページの『解像度、色数、およびリフレッシュ・レート』

- a) 「ThinkPad の設定」プログラムを始動します。
- b) 「外付けディスプレイ」 () アイコンをクリックします。
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- c) 「詳細」ボタンをクリックします。
- d) 「モニタ」タブをクリックします。
- e) 「変更」ボタンをクリックします。

「デバイス・ドライバの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。画面の指示に従い、「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択し、ディスプレイ・リストからディスプレイのタイプを選択します。

7 ThinkPad を再起動して、新しい設定を有効にします。

ディスプレイの表示モードの変更

重要

ムービーの再生中やゲームのプレイ中など、動画の作動中は、ディスプレイの表示モードを変更しないでください。アプリケーションをいったん終了してからディスプレイの表示モードを変更してください。

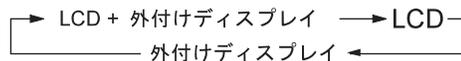
「ThinkPad の設定」プログラムを使用して、ディスプレイの表示モードを変更することができます。次の表示モードから、どれかを選択してください。

外付けディスプレイの接続

- LCD (): ThinkPad の出力は、ThinkPad の LCD のみに表示されます。
- 外付けディスプレイ (): ThinkPad の出力は、接続された外付けディスプレイのみに表示されます。

ThinkPad に外付けディスプレイが接続されていないときに、表示モードを「外付けディスプレイ」に設定すると、出力は LCD に表示されません。
- LCD と外付けディスプレイの両方 (): ThinkPad の出力は、LCD と接続された外付けディスプレイの両方に表示されます。

ディスプレイ表示モードは、**Fn** キー・ファンクションを使用して変更することもできます。**[Fn]** キーを押しながら、**[F7]** キーを押してください。ThinkPad の出力は、次の順で切り替わります。



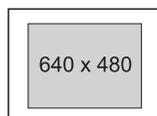
重要

ThinkPad がサスペンド・モードまたはハイバネーション・モードになっているときに、外付けディスプレイを取り外さないでください。

ThinkPad が通常の操作状態に戻ったときに外付けディスプレイが接続されていないと、**LCD** には何も表示されません。この制限事項は、いずれの解像度も同様です。

— LCD 上の DOS 画面に関する考慮事項 —

ThinkPad で、VGAモード (640x480 の解像度) のみをサポートしている DOS アプリケーションを使用すると、下図のように画面サイズより小さく見える場合があります。



これは、ThinkPad が DOS アプリケーションとの互換性を保っているためです。画面イメージを実際の画面と同じサイズに拡大するには、スクリーン・エクспанション機能を使用します。画面イメージを拡大す

るには、「ThinkPad の設定」プログラムの LCD ボタン () をクリックし、「画面拡大」のラジオ・ボタンを使用可能にし、そして **OK** をクリックします。ただし、表示されるイメージは、実際のイメージと多少異なって見える場合があります。

解像度、色数、およびリフレッシュ・レート:

ThinkPad 390 コンピューターは、XGA (1024x768 の解像度) ビデオ・モードまたは SVGA (800x600 の解像度) ビデオ・モードをサポートする LCD を備えています。次の表は、ThinkPad または外付けディスプレイで表示可能な解像度、色数、およびリフレッシュ・レートを示しています。この表を使用して、表示モード (「**LCD 単独**」、「**CRT ディスプレイ単独**」、または「**LCD と CRT ディスプレイ両方**」) を設定してください。



オペレーティング・システムをインストールする場合、XGA モードまたは SVGA モードを使うには ThinkPad 用のディスプレイ・ドライバーをインストールする必要があります。

- 出力を LCD または LCD と外付けディスプレイの両方に表示する場合 (「**LCD**」または「**LCD + 外付けディスプレイ**」)

外付けディスプレイの接続

解像度	サポートされる色数
640x480 (VGA)	16, 256, 65,536, および 16,777,216
800x600 (SVGA)	256, 65,536, および 16,777,216
1024x768 (XGA) (14.1 インチ・モデルでのみ利用可能)	256, 65,536, および 16,777,216

- 出力を外付けディスプレイに表示する場合 (「外付けディスプレイ」)

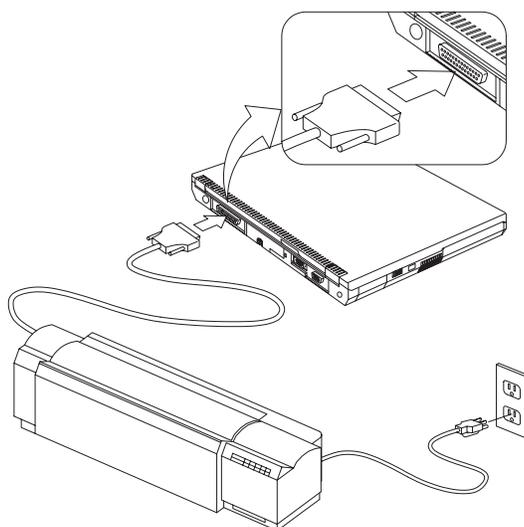
解像度	サポートされる色数	フレーム速度
640x480 (VGA)	256	60 Hz, 75 Hz, または 85 Hz
	65,536	
	16,777,216	
800x600 (SVGA)	256	60 Hz, 75 Hz, または 85 Hz
	65,536	
	16,777,216	
1024x768 (XGA)	256	60 Hz, 70 Hz, 75Hz, または 85 Hz
	65,536	
	16,777,216	
1280x1024	256	60 Hz

注: 外付け LCD の製品によっては、解像度や色数が制限されていることがあります。

プリンターの接続

プリンターを、コンピューター背部にある 25 ピン、パラレル・コネクタに接続することができます。

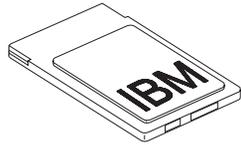
1 以下に示されているようにプリンターを接続します。



2 プリンターをオンにします。

PC カードの取り付け

ここでは、PC カードの取り付け方法について説明します。



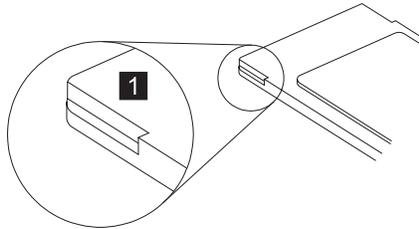
重要

ThinkPad がサスペンド・モードのときは、PC カードを取り付けないでください。取り付けると、システムが停止する場合があります。

ThinkPad には 2 つの PC カード・スロット (上段スロットと下段スロット) があり、次のタイプのカードをサポートします。

- PC カード (タイプ I、タイプ II、およびタイプ III)
- CardBus
- ZV (Zoomed Video)

1 PC カードの切り込み **1** のある側を探します。

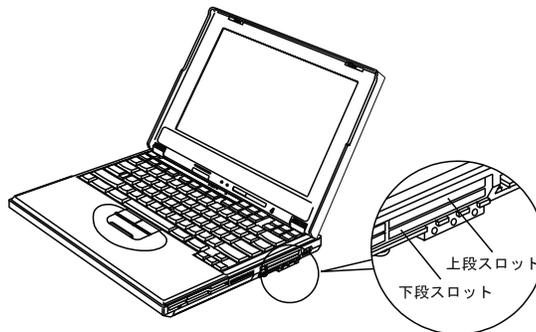


2 PC カードのタイプに合った PC カード・スロットに PC カードを差し込みます。



- XJACK** コネクター付きの PC カードは、上段スロットに差し込んでください。
- タイプ I またはタイプ II の PC カードは、上段スロット、下段スロットのどちらかに差し込んでください。
- タイプ III の PC カードは、下段スロットに差し込んでください。

PC カードの取り付け



XJACK モデム PC カードを使用しているときは、マイクロホン入力ジャックに外付けマイクロホンを接続することはできません。

3 PC カードをコネクタにしっかりと差し込みます。



- **Windows 98** の場合

PC カード・ドライバーをインストールしていない場合、Windows 98 は「PCMCIA カード・サービス・ウィザード」を始動して、PC カード・ドライバーをインストールします。画面の指示に従ってください。

これで、PC カードの取り付けが完了しました。すぐに PC カードを使うことができます。PC カード・ソフトウェアの使用方法 → [ステップ・アップ・ガイド](#)

PC カードの取り外し

PC カードを取り外す前に、そのカードを停止する必要があります。そうしないと、システムが停止したり、データが壊れたり損傷したりする可能性があります。

1 カードを停止します。

PC カードを停止するには、タスクバーの右側にある PC カードのアイコンを見つけてクリックし、次に「停止」をクリックします。

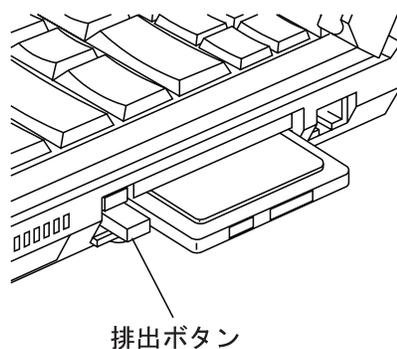
PC カードの停止方法 ➡ ステップ・アップ・ガイド



CardSoft モードにあるとき、またはカードがすでに停止している場合は、「停止」オプションが灰色で表示されます。

2 PC カード排出ボタンを押して、ボタンを飛び出させます。次に、飛び出した PC カード排出ボタンを押して、PC カードを取り出します。

3 PC カードを取り出し、安全な場所に保管します。



PC カードの使用に関する詳細情報 ➡ ステップ・アップ・ガイド

PC カード・モデム (オプション) の取り付け

ここでは、一例としてオプションの PC カード・モデムを取り付ける手順を説明します。

重要

一般に、PC カード・モデムは、公衆電話回線 (アナログ回線) にしか接続できないので、デジタル電話回線では使用しないでください。アナログ回線以外の回線に接続すると、モデムやデジタル交換機が損傷することがあります。

⚠ 危険

感電事故を防止するため、雷雨時には電話ケーブルを電話用モジュラー・ジャックから抜き差ししないでください。

PC カード・モデムを取り付ける手順は、次のとおりです。

1 PC カード・モデムを PC カード・スロットに差し込みます。

画面の指示に従い、適切なモデム・デバイス・ドライバーを構成してください。製造元のディスクからモデム・デバイス・ドライバーをインストールする必要がある場合があります。PC カード・モデムに付属の資料を参照してください。

2 「スタート」をクリックし、カーソルを「設定」、「コントロールパネル」の順に移動します。

3 「コントロール パネル」をクリックしてから、「テレフォニー」をダブルクリックします。

「所在地情報」ウィンドウが表示されます。



4 必要な情報を入力し、「OK」ボタンをクリックします。

PC カードの取り付け

- 5 PC カード・モデム付属の電話ケーブルの一方の端を PC カード・モデムに接続し、ケーブルのもう一方の端を電話用モジュラー・ジャックに接続します。

これで、PC カード・モデムの取り付けが完了しました。

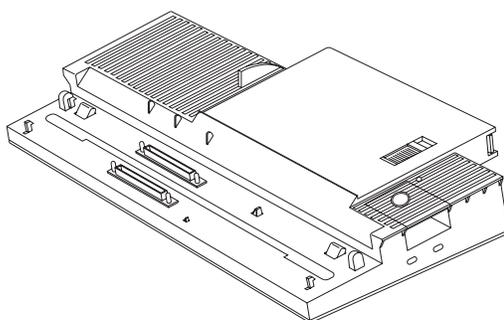
PC カード・サポート・ソフトウェアの詳細情報 ➡ ステップ・アップ・ガイド

ポート・リプリケーターの使用



ThinkPad を接続 (ドッキング) または取り外す (アンドッキング) 方法については、拡張ポート・リプリケーター (EtherJet 機能付き) に付属のユーザーズ・ガイドを参照してください。

ThinkPad を拡張ポート・リプリケーター (EtherJet 機能付き) にドッキングすると、ThinkPad 背面のコネクタがすべて隠れてしまうため、ThinkPad のコネクタが使用できなくなります。これらのコネクタの代わりに拡張ポート・リプリケーター (EtherJet 機能付き) 上のコネクタを使用することができ、さらに追加機能も使用できます。



ThinkPad ポート・リプリケーター (拡張 EtherJet 機能付き)

重要

拡張ポート・リプリケーター (EtherJet 機能付き) は AC 電源でしか作動しないので、拡張ポート・リプリケーター (EtherJet 機能付き) を ThinkPad からのバッテリー電源で使用することはできません。そのため、拡張ポート・リプリケーター (EtherJet 機能付き) の使用中は AC アダプターを外さないでください。使用中に AC アダプターを外すと、ThinkPad の誤動作の原因となります。



Windows 98 の場合

ThinkPad がサスペンド・モードのとき、または ThinkPad の電源がオフのときに、ThinkPad のドッキングおよびアンドッキングが可能です。たとえば、ThinkPad をアンドッキングする場合、次のいずれかの方法を選べます。

- 「スタート」メニューの「取り出し」を選択します (自動的にサスペンドします)。
- ポート・リプリケーターの「排出要求」ボタンを押します (自動的にサスペンドします)。
- ThinkPad の電源をオフにして LCD を閉じます。

ハイバネーション・モードのときは、ThinkPad のドッキングまたはアンドッキングを行なわないでください。

Windows NT の場合

ThinkPad の電源がオフになっている場合にのみ、ThinkPad のドッキングまたはアンドッキングを行うことができます。

- ThinkPad の電源をオフにして LCD を閉じます。



ThinkPad またはポート・リプリケーターの電源オン・インディケーターがオンになっていない場合は、**[Fn]** キーを押します。

CardBus スロットを使用可能にするには (Windows 98 の場合)

ThinkPad が、サスペンド・モードのときにポート・リプリケーターを接続すると、CardBus スロットが正しく機能しない場合があります。この場合は、次の手順で CardBus スロットを使用可能にします。

- 1 「スタート」をクリックし、カーソルを「設定」に移動してから、「コントロール パネル」をクリックします。
- 2 「システム」をダブルクリックします。
- 3 「デバイス・マネージャ」をクリックし、「PCMCIA ソケット」をダブルクリックします。CardBus スロットが使用可能でない場合は、「PCMCIA ソケット」の下に、感嘆符 (!) が付いた **Texas Instruments PCI-1250 CardBus Controller** という行が 2 行が表示されます。
- 4 どちらかの行をクリックし、「削除」ボタンをクリックします。
- 5 もう一方の行をクリックし、「削除」ボタンをクリックします。
- 6 「更新」ボタンをクリックします。

これで CardBus ソケットが使用可能になります。

第3章

システムの保護

本章では、ThinkPad の盗難または不正使用を防ぐ方法について説明します。

パスワードの使用	80
パスワードの入力	81
パスワードの設定	83
パスワードの変更と消去	84
ロック機能の使用	86
セキュリティーねじの使用	86

パスワードの使用

ThinkPad には、使用許可を受けていない人が勝手にアクセスできないようパスワード設定機能が付いています。パスワードが設定されると、ThinkPad の電源を入れるたびにパスワード・プロンプトが画面に表示され、パスワードを入力しなければなりません。正しいパスワードが入力されないと、ThinkPad を使うことはできません。ThinkPad には、次のパスワードを設定することができます。

- 始動パスワード

始動パスワードは、使用許可を受けていない人が勝手に ThinkPad を使うのを防ぐためのものです。以下のセキュリティー機能が提供されています。

- ThinkPad の起動中、始動時に始動パスワードを入力する必要があるため、使用許可のない人は、勝手に ThinkPad を使うことができません。
- サスペンド・モードから通常の操作を再開するときにも始動パスワードを入力する必要があるため、使用許可のない人は、勝手に ThinkPad を使うことができません。

- ハード・ディスク・パスワード

ハード・ディスク・パスワードは、セキュリティー機能の追加機能です。たとえ、始動パスワードを設定していたとしても、その ThinkPad のハード・ディスク・ドライブを取り外し、別の ThinkPad に取り付けられれば、ハード・ディスク内のデータにアクセスすることができます。しかし、ハード・ディスク・パスワードを設定していれば、そのパスワードを知らない人は、ハード・ディスク・ドライブ内のデータにアクセスできなくなります。以下の機能が提供されています。

- ThinkPad の起動中、始動時にハード・ディスク・パスワードを入力する必要があります。
- ハード・ディスク・ドライブが他の ThinkPad に移動されていても、ハード・ディスク・ドライブ・パスワードを始動時に入力しなければなりません。したがって、たとえハード・ディスク・ドライブが ThinkPad から取り外されても、使用許可を受けていない人はハード・ディスク・ドライブにアクセスできないこととなります。

注: システム管理者が、ハード・ディスク・パスワードを使用できない状態に設定することもできます。

- セットアップ・パスワード

セットアップ・パスワードはシステム管理者用のツールで、多くの ThinkPad コンピューターを管理するために使われます。セットアップ・パスワードはシステム管理者によって設定されるものであり、ユーザーには必要ありません。ユーザーは、セットアップ・パスワードを知らなくても ThinkPad を起動することができます。セットアップ・パスワードは BIOS セットアップ・ユーティリティにアクセスする場合にのみ必要です。以下のセキュリティ機能が提供されています。

- システム管理者のみが BIOS セットアップ・ユーティリティにアクセスすることができます。セットアップ・パスワードが設定されていると、BIOS セットアップ・ユーティリティを始動しようとするたびにパスワード・プロンプトが表示されます。
- システム管理者は、同一のセットアップ・パスワードを複数の ThinkPad に設定し、管理しやすくすることができます。

- その他のパスワード

いくつかの Microsoft のオペレーティング・システムでは、独自の Windows 用パスワードを提供しています。これらのパスワードの設定方法、変更方法、使用方法については、オペレーティング・システムの *ユーザーズ・ガイド* を参照してください。

パスワードの入力

始動パスワードを設定すると、画面の左上隅にパスワード・プロンプト

() が表示されます。このプロンプトは、ThinkPad の電源をオンにするたびに、またはサスペンド・モードから通常の操作状態に戻るたびに表示されます。

ただし、ThinkPad が設定されているタイマーまたはモデム着信による呼び出しによって通常の操作状態に戻る場合、パスワード・プロンプトは表示されません。パスワード・プロンプトを表示させるには、任意のキーを押すか、ポインティング・デバイスを動かしてください。

パスワードを入力する手順は、次のとおりです。

1 パスワードを入力します。

パスワードを入力するときは指をキーからすばやく離してください。1 つのキーを長く押し続けると、同じ文字が繰り返し入力されてしまいます。

2 **Enter** キーを押します。

正しいパスワードを入力すると「**OK**」が表示され、誤ったパスワードを入力すると「**X**」が表示されます。パスワードを 3 回間違えた場合は、ThinkPad の電源をオフにし、5 秒以上待ってから、電源をオンにして入力してください。

パスワードの設定

パスワードを設定する手順は、次のとおりです。

- 1 ThinkPad を再起動します。
- 2 **F1** を押して BIOS セットアップ・ユーティリティに入ります。
- 3 **Password** を選択し、**Enter** を押します。"Password" サブメニューが表示されます。

IBM BIOS Setup Utility	
Password	Item Specific Help
Set Setup password [Enter]	
Set HDD-1 password [Enter]	
Set HDD-2 password [Enter]	
Set Power on password [Enter]	

F1 Help ↑↓ Select Item -/ <space> Change Values F9 Setup Defaults
Esc Exit ↔ Select Menu Enter Select ► Sub-Menu F10 Save and Exit

- **Set Setup Password**。これを選択すると、セットアップ・パスワードを設定するためのウィンドウが表示されます。
- **Set HDD-1 Password**。これを選択すると、ハード・ディスク・パスワードを設定するためのウィンドウが表示されます。
- **Set HDD-2 Password**。これを選択すると、セカンド・ハード・ディスク・パスワードを設定するためのウィンドウが表示されます(セカンド・ハード・ディスク・ドライブがウルトラベイ FX にインストールされている場合にのみ使用可能)。
- **Set Power-On Password**。これを選択すると、始動パスワードを設定するためのウィンドウが表示されます。

4 設定しようとするパスワードのタイプを選択し、**Enter** を押し
ます。"Set Password" ウィンドウが表示されます。

5 希望するパスワードを入力し、**Enter** を押し
ます。

注: 英文字 (A~Z) と数字 (0~9) を組み合わせて、7 文字以内の
任意の文字を使用できます。大文字と小文字 (たとえば A と a)
は、同じ文字として扱われます。

パスワードを誤って入力してしまった場合は、**Backspace** キー
を使用して消去し、パスワードを正しく入力し直してください。

6 ユーザーのパスワードを再度入力し、**Enter** を押してその確認を行
います。

注: パスワードはメモし、安全な場所に保管しておいてください。

— パスワードを忘れないでください —

ハード・ディスク・パスワードやセットアップ・パスワードを忘れた
場合、パスワードを再設定することも、ハード・ディスクからデータを
復元することもできません。IBM 特約店または IBM 販売店に
ThinkPad をお持ちいただき、ハード・ディスクまたはシステム・ボー
ドを交換していただくこととなります。このサービスを受けるには、購
入を証明するものが必要であり、有料となります。IBM 代理店や IBM
営業担当員でも、ハード・ディスク・ドライブを使用可能にすることは
できません。

パスワードの変更と消去

この機密保護機能は、他人が勝手にパスワードを消去し、ThinkPad を使用
することを防いでいます。パスワードを変更または消去する手順は、次のと
おりです。

1 ThinkPad を再起動します。

2 **F1** を押して BIOS セットアップ・ユーティリティーに入ります。

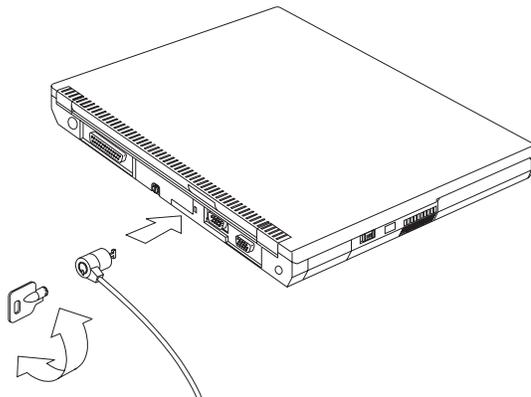
3 **Password** を選択し、**Enter** を押し
ます。"Password" サブメニ
ューが表示されます。

- 4** 変更または消去するパスワードのタイプを選択し、**Enter** を押します。 ウィンドウが表示されます。
- 5** 現在のパスワードを入力し、**Enter** を押します。
- 6** 希望する新しいパスワードを入力し、**Enter** を押します。
注: パスワードを消去したい場合は、何も入力しないで済みます。
- 7** 新しいパスワードを再度入力し、**Enter** を押してその確認を行います。
注: パスワードはメモし、安全な場所に保管しておいてください。

ロック機能の使用

ThinkPad の不正使用防止のため、ThinkPad にセキュリティー・システム・ロックを取り付けることができます (セキュリティー・システム・ロックは付属していません)。

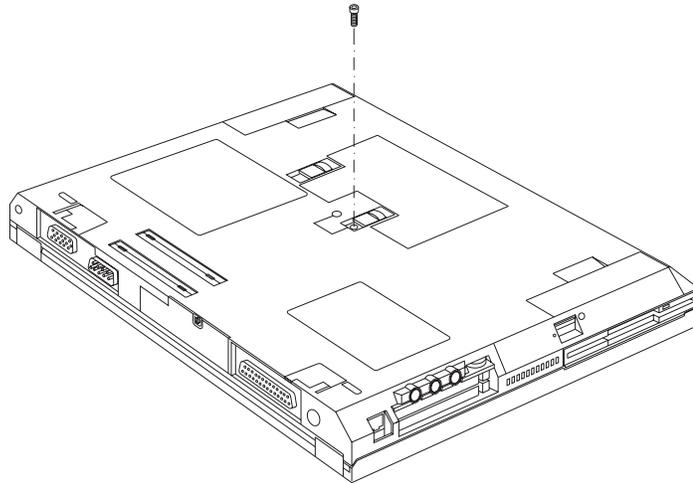
セキュリティー・システム・ロックを ThinkPad 背面のキーホールにつなげ、ロックの鎖を安全で動かないものにつなぎます。



注: セキュリティー・システム・ロック装置と機密保護機能の評価、選択、取り付けは お客様で行っていただきます。IBM では、その機能性、品質、性能についての言及、評価、保証は行いません。

セキュリティーねじの使用

ThinkPad に付属するセキュリティーねじを使用し、ウルトラベイ FX のデバイスが容易に取り外されないようにすることができます。



ウルトラバイ FX をセキュリティーねじで固定するには、以下のようにします。

- 1** ThinkPad の電源をオフにし、AC アダプターやその他のケーブル類を取り外します。
- 2** ThinkPad を裏返します。
- 3** セキュリティーねじを取り付け、2.5 mm 六角レンチで固く締めます。
- 4** ThinkPad を元の位置に戻します。
- 5** AC アダプターを接続し、ThinkPad の電源をオンにします。

第4章

問題が起こったら . . .

よく聞かれる質問とその答え	90
ヒントおよび制限事項	100
ポート・リプリケーターで PC カードを使用	101
USB コネクタに関する考慮事項	102
2 枚目の CardBus カードの使用	102
マイクロホンの使用	102
問題判別ガイド	103
問題判別表	104
エラー・コードまたは画面上のメッセージ	105
エラー・コードまたは画面上のメッセージで表示されない問題	106
入力装置の問題	107
サスペンド・モードまたはハイバネーション・モードの問題	108
液晶ディスプレイ (LCD) の問題	111
インディケータの問題	112
バッテリーの問題	112
CD-ROM ドライブの問題	113
赤外線通信の問題	114
オーディオの問題	114
汎用シリアル・バス (USB) の問題	115
PC カードの問題	116
プリンターの問題	118
外付けディスプレイの問題	119
ポート・リプリケーターの問題	122
その他のオプションの問題	122
ソフトウェアの問題	124
その他の問題	125
削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復	126
リカバリー CD の使用	126
導入済みアプリケーション CD の使用	126

よく聞かれる質問とその答え

ここでは、よく聞かれる質問とその答えについて記述します。次の表で示すページに進み、そこで指示された処置をとってください。

質問	ページ
画面が消えるのを止める方法	92
赤外線ポートの設定方法	92
シリアル・コネクタの設定方法	93
トラックポイントとマウスの切り替え方法	94
ディスプレイの解像度の設定方法	95
外付けディスプレイの設定方法	96
バッテリーの寿命を最大限にする方法	98
オペレーティング・システムのインストール方法	99
リカバリー CD の使用方法	99

ここで扱う問題を解決するには、「ThinkPad の設定」プログラムを使用する必要があります。「ThinkPad の設定」プログラムを始動するには、タスクバーの「ThinkPad」アイコンをダブルクリックしてください。

「ThinkPad の設定」プログラムのウィンドウが表示されます。



注: 「ThinkPad の設定」プログラムは、次の手順でも始動することができます。

1. 「スタート」ボタンをクリックします。
2. カーソルを「プログラム」、「ThinkPad」の順に移動してから、「ThinkPad の設定」をクリックします。

画面を消したくないときでも時間がたつと消えてしまいます。どのようにすれば、消えないようにできますか？

「ThinkPad の設定」プログラムを使えば、ディスプレイ・タイマーまたはシステム・スタンバイ・タイマーなどのシステム・タイマーをすべて使用不可に設定することができます。

- 1 「ThinkPad の設定」プログラムを始動します。
- 2 「スクリーン・ブランキングを使用可能にする」アイコン () をクリックします。

どのようにすれば、赤外線ポートを通信ポートとして使用可能にすることができますか？

赤外線ポートを使用不可にしている場合は、次に赤外線ポートを使う前に使用可能に設定する必要があります。赤外線ポートを使用可能にする手順は、次のとおりです。

- 1 作業を保管し、使用中のプログラムをすべて終了します。
- 2 「ThinkPad の設定」プログラムを始動します。
- 3 「赤外線ポート」アイコン () をクリックします。
- 4 「有効」をクリックします。
- 5 「使用する」をクリックします。

ハードウェア・リソースが他の通信デバイスで使用されていることを示す「注意」が表示される場合があります。その場合は、「デバイスを使用不可にする」をクリックします。

注:

1. 赤外線ポートがすでに使用可能になっていることが確認できた場合は、設定を変更せずに、すぐに使用できます。
2. ThinkPad のシリアル・ポートは、赤外線ポートなど他の通信デバイスにリソースを解放するために、使用不可にすることができます。

赤外線ポートを使用可能にしたあとは、通信ポートとして使用できません。正しく作動しない場合は、通信ソフトウェア・アプリケーションに問題があるか、通信先のデバイスに問題がある可能性があります。

ます。通信先のデバイスに問題がない場合は、ご使用の通信ソフトウェアのオンライン・ヘルプを参照してください。

どのようにすれば、シリアル・ポートを通信ポートとして使用可能にすることができますか？

シリアル・ポートを使用不可にしている場合は、次にシリアル・ポートを使う前に使用可能に設定する必要があります。シリアル・ポートを使用可能にする手順は、次のとおりです。

- 1 使用中の作業とプログラムをすべて保管します。
- 2 「ThinkPad の設定」プログラムを始動します。
- 3 「シリアル・ポート」アイコン () をクリックします。
- 4 「有効」をクリックします。
- 5 「OK」をクリックします。

ハードウェア・リソースが他の通信デバイスで使用されていることを示す「注意」が表示される場合があります。その場合は、「デバイスを使用不可にする」をクリックします。

注:

1. シリアル・ポートがすでに使用可能になっていることが確認できた場合は、設定を変更せずに、すぐに使用できます。
2. ThinkPad の赤外線ポートは、シリアル・ポートなど他の通信デバイスに資源を解放するために、使用不可にできます。

シリアル・ポートを使用可能にしたあとは、通信ポートとして使用できます。正しく作動しない場合は、通信ソフトウェア・アプリケーションに問題があるか、通信先のデバイスに問題がある可能性があります。通信先のデバイスに問題がない場合は、ご使用の通信ソフトウェアのオンライン・ヘルプを参照してください。

オフィスではマウスを外付けで使用し、それ以外ではトラックポイントを使用するには、どうすればよいですか？

シリアル・マウスの場合:

シリアル・マウスは以下のようにして使用します。

- 1 作業を保管し、使用中のプログラムをすべて終了します。
- 2 シリアル・マウスを接続します。
- 3 「ThinkPad の設定」プログラムを始動します。
- 4 「トラックポイント」 () ボタンをクリックします。
- 5 「使用しない」を選択します。
- 6 「OK」をクリックします。

トラックポイントを再び使用するには、以下のようにします。

- 1 「ThinkPad の設定」プログラムを始動します。
- 2 「トラックポイント」 () ボタンをクリックします。
- 3 「使用する」を選択します。
- 4 「OK」をクリックします。
- 5 シリアル・マウスを切り離します。

シリアル・マウスまたは **PS/2** マウス以外の外付けマウスの場合:
外付けマウスは以下のようにして使用します。

- 1 作業を保管し、使用中のプログラムをすべて終了します。
- 2 ThinkPad の電源をオフにします。
- 3 外付けマウスを接続します。

4 ThinkPad の電源をオンにします。

トラックポイントは自動的に使用不可となります。

トラックポイントを再び使用するには、以下のようにします。

1 作業を保管し、使用中のプログラムをすべて終了します。

2 ThinkPad の電源をオフにします。

3 外付けマウスを切り離します。

4 ThinkPad の電源をオンにします。

LCD と外付け (CRT) ディスプレイを同時に使っているときは、外付け (CRT) ディスプレイから最高解像度で表示できません。なぜですか？

ThinkPad 本体の LCD と CRT ディスプレイの両方に、任意の解像度を設定することができます。ただし、両方を同時に使っている場合、2 つの解像度は同じものになります。ThinkPad 本体の LCD により高い解像度を設定すると、1 度に見られるのは画面の一部だけになってしまいます。隠れている部分は、トラックポイントや他のポインティング・デバイスを動かすことで見ることができます。画面の出力先は、「ThinkPad の設定」プログラムの「ディスプレイ装置」アイコンを使って、LCD 単独、CRT ディスプレイ単独、または LCD と CRT ディスプレイ両方のどれかに変更できます。また、**[Fn]** キー + **[F7]** キーの組み合わせでも、出力先を変更することができます。

外付けディスプレイを設定する手順は、次のとおりです。

- 1** 「スタート」ボタンをクリックし、カーソルを「設定」、「コントロール パネル」の順に移動し、「コントロール パネル」をクリックします。
- 2** 「画面」アイコンをダブルクリックします。
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3** 「設定」タブをクリックします。
- 4** 「詳細」ボタンをクリックします。
- 5** 「モニタ」タブをクリックします。

- 6 「変更」ボタンをクリックします。
「デバイス・ドライバの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。
- 7 「次へ」をクリックします。
- 8 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」をクリックし、「次へ」をクリックします。「すべてのハードウェアを表示」を選択します。
- 9 ご使用のディスプレイの「製造元」と「モデル」を選択します。「次へ」をクリックして、画面の指示に従います。
- 10 「完了」をクリックして「デバイス・ドライバの更新ウィザード」ウィンドウをクローズします。
- 11 「閉じる」をクリックして、ウィンドウをクローズします。
- 12 「設定」タブで、「色」と「画面の領域」を設定します。
- 13 「OK」をクリックします。

Windows のプラグ・アンド・プレイ機能が外付けディスプレイを検出しない場合、どのようにして外付けディスプレイを設定したらよいですか？

次の手順に従ってください。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、カーソルを「設定」、「コントロール パネル」の順に移動し、「コントロール パネル」をクリックします。
- 2 「画面」アイコンをダブルクリックします。
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「設定」タブをクリックします。
- 4 「詳細」ボタンをクリックします。
- 5 「モニタ」タブをクリックします。
- 6 「プラグ アンド プレイ モニタを自動的に検出する」がチェックされていることを確認します。
- 7 このオプションがチェックされているにもかかわらず、再始動後もディスプレイが認識されない場合は、「変更」をクリックして、手動でモニターを設定します。「デバイス・ドライバの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。

8 使用しているモニタのデバイス・ドライバーをインストールしてください。

注: 外付けディスプレイのプラグ・アンド・プレイ機能は、D-Subケーブルで接続されている場合にのみ使用できます。BNCケーブルでは、使用できません。

どのようにすれば、バッテリーの寿命を最大限に使用することができますか？

バッテリーの寿命を最大限に使用する手順は、次のとおりです。

- バッテリー・モードでバッテリーが完全に空になるまで (バッテリー・インディケーターと電源インディケーターが同時に点滅するまで) バッテリーを使いきります。
- バッテリー・モードで使用する前に、バッテリーを再度フル充電します (AC アダプターを接続した状態で充電し、充電インディケーターが緑になったら、バッテリーはフル充電されたこととなります)。
- 新しいバッテリーや長い期間使用しなかったバッテリーの場合は、次の手順に従ってください。
 1. バッテリー・モードでバッテリーが完全に空になるまで (バッテリー・インディケーターと電源インディケーターが同時に点滅するまで) バッテリーを使いきります。
 2. バッテリー・モードで使用する前に、バッテリーを再度フル充電します (AC アダプターを接続した状態で充電し、充電インディケーターが緑になったら、バッテリーはフル充電されたこととなります)。
 3. 上記のステップを 3 回繰り返します。
- 常に、パワー・モード、スタンバイ・モード、サスペンド・モード、ハイバネーション・モードなどの省電力管理機能を使うようにしてください。

省電力管理機能の詳細 → [ステップ・アップ・ガイド](#)

どのようにすれば、**ThinkPad** に別のオペレーティング・システムをインストールできますか？

—または—

現在使用しているオペレーティング・システム用の **ThinkPad** デバイス・ドライバーは、どこで入手できますか？

新しいオペレーティング・システムとデバイス・ドライバーのインストール方法および入手方法については、*ステップ・アップ・ガイド* を参照してください。

リカバリー **CD** を使って、**ThinkPad** に出荷時のオペレーティング・システムとアプリケーションを復元するにはどうしたらよいですか？

➡ 126ページの『リカバリー CD の使用』

ヒントおよび制限事項

ここでは、知っておく必要のあるヒントと制限事項をいくつか紹介します。



Windows 98 および Windows 95 の場合:

Intel USB カメラを使用している場合、サスペンド・モードから通常操作を再開すると、USB カメラが使用できなくなります。USB カメラを使用可能にするには、いったんそれを取り外し、もう一度接続してください。

- CD-ROM ドライブのプロパティの設定のために、「ThinkPad の設定」プログラムで指定したタイムアウト期間が終了しても、サスペンド・モードやハイバネーション・モードに入れない場合があります。サスペンド・モードやハイバネーション・モードを使用する場合は、次の手順に従って、CD-ROM ドライブのプロパティを変更してください。
 1. 「スタート」ボタンをクリックし、カーソルを「設定」、「コントロール パネル」の順に移動し、「コントロール パネル」をクリックします。
 2. 「システム」をダブルクリックします。
 3. 「デバイス マネージャ」タブをクリックし、「CD-ROM」をダブルクリックします。
 4. 「CD-ROM」の下にある CD-ROM ドライブ名をクリックしてから、「プロパティ」ボタンをクリックします。
 5. 「設定」タブをクリックし、「オプション」ボックスの「自動挿入」の横のチェック・ボックスをクリックして、チェック・マークを外します。
 6. 「OK」をクリックし、ThinkPad を再起動します。

スクロールおよび拡大鏡機能を使用するには、外付けマウスを切り離し、内蔵のトラックポイントを使用可能にする必要があります。



Windows NT 4.0 の場合:

- Windows NT 4.0 の場合、ハイバネーション・モードはサポートされません。



Windows 3.1 の場合:

メモリー不足またはメモリー・エラーが発生した場合は、次のようにしてください。

- 1** CONFIG.SYS ファイルから不必要なドライバーをアンロードします (たとえば、プリンターを使用していない場合は、プリンター・ドライバーをアンロードします)。
- 2** DEVICEHIGH 構文を使って、UMB (アップパー・メモリー・ブロック) を再構成します。
- 3** DOS に対する複数構成セットアップを使用します (DOS に付属の説明書を参照)。
DOS コマンドの MEM /C を使って、DOS のメモリー使用状況を定期的に調べます。



OS/2 Warp 4 の場合:

- ハイバネーション・モードはサポートされません。
- OS/2 の環境で FAX またはメールを受信するには、FAX 用アプリケーションのモデム設定を次のどれかに設定する必要があります。
 - ハードウェア FIFO 使用可能
 - ハードウェア・フロー制御オン
 - UART 16550A モデム

たとえば、OS/2 FaxWorks では、「ユーティリティ」、「設定」、「モデム・タイプ」、および「**HW FIFO (16550A)** を使用」の順に選択します。

これらの設定値のどれかにモデムを設定していないと、サスペンド・モードで FAX や着信呼び出しを受けることができません。

ポート・リプリケーターで PC カードを使用

Windows 95, Windows NT, Windows 3.11 または DOS 環境では、ThinkPad をポート・リプリケーターにドッキング後に、PC カード・サポート・ソフトウェアをインストールする必要があります。すでに PC カー

ヒントおよび制限事項

ド・サポート・ソフトウェアがインストールされている場合は、一度それをアンインストールし、ThinkPad をリプリケーターにドッキングした後に再びインストールします。

USB コネクタに関する考慮事項

ThinkPad をサスペンド・モードに入らせようとして、その要求が拒否された場合、USB コネクタ内のデバイスが使用不可になる場合があります。このようになったら、USB デバイスのホット・アンプラグおよびホット・プラグ操作を行ってください。

2 枚目の CardBus カードの使用

ThinkPad で CardBus カードがすでに構成されている場合は、デバイス・マネージャを使用して 2 枚目の CardBus カードを手動で構成する必要があります。デバイス・マネージャを表示するには、コントロール パネルの「システム」アイコンをクリックします。

マイクロホンの使用

ThinkPad で外付けマイクロホンを使用する場合は、ThinkPad に対応した市販のマイクロホンを使用してください。コンデンサー・マイクロホンなどのマイクロホンによっては、バッテリーが必要です。そのマイクロホンに付属の説明書を参照してください。

問題判別ガイド

次の表で、問題の判別方法と解決方法を示します。

ビープ音が鳴った場合、メッセージが表示された場合、または機能に関する問題が発生した場合:

- 1** 表から症状を見つけ、問題の解決を試みます。 → 104ページの『問題判別表』
- 2** エラー・コードを記録して、ThinkPadの修理を依頼します。 → 第5章

ThinkPad 内のソフトウェアを誤って消してしまったり、損傷してしまった場合:

- リカバリー CD やディスクレット・ファクトリー・プログラムを使って復元します。 → 126ページの『削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復』

問題判別表

ThinkPad にエラーが発生すると、通常、電源をオンにしたときに、メッセージやエラー・コードが表示されたり、ピープ音が鳴ります。問題判別表から発生した問題を探し、対応するページに進み、そこで指示されている処置をとってください。

問題判別表	ページ
エラー・コードまたは画面上のメッセージ	105
エラー・コードや画面上のメッセージで表示されない問題	106
入力装置の問題	107
サスペンド・モードまたはハイバネーション・モードの問題	108
LCD の問題	111
インディケータの問題	112
バッテリーの問題	112
CD-ROM ドライブの問題	113
赤外線通信の問題	114
汎用シリアル・バス(USB) の問題	115
PC カードの問題	116
プリンターの問題	118
外付けディスプレイの問題	119
ポート・リプリケータの問題	122
その他のオプションの問題	122
ソフトウェアの問題	124
その他の問題	125

エラー・コードまたは画面上のメッセージ

注: この表の中の x は、任意の文字を表します。

メッセージ	処置
0211 (キーボードのエラー)	<p>システム本体のキーボードまたは外付けキーボードの上に何も置かれていないことを確認してください。ThinkPad の本体および接続されているすべてのデバイスの電源をオフにしてください。まず、ThinkPad の電源をオンにしてから、次に、接続されているデバイスをオンにします。</p> <p>それでも問題が解決しない場合は、次の処置をとってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 外付けキーボードが接続されている場合は、次の処置をとってください。 <ul style="list-style-type: none"> ThinkPad の電源をオフにし、外付けキーボードを外してから、ThinkPad の電源をオンにします。システム・キーボードが正しく作動するかどうかを確認します。正しく作動する場合は、外付けキーボードの修理を依頼します。 外付けキーボードが正しいコネクタに接続されていることを確認します。
0280 (直前のブート不完了 -- デフォルト構成使用)	<p>ThinkPad は直前のブート処理が完了できませんでした。ThinkPad の電源をオフにしてから、もう一度オンにしてください。</p> <p>同じメッセージが表示される場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
始動パスワード・プロンプト 	<p>始動パスワードまたはセットアップ・パスワードが設定されています。ThinkPad を始動するには、正しいパスワードを入力して Enter キーを押してください (83 ページを参照)。</p> <p>始動パスワードが拒否される場合、セットアップ・パスワードが設定されている可能性があります。セットアップ・パスワードを入力して、Enter キーを押してください。</p> <p>それでも問題が解決しない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
ハード・ディスク・ドライブ・パスワード・プロンプト 	<p>ハードディスク・ドライブ・パスワードが設定されました。ThinkPad を始動するには、正しいパスワードを入力して Enter キーを押してください (83 ページを参照)。</p> <p>それでも問題が解決しない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
DOS 全画面が小さく見える 	<p>640x480 の解像度 (VGA モード) のみをサポートする DOS アプリケーションを使用すると、画面イメージが実際のディスプレイ・サイズより小さく見える場合があります。これは、ThinkPad が他の DOS アプリケーションとの互換性を保っているためです。画面イメージを実際の画面と同じサイズにするには、「ThinkPad の設定」プログラムを始動し、表示先が LCD 単独になっていることを確認します。次に、「LCD」() をクリックしてから、「スクリーン・エクステンション」機能を使用可能にします。(イメージは、多少歪んで見える場合があります。)</p>

エラー・コードまたは画面上のメッセージで表示されない問題

問題	処置
<p>画面に何も表示されず、ピープ音が鳴らない。</p> <p>注:ピープ音が鳴ったかどうか不確かな場合は、ThinkPadの電源をいったんオフにしてから、もう一度オンにし、ピープ音が鳴るかどうかを確認してください。</p> <p>外付けディスプレイを使用している場合は、119ページの『外付けディスプレイの問題』に進んでください。</p>	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • バッテリー・パックは正しく取り付けられていますか。 • AC アダプターが ThinkPad に接続されており、電源コードがコンセントに差し込まれていますか。 • ThinkPad の電源がオンになっていますか。(確認のため、電源スイッチをもう一度オンにしてください。) <p>始動パスワードが設定されていても表示されない場合は、ThinkPad の輝度調節つまみが最小輝度に設定されている可能性があります。輝度を調整します。</p> <p>上記の項目に問題がないにもかかわらず画面に何も表示されない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
<p>画面に何も表示されず、ピープ音が鳴り続けるか、ピープ音が 2 回以上鳴る。</p>	<p>ThinkPad の修理を依頼してください。</p>

入力装置の問題

問題	処置
ThinkPad が省電力機能のどれかから通常の操作状態に戻ったとき、カーソルが動かない。	Windows を電源管理機能 (APM) オプション付きでインストールしたとき、別冊のステップ・アップ・ガイドの指示どおり正しく行ったかどうかを確認してください。
ThinkPad のキーボードの全部または一部が作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> • ThinkPad がサスペンド・モードから通常の操作状態に戻った直後にこの問題が発生した場合は、始動パスワードを入力してください。始動パスワードが設定されている場合は、パスワードの入力が必要です。 • 外付けキーボードが接続されているときは、ThinkPad 本体のキーボードの数値キーパッドは作動しません。これは、故障ではありません。 • 外付け数値キーパッドまたはマウスが接続されている場合: <ol style="list-style-type: none"> 1. ThinkPad の電源をオフにします。 2. 外付け数値キーパッドまたはマウスを取り外します。 3. ThinkPad の電源をオンにし、もう一度キーボードを操作します。 • これによってキーボードの問題が解決した場合は、外付け数値キーパッド、外付けキーボード、またはマウスの接続を調べてください。 <p>それでも問題が解決しない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
ThinkPad の電源をオンにしたとき、または通常の操作状態に戻ったとき、カーソルがドリフト (浮動) する。	<p>通常の操作状態でトラックポイントを使わない場合に、カーソルがドリフトする場合があります。これは、トラックポイントの特性の 1 つであって、故障ではありません。ドリフトは、次の場合に数秒間発生することがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ThinkPad の電源をオンにしたとき。 • ThinkPad が通常の操作状態に戻ったとき。 • トラックポイントを長時間使用し続けたとき。 • 環境温度が変化したとき。
マウスまたはポインティング・デバイスが作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> • ポインティング・デバイスが「トラックポイント」プログラムで使用可能になっているか確認してください。 • マウスまたはポインティング・デバイスのケーブルが ThinkPad にしっかりと正しい場所に接続されているか確認してください。 • トラックポイントを操作してみてください。トラックポイントが作動する場合は、マウスに問題がある可能性があります。 • IBM PS/2 マウスと互換性のないマウスを使用する場合は、「ThinkPad の設定」プログラムを使ってトラックポイントを使用不可にしてください。 <p>注: 詳細については、マウスに付属のマニュアルを参照してください。</p>
マウス・ボタンが作動しない。	マウス・ドライバーをスタンダード PS/2 ポート・マウスに変更してから、 PS/2 TrackPoint をインストールし直してください。ドライバーのインストール方法については、ステップ・アップ・ガイドを参照してください。

問題判別表

問題	処置
スクロールまたは拡大表示が作動しない。	PS/2 TrackPoint ドライバーが正しくインストールされていることを確認してください。
英文字を入力したのに数字が表示される。	ナム・ロック機能が有効になっています。ナム・ロック機能を解除するには、 Shift キーを押しながら NumLk キーを押してください。
外付け数値キーボードの全部または一部が作動しない。	外付け数値キーボードが ThinkPad に正しく接続されているか確認してください。
外付けキーボードの全部または一部が作動しない。	<p>外付けキーボードを使用するには、キーボード/マウス・コネクタを ThinkPad に接続する必要があります。次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> キーボード/マウス・コネクタが ThinkPad に正しく接続されていますか。 キーボード・コネクタが、キーボード/マウス・コネクタの正しい側に接続されていますか。 <p>上記の項目に問題がない場合は、キーボード/マウス・コネクタを ThinkPad から取り外し、ThinkPad 本体のキーボードが正しく作動するかを確認してください。ThinkPad 本体のキーボードが作動する場合は、キーボード/マウス・コネクタまたは外付けキーボードの修理を依頼してください。</p>

サスペンド・モードまたはハイバネーション・モードの問題

問題	処置
ThinkPad が自動的にサスペンド・モードに入る。	プロセッサの温度が許容の温度を超えると、ThinkPad は自動的にサスペンド・モードに入ります。これは、故障ではありません。
ThinkPad を使用中、熱くなりパフォーマンスが低下する。	<p>次の状態では、プロセッサ・スピードが低下することがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 暑い場所での使用 パワーモードがハイパフォーマンスでプロセッサ速度が最高速で使用されている時
POST 後ただちに ThinkPad がサスペンド・モードに入る (サスペンド・インディケータがオンになる)。	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> バッテリー・パックは充電されていますか。 環境温度が許容される範囲内にありますか。付録A を参照してください。 <p>上記の項目に問題がない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
エラー 190 の後、ThinkPad の電源がただちにオフになる。	バッテリー・パックのバッテリー残量が少なくなっています。ThinkPad に AC アダプターを接続するか、フル充電したバッテリー・パックに交換してください。

問題判別表

問題	処置
ThinkPad がサスペンド・モードから戻らない、または、サスペンド・インディケータがオンになったままで ThinkPad が作動しない。	<p>バッテリー・パックが空になると、ThinkPad は自動的にサスペンド・モードまたはハイバネーション・モードに入ります。次のどちらかの処置をとってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> フル充電したバッテリー・パックに交換してから、[Fn] キーを押します。 ThinkPad に AC アダプターを接続してから、[Fn] キーを押します。
通常の操作状態に戻ったときに LCD に何も表示されません。	<p>サスペンド・モードに入る前に、外付けディスプレイが接続されていないかを確認してください。ThinkPad がサスペンド・モードまたはハイバネーション・モードになっているときに、外付けディスプレイを取り外さないでください。ThinkPad が通常の操作状態に戻ったときに外付けディスプレイが接続されていないと、LCD には何も表示されません。この制限事項は、いずれの解像度値も同様です。</p>
ThinkPad が、サスペンド・モードまたはハイバネーション・モードにならない。	<p>Thinkpad がサスペンド・モードまたはハイバネーション・モードを使用不可にするオプションを選択していないかどうかを確認してください。詳細情報 ➡ ステップ・アップ・ガイド</p>

問題判別表

問題	処置
<p>Windows 98, Windows 95 または Windows NT で、ThinkPad がタイマーの設定通りにサスペンド・モードに入らない。</p>	<p>Windows 98 および Windows 95 の場合:</p> <p>Windows 98 および Windows 95 用汎用 CD-ROM ドライバーは、CD-ROM が CD-ROM ドライブに挿入されているかどうかを確認するため、3 秒ごとに内蔵 CD-ROM ドライブにアクセスします。これにより、ThinkPad がタイムアウトでもサスペンド・モードに入ることができません。</p> <p>これを回避するためには、以下を実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「マイ コンピュータ」、「コントロール パネル」、「システム」の順にダブルクリックします。 2. 「デバイス マネージャ」 タブをクリックします。 3. CDROM の + マークをクリックします。 4. CD-ROM をダブルクリックします。 5. 「設定」 タブをクリックします。 6. 「自動挿入」 チェックボックスからチェック・マークを取り除きます。 7. 「OK」をクリックし、ThinkPad を再起動します。 <p>Windows 98 および Windows 95 はこれで CD-ROM の挿入について自動検出は行いません。</p> <p>Windows NT の場合:</p> <p>CD-ROM AutoRun 機能を使用可能にした場合は、ThinkPad はタイマーによってサスペンド・モードに入ることはありません。レジストリーの「サスペンド・タイマー」機能を使用可能にするには、以下のようになります。</p> <pre>HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\Cdrom\Autorun: x1 Autorun:</pre>
<p>ThinkPad が Fn キー+ F12 キーの組み合わせでハイバネーション・モードにならない。</p>	<p>ハイバネーション機能が作成されているかどうかを確認します(139ページの『ハイバネーション機能の作成』を参照してください。)</p> <p>ハイバネーション・モードに入るには、通信プログラムを停止してから、PC カードを取り出すか、「コントロール パネル」を使って PC カード・スロットへの電力供給を遮断してください。</p>

液晶ディスプレイ (LCD) の問題

問題	処置
画面が判読不能またはゆがんでいる。	<p>次の手順に従って、ディスプレイ・ドライバーが正しくインストールされていることを確認してください。</p> <p>Windows 98 の場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」ボタンをクリックして、カーソルを、「設定」、「コントロール パネル」の順に移動し、「コントロール パネル」をクリックします。 2. 「画面」アイコンをダブルクリックします。 3. 「設定」タブを選択します。 4. 色数と解像度が正しく設定されているかチェックします。 5. 「詳細」ボタンをクリックします。 6. 「アダプタ」タブを選択します。NeoMagic MagicMedia 256AV が表示されているか確認します。 7. 「モニタ」タブをクリックします。 表示されたモニタ・タイプが正しいか確認します。 <p>Windows 95 の場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」ボタンをクリックしてから、カーソルを、「設定」、「コントロール パネル」の順に移動します。 2. 「コントロール パネル」をダブルクリックしてから、「画面」をダブルクリックします。 3. 「ディスプレイの詳細」タブを選択します。 4. 「詳細プロパティ」をクリックし、ウィンドウ内のディスプレイ・ドライバー情報が正しいことを確認してください。
画面に間違った文字が表示される。	<p>オペレーティング・システムとアプリケーション・プログラムが正しくインストールされているか確認してください。</p> <p>インストールと構成が正しい場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
電源スイッチをオフにしても画面が消えない。	<p>ThinkPad の電源スイッチを 5 秒以上押し続けて電源をオフにしてから、もう一度電源をオンにしてください。</p>
ThinkPad の電源をオンにするたびに、画面上に見えないドットや、色の違うドット、または明るいドットが表示される。(TFT モデルの場合)	<p>これは、故障ではありません。これは、TFT 液晶テクノロジーの特性の 1 つです。ThinkPad のディスプレイは、多くの TFT (Thin-Film Transistor) を使用しています。画面上には見えないドット、色が違うドット、または明るいドットが少量存在していることがあります。</p>

インディケータの問題

問題	処置
バッテリー・パックを取り付けているのに、バッテリー残量インディケータがオフになっている。	バッテリー・パック内の過電流保護装置が働いています。数時間待って、もう一度バッテリー・パックを使ってください。それでもインディケータがオンにならない場合は、バッテリー・パックを交換するか、ThinkPad の修理を依頼してください。

バッテリーの問題

問題	処置
電源オフの状態でバッテリー・パックを 3.5 時間充電してもフル充電にならない。	<p>バッテリー・パックが過放電状態になっている可能性があります。次の処置をとってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ThinkPad の電源をオフにします。 過放電状態と思われるバッテリー・パックが取り付けられていることを確認します。 AC アダプターを ThinkPad に接続し、バッテリー・パックを充電します。 <p>バッテリー・パックを 24 時間充電してもフル充電にならない場合は、新しいバッテリー・パックを使用してください。</p>
<p>バッテリー残量インディケータが空になる前に ThinkPad の電源が遮断される。</p> <p>—または—</p> <p>バッテリー残量インディケータが空を示した後も ThinkPad を操作できる。</p>	<p>バッテリー・パックの放電と充電を最低 3 回繰り返してください。</p>
フル充電したバッテリー・パックの作動時間が短い。	<p>バッテリー・パック内の過電流保護装置が働いている可能性があります。ThinkPad の電源を 1 分間オフにしてこの機能をリセットしてから、もう一度電源をオンにしてください。</p> <p>または、バッテリー・パックの放電と充電を 3 ~ 6 回繰り返してください。それでも問題が解決しない場合は、新しいバッテリー・パックを使用してください。</p>
ThinkPad がフル充電したバッテリー・パックで作動しない。	<p>バッテリー・パック内の過電流保護装置が働いている可能性があります。ThinkPad の電源を 1 分間オフにしてこの機能をリセットしてから、もう一度電源をオンにしてください。</p>

CD-ROM ドライブの問題

問題	処置
CD-ROM が作動しない。	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ThinkPad の電源がオンになっていて、CD-ROM が CD-ROM ドライブに入っていますか。 • CD-ROM ドライブ・トレイはしっかりと閉じていますか。 • デバイス・ドライバーが正しくインストールされていますか。
CD-ROM が回転すると 異音 が出る。	CD-ROM ドライブのカバーが変形している可能性があります。ThinkPad の修理を依頼してください。
CD-ROM 排出ボタンを押しても CD-ROM トレイが出ない。	CD-ROM 排出予備ボタンの穴にピンなどを入れて CD-ROM トレイを出してください。
CD-ROM のデータを読むことができない。	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CD-ROM が汚れていませんか。汚れている場合は、市販の CD-ROM クリーナー・キットで汚れを取り除いてください。 • CD-ROM に欠陥がありませんか。別の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れて確認してください。 • CD-ROM が正しい向き (ラベルのある側を上にする) でトレイにセットされていますか。 • その CD-ROM は、次に示すものと互換性のある形式ですか。 <ul style="list-style-type: none"> – 音楽 CD-ROM – CD-ROM または CD-ROM XA – マルチセッション・フォト CD-ROM – ビデオ CD-ROM

赤外線通信の問題

問題	処置
ThinkPad が赤外線ポートを使って他の装置と通信することができない。	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 通信速度は同じですか。 • 赤外線ポートは汚れていませんか。 • ThinkPad と通信先デバイスの間に障害物はありませんか。 • ThinkPad と通信先デバイスの間の距離と角度は正しいですか。 • 通信先のコンピューターのアプリケーション・ソフトは、ThinkPad のものと互換性がありますか。 • 直射日光が当たる場所で操作していませんか。 • 赤外線ポートが通信先ポートと直接向き合っていますか。 • 通信は、ThinkPad の LCD からの光に妨げられる場合があります。これを避けるため、LCD を広角度に開いてください。 • ThinkPad で実行している通信アプリケーションと、通信先のコンピューターで実行している通信アプリケーションは同じものですか。詳細については、アプリケーションの説明書を参照してください。
ThinkPad と通信先デバイスとの間で誤ったデータが送信される。	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ThinkPad と通信先デバイスの間の距離と角度は正しいですか。 • 通信速度は同じですか。 • ThinkPad や通信先デバイスの近くにリモコン装置やワイヤレス・ヘッドホンなど、赤外線を出す装置がありませんか。 • 直射日光が当たる場所で操作していませんか。 • ThinkPad や通信先デバイスの近くに蛍光灯がありませんか。

オーディオの問題

問題	処置
一般的な問題	<p>次の要因で、問題が起こる場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オーディオ・ケーブルの配線が、使用しているアプリケーションに適していない場合。 • オーディオ・ケーブルが損傷している場合。 • オーディオ機器が故障している場合。

汎用シリアル・バス (USB) の問題

問題	原因と処置
汎用シリアル・バス(USB) コネクターに接続したデバイスが作動しない。	<ol style="list-style-type: none">1. 汎用シリアル・バス (USB) デバイスが正しく接続されていることを確認します。2. 「デバイス マネージャ」ウィンドウをオープンし、汎用シリアル・バス (USB) デバイスの設定が正しく、ThinkPad のリソースの割り当てとデバイス・ドライバのインストールが正しく行われていることを確認します。 <p>注: 「スタート」ボタンをクリックしてから、カーソルを、「設定」、「コントロール パネル」の順に移動します。「コントロール パネル」をクリックし、「システム」をダブルクリックします。次に、「システム プロパティ」ウィンドウで「デバイス マネージャ」タブをクリックし、ユニバーサル シリアル バス コントローラの設定を確認します。</p>

PC カードの問題

問題	処置
PC カードが「使用可」と表示されるが、正しく作動しない。	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> PC カード用に確保されたシステム・リソースが、他のシステム装置と競合していませんか。 ステップ・アップ・ガイドを参照してください。 PC カード用に確保されたリソースの設定が、アプリケーション・プログラムでの設定と一致していますか。 モデム・カードを使用している場合は、COM ポート番号、I/O ポート・アドレス、および IRQ レベルを確認してください。ネットワーク・カードを使用している場合は、I/O ポート・アドレス、IRQ レベル、およびメモリー・ウィンドウ・アドレスを確認してください。
PC カード使用時に、システム・リソースの競合が起こる。	ステップ・アップ・ガイドを参照してください。
PC カードからシステムを始動できない。	PC カード用に正しいシステム・リソースが使用されていることを確認してください。
OS/2 Warp 4 の環境では、IBM 製以外の PC カードが使用できない。	OS/2 用の PC カード・デバイス・ドライバーがなくても DOS 用の PC カード・デバイス・ドライバーがあれば、その PC カードは VDM (仮想 DOS マシン) 環境で使用できることがあります。OS/2 用 PCMCIA インストール・ディスクットのサンプル構成ファイルおよび VDM の設定については、オンライン・ユーザーズ・ガイドの「仮想カード・サービス」を参照してください。
PC カード・サポート・ソフトウェアが PC カードを認識しない。	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> PC カードの種類がモデム・カード、ATA カード、フラッシュ・カード、または SRAM カードのいずれでもない場合は、そのカード用の適切なクライアント・デバイス・ドライバーがありますか。Windows 98 および Windows 95 の場合、それに関連する INF ファイルが必要です。 PC カードは、PCMCIA リリース 2.0、2.01、または 2.10 をサポートします。PC カードに付属の説明書を参照してください。 PC カードが、PCMCIA リリース 2.0、2.01、または 2.10 をサポートしない場合、PC カード・ディレクターは使用できません。PC カードの製造会社にご連絡ください。 PC カードに診断テストが付属している場合は、それを実行して作動するかを調べてください。

問題判別表

問題	処置
<p>PC カードは PC カード・サポート・ソフトウェアに認識されるが、「使用不可」または「構成不可」のメッセージが表示される。</p>	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • PC カード・イネーブラーがインストールされていますか。 PC カードに付属の説明書を参照してください。 • PC カードの種類がモデム・カード、ATA カード、フラッシュ・カード、または SRAM カードのどれでもない場合は、そのカード用の適切なクライアント・デバイス・ドライバーがありますか。Windows 98 および Windows 95 の場合、それに関連する INF ファイルが必要です。 • PC カードに対するリソースが正しく確保されていますか。 ステップ・アップ・ガイドを参照してください。

プリンターの問題

問題	処置
<p>プリンターが作動しない。</p>	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • パラレル・ポートが使用可能になっていますか。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 「ThinkPad の設定」プログラムを始動します。 2. 「パラレル・ポート」 () をクリックします。 3. 「有効」を選択します。 4. 「OK」をクリックします。 • プリンターの電源が入っていて、印刷可能になっていますか。 • プリンターの信号ケーブルが ThinkPad の正しいコネクタに接続されていますか。 <p>上記の項目に問題がないにもかかわらず、プリンターが作動しない場合は、プリンターの説明書に記載されているテストを実行してください。このテストでプリンターの問題が検出されない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>

外付けディスプレイの問題

問題	処置
外付けディスプレイに何も表示されない。	<p>次の処置をとってください。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 外付けディスプレイを他の ThinkPad に接続し、作動するかどうかを確認します。2. 外付けディスプレイを、ご使用の ThinkPad にもう一度接続します。3. 「ThinkPad の設定」プログラムを始動します。4. 「ThinkPad の設定」プログラムのツールバー上の <p>「CRT ディスプレイ単独」()</p> <p>または「LCD と CRT ディスプレイ両方」() をクリックします。</p> <p>外付けディスプレイに何も表示されない場合は、修理を依頼してください。</p>

問題判別表

問題	処置
<p>外付けディスプレイに現在の解像度よりも高い解像度を設定することができない。</p>	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ディスプレイ・ドライバーが正しくインストールされていますか。 <p>Windows 98 の場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」をクリックして、カーソルを「設定」、「コントロール パネル」の順に移動し、「コントロール パネル」をクリックします。 2. 「画面」アイコンをダブルクリックします。 3. 「画面のプロパティ」ウィンドウで「設定」タブを選択します。 4. 「詳細」ボタンをクリックします。 5. 「アダプタ」タブを選択します。NeoMagic MagicMedia 256AV が表示されているか確認します。違っている場合は、ディスプレイ・ドライバーをインストールします。 6. 「OK」ボタンをクリックして、ウィンドウをクローズします。 <p>ディスプレイ・ドライバーがインストールされているかどうか不確かな場合は、再インストールしてください。</p> <p>Windows 95 の場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」ボタンをクリックしてから、カーソルを、「設定」、「コントロール パネル」の順に移動します。 2. 「コントロール パネル」をクリックしてから、「画面」をダブルクリックします。 3. 「画面のプロパティ」のウィンドウで「ディスプレイの詳細」タブを選択します。 4. 「詳細プロパティ」をクリックします。「ディスプレイの詳細プロパティ」のウィンドウが表示されます。ThinkPad ディスプレイ・ドライバーがインストールされていることを確認してください。 <p>ThinkPad ディスプレイ・ドライバーがインストールされているかどうか不確かな場合は、再インストールしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 適切なディスプレイ・タイプが選択されていますか。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」をクリックして、カーソルを「設定」、「コントロール パネル」の順に移動し、「コントロール パネル」をクリックします。 2. 「画面」アイコンをダブルクリックします。 3. 「画面のプロパティ」ウィンドウで「設定」タブを選択します。 4. 「詳細」ボタンをクリックします。 5. 「モニタ」タブをクリックし、モニタ・タイプが正しいか確認します。間違っている場合は、次の手順に進みます。 6. 「変更」ボタンをクリックします。「デバイス・ドライバの更新ウィザード」が表示されます。 7. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバーを選択する」と「すべてのハードウェアを表示」を順に選択します。 8. ご使用のディスプレイの「製造元」と「モデル」を選択し、画面の指示に従います 9. 「OK」ボタンをクリックして「NeoMagic MagicMedia 256AV のプロパティ」ウィンドウをクローズします。 10. 「設定」タブで、「色」と「画面の領域」を設定します。 11. 「OK」をクリックします。

問題	処置
<p>画面が判読不能またはゆがんでいる。</p>	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ディスプレイ・ドライバーは正しくインストールされていますか。 <p>Windows 98 の場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」ボタンをクリックして、カーソルを「設定」、「コントロール パネル」の順に移動し、「コントロール パネル」をクリックします。 2. 「画面」アイコンをダブルクリックします。 3. 「画面のプロパティ」のウィンドウで「設定」タブを選択します。 4. 「詳細」ボタンをクリックします。 5. 「アダプタ」タブを選択します。NeoMagic MagicMedia 256AV が表示されているか確認します。もし違っている場合は、ディスプレイ・ドライバーをインストールしてください。 <p>Windows 95 の場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」ボタンをクリックしてから、カーソルを、「設定」、「コントロール パネル」の順に移動します。 2. 「コントロール パネル」をクリックしてから、「画面」をダブルクリックします。 3. 「画面のプロパティ」のウィンドウで「ディスプレイの詳細」タブを選択します。 4. 「詳細プロパティ」をクリックします。「ディスプレイの詳細プロパティ」のウィンドウが表示されます。ThinkPad ディスプレイ・ドライバーがインストールされていることを確認してください。 <p>ThinkPad ディスプレイ・ドライバーがインストールされているかどうか不確かな場合は、再インストールしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • モニターは正しく設定されていますか。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 「画面のプロパティ」の「設定」タブで、「詳細」ボタンをクリックします。 2. 「モニタ」タブをクリックします。 正しいモニタ・タイプが選択されているか確認してください。違っている場合は、正しいモニタ・タイプを選択します。 • 適切なリフレッシュ・レートが選択されていますか。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 「画面のプロパティ」の「設定」で、「詳細」ボタンをクリックします。 2. 「アダプタ」タブを選択します。 3. 設定が正しいか確認します。設定が正しいか不確かな場合は、リフレッシュ・レートで「最適」を選択します。 • VGA(640x480 の解像度)専用の外付けディスプレイを接続しているかどうか確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> - [Fn] + [F7] を押して、CRT ディスプレイ単独表示に切り替えます。 <p>設定が正しい場合は、外付けディスプレイの説明書に記載されているテストを実行してください。このテストで外付けディスプレイの問題が検出されない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
<p>画面に間違った文字が表示される。</p>	<p>オペレーティング・システムとアプリケーション・プログラムが正しい手順でインストールされているか確認してください。</p> <p>正しくインストールされている場合は、外付けディスプレイの修理を依頼してください。</p>

ポート・リプリケーターの問題

問題	処置
ThinkPad の電源をオンにしたとき、または通常の操作状態に戻ったときに、ThinkPad がハング (停止) する。	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • AC アダプターがポート・リプリケーターに接続されていますか。 • ポート・リプリケーターの電源オン・インディケーターがオンになっていますか。 • ThinkPad がしっかりとポート・リプリケーターに接続されていますか。 <p>それでも問題が解決しない場合は、ポート・リプリケーターの修理を依頼してください。</p>
ポート・リプリケーターの MIDI コネクタが作動しない。	<p>ポート・リプリケーターの MIDI コネクタを使用可能にするには、「ThinkPad の設定」プログラムを使用します。次の手順に従って、MIDI コネクタが使用可能になっていることを確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「ThinkPad の設定」プログラムを始動します。 2. 「MIDI/ジョイスティック・ポート」() をクリックします。 3. MIDI ポートが使用可能になっていることを確認します。無効になっている場合は、「有効」をクリックしてから、「OK」をクリックします。 4. 「ThinkPad の設定」プログラムを終了し、ThinkPad を再起動します。 <p>注: ThinkPad を再起動するときに MIDI デバイス・ドライバーをインストールする必要がある場合があります。画面の指示に従い、ご使用のオペレーティング・システムに合ったデバイス・ドライバーをインストールしてください。</p>

その他のオプションの問題

問題	処置
取り付けただけの IBM 製オプションが作動しない。	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オプションは ThinkPad 用に設計されたものですか。 • オプションが、オプションに付属の説明書または本書に従って正しく取り付けられていますか。 • 取り付けられている他のオプションやケーブル類がしっかりと接続されていますか。 • I/O アドレス、割り込み (IRQ) レベル、DMAチャネルの設定に競合はありませんか。システム・リソースの状況を確認するには、「ThinkPad の設定」プログラムを始動して、各装置のアイコンをクリックしてください。 <p>オプションのテスト・プログラムで問題が検出されなかった場合は、ThinkPad とオプションの修理を依頼してください。</p>

問題	処置
今まで動いていた IBM 製オプションが作動しない。	<p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オプションが ThinkPad にしっかりと接続されていますか。 • そのオプションはテストを正常に終了していますか。オプションにテスト・プログラムが付属していれば、その指示に従ってオプションをテストしてください。 • システムの競合がありませんか (ステップ・アップ・ガイドを参照してください)。 <p>上記の項目に問題がなく、テスト・プログラムでも問題が検出されない場合は、ThinkPad とオプションの修理を依頼してください。</p>
シリアル・ポートが作動しない。	<p>次の手順に従って、シリアル・ポートが使用可能になっていることを確認してください。</p> <p>Windows 98 および Windows 95 の場合:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「ThinkPad の設定」プログラムを始動します。 2. 「シリアル・ポート」 () をクリックします。 3. 「有効」を選択します。 4. 「デバイス プロパティ」をクリックします。 5. 「デバイス・マネージャ」ウィンドウで通信ポートをチェックし、設定が正しいか確認します。 6. 「OK」をクリックします。

ソフトウェアの問題

問題	処置
<p>アプリケーション・プログラムが正しく作動しない。</p>	<p>問題の原因がアプリケーションにあるかどうかを調べるために、次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • そのアプリケーションを使用するために最低限必要のメモリーが ThinkPad にありますか。アプリケーションに付属の説明書を参照してください。 • そのアプリケーションがご使用のオペレーティング・システムで実行できるように設計されていますか。 • 問題のアプリケーション以外は、ThinkPad で正しく実行されますか。 • 必要なデバイス・ドライバがインストールされていますか。 ➡ ステップ・アップ・ガイド。 • 問題のアプリケーションは、別のコンピューターで正しく作動しますか。 <p>アプリケーション・プログラムを使用しているときにエラー・メッセージが表示された場合は、アプリケーション・プログラムに付属の説明書を参照してください。</p> <p>上記の項目に問題がないにもかかわらず、問題が解決されない場合は、アプリケーション・プログラムのお買い上げ店またはサービス技術員にご連絡ください。</p>
<p>OS/2 Warp 4 をインストールできない。</p>	<p>ステップアップ・ガイドを参照してください。</p>

その他の問題

問題	原因または処置
ThinkPad がハングアップした、またはどんな入力もまったく受け付けない。	<ul style="list-style-type: none"> 通信操作をしているときにサスペンド・モードに入ると、ThinkPad がハングアップすることがあります。ネットワークに接続しているときは、サスペンド・タイマーを使用不可にしてください。 OS/2 Warp がインストールされている ThinkPad の電源をオンにするときは、CD-ROM ドライブに CD-ROM が入っていないことを確認してください。入っている場合は、CD-ROM を取り出し、いったん ThinkPad の電源をオフにしてから、もう一度オンにしてください。 ThinkPad の電源をオフにするには、5 秒以上電源遮断スイッチを押します。
電源スイッチをオフにしても ThinkPad の電源がオフにならない。	<p>バッテリー電源を使っていて、サスペンド・インディケータがオンになっている場合は、バッテリーをフル充電されたものに交換するか、AC アダプターを接続してください。</p> <p>それでも問題が解決しない場合は、5 秒以上電源遮断スイッチを押して ThinkPad の電源をオフにしてください。</p>
ThinkPad をディスクレットから始動できない。	ThinkPad がディスクレット・ドライブから起動できるよう、BIOS セットアップ・ユーティリティーで始動優先順位が設定されているか確認してください(22ページの『BIOS セットアップ・ユーティリティー』を参照)。
使用時に ThinkPad が熱くなると、パフォーマンスが低下する。	<p>次の場合、プロセッサ速度が遅くなることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用する環境温度が高いとき。 高電力消費を必要とする高電力処理を実行するとき。 <p>これは、故障ではありません。</p>
メモリー不足またはメモリー・エラーが発生した。	<ul style="list-style-type: none"> DOS を使用している場合: <ol style="list-style-type: none"> DOS コマンドの MEM /C を使って、DOS のメモリー使用状況を定期的に調べます。 CONFIG.SYS ファイルから不必要なドライバーを削除します (たとえば、プリンターを使用していない場合は、プリンター・ドライバーを削除します)。 DEVICEHIGH 構文を使って、UMB (上位メモリー・ブロック) を再構成します。 DOS に対する複数構成セットアップを使用します (DOS に付属の説明書を参照)。 Windows 3.1 を使用している場合: <ol style="list-style-type: none"> DOS に対する処置と同じ処置を試みます。 WIN.INI ファイルから不必要なプログラムを削除します。

削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復

ここでは、削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復方法について説明します。

リカバリー CD の使用

標準装備のハードディスクの内容を、購入時の状態に復元するためのものです。

Product Recovery CD-ROM (リカバリー CD) パッケージには、Recovery CD-ROM Boot Diskette と初期インストールされているイメージを含む CD-ROM が入っています。

重要

この CD-ROM の回復プログラムは、お客様個人のデータや、カスタマイズした構成の設定をすべて削除します。ハードディスクの内容はすべて、出荷時の状態に設定されます。この CD を使用する前に、必要なデータのバックアップを必ず作成してください。

リカバリー CD (Product Recovery CD-ROM) のインストールについての詳細情報 → リカバリー CDに付属の説明書

導入済みアプリケーション CD の使用

初期インストール済み ThinkPad 用サポート・ソフトウェアまたはデバイス・ドライバーを回復するには、導入済みアプリケーション CD を使って再インストールします。

ソフトウェアのインストールに関する詳細情報 → ステップ・アップ・ガイド

第5章

サービス体制

ご自分で問題を解決できなかった場合は、IBM 特約店または IBM 営業担当員にご連絡ください。

修理サービスを依頼されるときは、次の情報が必要です。

- ThinkPad の ID 番号
- システムに取り付けられているオプション

注: 128 ページのオプション・リストをお使いください。

- エラー・メッセージまたは問題の内容

注: エラー・メッセージが分かっていると、サービス技術員はこのメッセージから必要な処置を判断し、迅速に効率良く問題を対処できます。

129 ページの問題記録用紙をお使いください。

重要

保証期間中であっても、故障の原因がお客様による製品の誤用、事故、変更、不適切な物理環境または操作環境でのご使用、不適切なメンテナンスである場合、修理にかかる費用をご負担いただくこととなります。

修理サービス先の電話番号をここに書き留めておくと便利です。

お使いの ThinkPad に関する情報

オプション・リスト

DIMM

_____ MB

_____ MB

PC カード

ハードディスク・ドライブ _____ GB

ウルトラベイ FX デバイス

バッテリー・パック

ID 番号の記録

製造番号のラベルは、ThinkPad 本体の底面にあります。機種と製造番号 (S/N) を次の欄に記録してください。

IBM 製品名

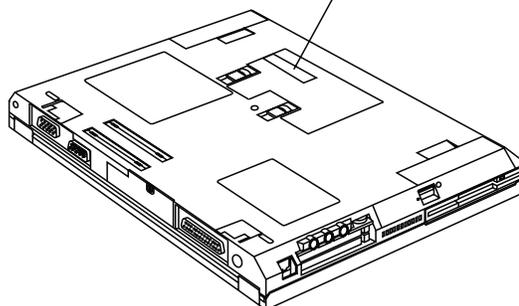
ThinkPad 390

機種

2626- _____

製造番号

製造番号ラベル



問題記録用紙

- ThinkPad の情報:

機種: _____

製造番号: _____

購入日: __/__/__

- 問題のタイプ:

継続する問題 一時的な問題

- エラー・コード:

- オペレーティング・システムとバージョン番号 (ご存じの場合):

DOS バージョン _____

Windows NT バージョン _____

OS/2 バージョン _____

Windows 95 バージョン _____

Windows 3.1 バージョン _____

Windows 98 バージョン _____

- 問題発生時に実行していたアプリケーション・プログラム:

- 問題の症状:

問題の内容を具体的に記載してください。

- 問題を再現できましたか?

はい いいえ

「はい」の場合、どのようにして再現しましたか?

お使いの **ThinkPad** に関する情報

付録A. 製品仕様

本付録では、ThinkPad の機能と仕様について説明します。

機能

プロセッサ

Intel® MMX™ テクノロジー Pentium™ プロセッサ、または Intel® モバイル Pentium™ II プロセッサ

メモリー

標準装備: 32 または 64 MB

オプション: 最大 256 MB

ストレージ・デバイス

2.5 インチ・ハード・ディスク・ドライブ

オプション: 2.5 インチ・セカンド・ハード・ディスク・ドライブ

ディスプレイ

TFT テクノロジー使用のカラー・ディスプレイ

液晶ディスプレイで 1024x768 または 800x600 の解像度

外付けディスプレイで 最大 1280x1024 までの解像度

輝度調節

キーボード

89 キー

トラックポイント

Fn キー機能

内蔵ディスク・ドライブ

機能

高品質のディスクет (IBM のディスクетなど) をご使用になることをお勧めします。

- **3.5インチ、2DD、720KB** ディスクет:
- **3.5インチ、2HD、1.44MB** ディスクет:

内蔵 **CD-ROM** ドライブ

最大 24 倍速

外部インターフェース

シリアル・コネクタ (EIA-RS232D)

パラレル・コネクタ (セントロニクス)

外付け入力装置コネクタ

外付けディスプレイ・コネクタ

拡張コネクタ (ポートリプリケータ用)

PC カード・スロット (タイプ I またはタイプ II の PC カードを 2 枚、またはタイプ III の PC カードを 1 枚使用可能)

ヘッドホン・ジャック

マイクロホン・ジャック (バッテリー内蔵型コンデンサー・マイクロホンをサポート)

ステレオ・ライン入力ジャック

赤外線ポート

汎用シリアル・バス (USB) コネクタ

仕様

寸法

12.1 インチ・ディスプレイ付き:

- 幅: 315 mm
- 奥行き: 255 mm
- 高さ: 45.7 mm

14.1 インチ・ディスプレイ付き:

- 幅: 315 mm
- 奥行き: 260 mm
- 高さ: 46.7 mm

注:
バッテリー・パックを充電する場合、温度は 10°C 以上ある必要があります。
10°C より低い環境の温度で充電しても、フル充電されない場合があります。

環境

温度 (高度 2,438 m 以下):

- ディスケットが入っていない場合の動作時: 5° ~ 35°C
- ディスケットが入っている場合の動作時: 10° ~ 35°C
- 非動作時: -20°C ~ 60°C

相対湿度:

- ドライブにディスクが入っていない場合の動作時: 8% ~ 95%
- ドライブにディスクが入っていない場合の動作時: 8% ~ 80%

最大高度: 圧力を受けない状態で 3,048 m

- 3,084 mでの最高温度: 31.3°C

発熱量

約 48 Kcal/時

電源 (AC アダプター)

50 ~ 60 Hz での正弦波入力が必要。

仕様

AC アダプターの定格入力: 100 ~ 240 V AC、50/60 Hz

ニッケル水素バッテリー・パック

公称電圧: 9.6 V DC

容量: 4.0 AH

リチウム・イオン・バッテリー・パック

公称電圧: 10.8 V DC

容量: 4.8 AH

付録B. 取り扱い上のヒント

ここで示す取り扱いに関する注意を守ることによって、ThinkPad をより長くお使いいただけます。

本付録では、ノート型パソコンの取り扱いに関する一般的な注意事項を紹介します。説明の中には、該当しないものもありますので、チェックリストで、ご使用の ThinkPad に付属している物を確認してください。

ノート型パソコンは精密機器のため、取り扱いには注意が必要です。ThinkPad は、通常の操作環境では、問題なく動作するように設計され、テストされた丈夫なノート型パソコンですが、取り扱いには多少の注意が必要です。

次のことは行わないでください。

- ThinkPad を落とす、ぶつけるなど、物理的な衝撃を与える。
- ThinkPad の上に重い物を置く。
- ThinkPad の上に液体をこぼす。
- ThinkPad を水の近くや水中で使用する (感電の恐れがあります)。
- ThinkPad を荷物がいっぱい詰まったスーツケースやバッグに入れる (圧力で LCD が損傷する恐れがあります。)

LCD 上の引っかいたような汚れは、カバーが外から押されたときに、キーボード (トラックポイント・スティックも含む) から付いた汚れの可能性があります。そのような汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ります。汚れが取れない場合は、布に LCD クリーナーを付けてもう一度ふき取ります。その場合は、必ず LCD が乾いてから閉じてください。

- ThinkPad を分解する (ThinkPad を分解し、修理できるのは、専門の修理サービス技術者だけです)。
- ThinkPad の LCD の表面を引っかいたり、ねじったり、たたいたり、押したりする。
- LCD とキーボードの間に物を置く。
- LCD の部分を持って ThinkPad を持ち上げる (LCD が開いた状態で ThinkPad を持ち上げる場合は、底 (キーボード) 側を持ってください)。

取り扱い上のヒント

- LCD を開いた状態または閉じた状態にしておくために、ラッチを改造したり、ラッチにテープを貼ったりする。
- AC アダプターが接続されているときに、ThinkPad を裏返す (アダプター・プラグが損傷する可能性があります)。
- ハードディスク・ドライブがデータにアクセスしているとき (インディケーターがオンになっているとき) は、ThinkPad を動かさないでください。
- 温度が 5° C 以下または 35° C 以上になる場所で、ThinkPad を使用または、保管する。
- モーター、磁石、テレビ、冷蔵庫、大型スピーカーなど、強い電磁波を発生する電気器具から、13 cm 以内に ThinkPad を近づける。
- 激しく振動する場所、たとえば車内などに、ThinkPad を常置する。このような環境で使用できるモデルの情報については、(140ページの『ThinkPad にとっての厳しい環境』を参照してください。)
- ThinkPad から取り外している外付けまたは着脱式のハードディスク・ドライブ、ディスケット・ドライブ、および CD-ROM ドライブなどを引っかいたり、落としたりする。
- ディスケット・ドライブや CD-ROM ドライブの中央部分を押す。
- ディスケットをディスケット・ドライブに入れるときに、斜めに入れる (ディスケットをまっすぐに入れないと、ドライブを損傷する恐れがあります)。
- ディスケットに複数のラベルを貼る (複数のラベルやとれかかったラベルは、ドライブ内ではがれたり破れたりして、引っかかってしまう可能性があります)。
- CD-ROM トレイのレンズに触れる
- CD-ROM の縁を持たずに表面に触れる。
- PBX (構内交換機) やその他のデジタル電話回線をモデムに接続する (一般に、PC カード・モデムには、**PSTN** (公衆交換電話網) のみをお使いいただけます。PSTN 以外の電話回線を使うと、モデムが損傷する可能性があります。お使いの電話回線が不明な場合は、電話会社にお問い合わせください。多くのホテルやオフィス・ビルは、デジタル電話回線を使っています。このような場所では、電話回線に接続する前に、必ず確認してください)。
- ThinkPad の操作中やバッテリーの充電中に、ThinkPad 本体をひざや身体の一部に長時間接触させる (通常の操作中、ThinkPad は少量の熱を発生します。この熱は、システム動作のレベルおよびバッテリー充電レベルによって変化します)。

次のことを行うようにしてください。

- CD-ROM ドライブやディスク・ドライブを使用しないときは、CD キャリング・ケースや外付けディスク・ドライブ取り付けキットに入れて保管する。
- ハードディスク・ドライブ、ディスク・ドライブ、および CD-ROM ドライブを取り付けるときは、本書の指示に従い、必要な部分のみを押すようにする。
- ThinkPad を、精密電子機器として取り扱う。
- ビニール袋などによる窒息の危険を回避するため、梱包材を、お子様の手の届かない場所に保管する。
- ThinkPad に関する最新情報を入手するために、定期的に IBM の Web ページをチェックする。(URL は <http://www.ibm.co.jp/pc/thinkpad/index.html>)

ThinkPad のお手入れ

ときどき ThinkPad を次のように手入れしてください。

- 中性洗剤を軽く含ませた柔らかい布で本体の外側をふく (クリーナーを直接 LCD やキーボードにスプレーしないでください)。
- LCDを、乾いた柔らかい布で軽くふく。

ThinkPad の携帯

ThinkPad を携帯するときは、次の指示に従って本体およびデータを損傷させないように注意してください。

1. CD-ROM ドライブやディスク・ドライブから CD-ROM やディスクをすべて取り出してください。
2. 本体に接続しているデバイスの電源をすべてオフにしてください。
3. ThinkPad の電源をオフにするか、サスペンド・モードまたはハイバネーション・モードに入ってから LCD を閉じます。サスペンド・モードのときはサスペンド・インディケータがオンになっていて、電源がオフのときやハイバネーション・モードのときは電源表示ライトがオフになっていることを確認してください。
4. 本体に外付けで接続しているケーブルやコード類をすべて抜いてください。
5. ThinkPad のドア部分やカバーがすべて閉じていることを確認してください。

取り扱い上のヒント

6. 適度なクッションと保護の役目をする高品質のキャリング・ケースを使用してください。

ハードディスク・ドライブがデータにアクセスしているとき (インディケータが点滅しているとき) は、ThinkPad を動かさないでください。ThinkPad を携帯するときは、インディケータがオフになっていることを必ず確認してからにしてください。

バッテリーの寿命を長持ちさせるには

ThinkPad で消費される電力は、使用頻度、操作環境の温度、使用されない場合の期間などの条件によって変動します。次に示すヒントを守ることで、バッテリーの寿命を長持ちさせることができます。

- 新しいバッテリーをはじめて充電する場合は、電池の化学的特性により、フル充電できないことがあります。バッテリー容量を最大限にするには、バッテリーの充放電 (フル充電後、完全に使いきる動作) を 3 回繰り返してください。これにより、バッテリーの性能が完全に発揮されます。バッテリーを数カ月使用しなかった場合も、同じ処置をとってください。
- 電力が残っている間は、バッテリー・パックを充電しないでください。完全に放電されていないバッテリー・パックを再充電すると、バッテリーの寿命を短くします。
- いったんバッテリー・パックの充電を始めたら、フル充電されるまでバッテリー・パックを使わないでください。
- 可能な限り、ThinkPad の省電力機能を使うようにしてください。
 - スタンバイ
 - サスペンド
 - ハイバネーション

詳細情報 → [ステップ・アップ・ガイド](#)

- LCD の輝度を抑えてください。
- 電源管理機能 (APM) を使用してください。各オペレーティング・システムには、専用の電源管理機能が付属しています。
- モデム、シリアル・ポート、赤外線ポートなどの内蔵シリアル・デバイスを使用していないときは、それらへの電源供給を停止してください。

- ThinkPad を長期間使用しない場合は、バッテリー・パックを取り外し、涼しい場所で保管してください。

ハイバネーション機能の作成

ハイバネーション機能を作成すると、ThinkPad はハイバネーション・モードに入ることができます。

注: ハイバネーションは、Windows 98 または Windows 95 でのみ機能します。

ハイバネーション機能の作成方法は 2 通りあります。

- ファイル・ベースのハイバネーション

注: ハイバネーション・ファイルを作成する前に、ご使用のハード・ディスク・ドライブをデフラグしてください。

- パーティション・ベースのハイバネーション



Windows 98 および Windows 95 の場合:

ハイバネーション・ファイルまたはパーティションを作成するには、以下のようにします。

1. ThinkPad の電源をオフにします。
2. 「ハイバネーション・ユーティリティー・ディスクレット」をディスクレット・ドライブに入れます。
3. ThinkPad の電源をオンにします。
4. 画面の指示に従ってください。

注: メモリー・サイズを変更する場合は、ハイバネーション・ファイルまたはパーティションを作り直す必要があります。パーティション・ベースのハイバネーションの場合、「ハイバネーション・ユーティリティー」を使用して、最初にパーティションを削除してから新しいパーティションを作成してください。

ThinkPad にとっての厳しい環境

モバイル・コンピューターを使って仕事をする人の中には、高温、高湿度、物理的な衝撃など、厳しい操作環境で情報を管理したり、通信しなければならない方もいます。たとえば建築現場作業、集配作業、修理サービス作業、公益事業などが、厳しい環境に耐えられるようなモバイル・コンピューターを必要とする作業の例と言えます。ThinkPad は、このような環境での使用を前提としたコンピューターではありません。

付録C. 特記事項

本書において、日本では発表されていない IBM 製品 (機械およびプログラム)、プログラミングまたはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのような IBM 製品、プログラミングまたはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。本書で、IBM ライセンス・プログラムまたは他の IBM 製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない機能的に同等な他社のプログラム、製品またはサービスを使用することができます。ただし、IBM によって明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する稼働の評価および検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBM および他社は、本書で説明する主題に関する特許権 (特許出願を含む)、商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用权等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用权等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒106-0032
東京都港区六本木 3 丁目 2-31
AP事業所
IBM World Trade Asia Corporation
Intellectual Property Law & Licensing

西暦 2000 年対応および説明

ある製品が 2000 年対応と言えるのは、その製品をその製品の説明書とともに使用したときに、1999 年と 2000 年にまたがる日付データの処理、引き渡し、および受け取りが正しくできる場合です。ただし、その製品で使用される他のすべての製品 (たとえば、ソフトウェア、ハードウェア、およびファームウェア) が、その製品と日付データを正確に交換できることが条件です。

特記事項

この IBM PC ハードウェア製品は、1999 年と 2000 年にまたがる 4 桁の日付情報を正しく処理するように設計されています。ご使用の IBM コンピューターが 1999 年から 2000 年に移る瞬間にオンになっている場合は、必ず、それをいったんオフにしてから、もう一度オンにするか、オペレーティング・システムを再起動して、内蔵クロックが新しい世紀に対応するためにリセットできるようにしてください。

この IBM PC 製品は、使用されているソフトウェアや、その製品とデータを交換しているソフトウェアが西暦 2000 年対応でない場合には、エラーの発生を防ぐことはできません。この製品に付属の IBM ソフトウェアは西暦 2000 年対応ですが、この製品に他社のソフトウェアが付属している場合もあります。IBM では、そのソフトウェアが西暦 2000 年に対応しているかについては保証はできません。西暦 2000 年に対応しているかの確認、制限事項の確認、またはソフトウェア更新について知りたい場合は、そのソフトウェアの開発者に連絡してください。

IBM PC 製品と西暦 2000 年対応のについて詳しく知りたい場合は、IBM の Web サイト (<http://www.ibm.co.jp/ad2000>) にアクセスしてください。そこで提供されている情報とツールが、西暦 2000 年の移行計画 (特に、複数の IBM PC をお持ちの場合) の手助けをします。IBM では、そこで提供している更新情報を定期的にチェックすることをお勧めします。

商標

次の用語は、米国およびその他の国における IBM 社の商標です。

IBM	PS/2
MMPM/2	RediSafe
Multimedia Presentation Manager/2	ThinkPad
Operating System/2	トラックポイント
OS/2	WIN-OS/2
PC Card Director	

Microsoft、Windows、Windows NT、Windows 98、および Windows 95 ロゴは、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

Intel®、Pentium®、および MMX™ は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標または登録商標です。

特記事項

その他の会社名、製品名、およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

特記事項

用語集

この用語集には、*IBM Dictionary of Computing* (New York: McGraw-Hill, 1994)からの用語と定義を翻訳したものを掲載しています。

AC (ac). 交流。

AC 電源 (ac power). 電源コンセントから ThinkPad に供給される電力。

ANSI (American National Standards Institute). 米国規格協会。

APM. 電源管理機能 (Advanced Power Management (APM))

アプリケーション・プログラム (application program). ThinkPad 上でワード・プロセッシングやスプレッドシートの作成など特定のタスクを実行するプログラム。

ASCII (American National Standard Code for Information Interchange). 情報交換用米国標準コード。

ATA PC カード (ATA PC Card). 記憶装置 PC カードなどの、AT アタッチメント・ハードディスク・ドライブ・インターフェースを備えた PC カード。

AUTOEXEC.BAT (AUTOEXEC.BAT). DOS の始動プロシージャーが入っているファイル。ThinkPad が起動されるたびに、DOS はこのファイルに保存されている一連のコマンドを実行する。

バックアップ・コピー (backup copy). 通常、ファイルまたはファイル・グループの複写を指す。元のファイルが不注意で変更されたり破壊されたりした場合に備えて保管される。

BIOS (Basic Input/Output System) (基本入出力システム). ディスケット・ドライブ、

ハードディスク・ドライブおよびキーボードとの対話のような基本ハードウェア動作を制御するマイクロコード。

ビットマップ・グラフィックス (bitmap graphics). (1) ディスプレイ上のすべての点を直接アドレス指定できるグラフィックス形式。(2) マルチメディア・アプリケーションにおいて、イメージとして表示可能なコンピューターのメモリーや記憶装置中にあるグラフィックス形式。

再起動、ブート (boot). オペレーティング・システムをロードして、コンピューター・システムが作動する準備を行うこと。

bps. 1秒あたりのビット数。シリアル送信では、装置やチャンネルが文字を送信する、ある時間のビット速度。

バス (bus). 2 つの終端の間にある複数の装置間でデータを転送するための機能。それぞれの時点で、1 つの装置のみが送信を行うことができる。

キャッシュ・メモリー (cache memory). メイン・メモリーよりも小型で処理速度が速い特殊メモリー。プロセッサが次に要求しそうなメイン・メモリー内の命令やデータのコピーなどを一時的に保管しておくメモリー。

CD-I (Compact disc-interactive). 対話式コンパクト・ディスク。

組み合わせキー (combination keys). 同時に複数のキーを押すことにより、特定の機能を実行するキーの組み合わせ。

CONFIG.SYS (CONFIG.SYS). ファイルの一種であり、デバイス・ドライバをロードしたり、情報処理用にシステム・メモリーのスペースを確保したりする一連のコマンドが入っている。このファイルは、システム始動時に DOS によって参照、実行される。

構成 (configuration). (1) 情報処理システムのハードウェアおよびソフトウェアを編成して相互に接続した形態。(2) データ処理システムを構成する装置およびプログラムの物理的/論理的配置。(3) システム、サブシステムまたはネットワークを構成する装置やプログラム。

CRT (Cathode ray tube display). 陰極線管ディスプレイ。

デバイス・ドライバー (device driver). (1) デバイス (入出力装置) を接続して使用するために必要なコードが入っているファイル。オペレーティング・システムは、画面用、キーボード用、プリンター用、ディスク・ドライブ用、ハードディスク・ドライブ用およびその他の補助装置用にそれぞれデバイス・ドライバーをロードする。(2) コンピューターが特定の周辺機器、たとえば、プリンター、ビデオ・ディスク・プレーヤー、CD ドライブなどと通信できるようにするプログラム。(3) 入出力装置とプロセッサ間のインターフェースを制御するサブルーチンの集合。

DIMM (Dual inline memory module). 拡張メモリーの種類。

ディレクトリー (directory). 他のファイルやディレクトリーの名前および制御情報が登録されているファイルの種類。

ディスク・ファクトリー. デバイス・ドライバーとオペレーティング・システムのインストール・ディスクを作成するプリロード・プログラム。

DMA (Direct memory access). ダイレクト・メモリー・アクセス。プロセッサの介入なしで行われるメモリーと入出力装置間のデータ転送。

ダブルクリック (double-click). 選択対象からポインターを離さずに、ユーザーが定義した時間の間隔内で、マウスのボタンを 2 回押し離す動作。

DRAM (dynamic Random Access Memory).

DSP (Digital Signal Processor). デジタル・シグナル・プロセッサ。

ECP (Extended Capability Port).

EDO DRAM (Extended data output dynamic random access memory).

EGA (Enhanced graphics adapter). 拡張グラフィックス・アダプター。

EIA (Electronics Industries Association). 米国電子工業会。

EIA-232D (EIA-232D). EIA インターフェース規格。通信装置とそれに対するワークステーションを接続するインターフェース回線の物理的特性、電子的特性および機能特性を定義している。25ピン・コネクターと不平衡回線電圧が使用される。

EMS (Expanded memory specification). 拡張 (EMS) メモリー。

FAQ (Frequently asked questions). よく聞かれる質問。

ファックス (fax). (1) ファクシミリ機器。(2) ファクシミリ機器によって送信された文書。

FDD. フロッピー・ディスク・ドライブ。

固定 (fixed disk). パーソナル・コンピューター環境での固定ディスクは、ハードディスクのことを指す。

フラッシュ・メモリー (Flash memory). 電氣的に再書き込み可能な記憶装置。

フォルダー (folder). 文書を保存して編成するために使用されるファイル。

バッテリー・メーター (fuel gauge). バッテリー・パックの現在の電力残量を常時画面上に表示するインディケーター。

HHR (Half-horizontal resolution). 半水平解像度。

ハイバネーション (hibernation). ThinkPad の省電力機能の1つ。ThinkPad のメモリーで現在実行されているデータやアプリケーションをハードディスク上に保管する機能。ハイバネーションに入ると、電力を節約するために電源を自動的にオフにする。再び電源をオンにすると、オペレーティング・システムを再起動せずに、ハイバネーションに入ったときと同じデータとアプリケーションをただちにメモリー上に復元する。

高解像度モード (high-resolution mode). 640x480 ドットの解像度を上回るビデオ解像度。

アイコン (icon). 画面に表示される図形記号。トラックポイントやマウスなどのポインティング・デバイスでアイコンを指し示すことで、特定の機能やアプリケーションを選択、実行することができる。

IDE (Integrated device electronics). 統合装置エレクトロニクス。

IR (Infrared). 赤外線。

IrDA. Infrared data association

ISA (Industry standard architecture). 業界標準アーキテクチャー。

ISO (International Organization for Standardization). 国際標準化機構。

JEIDA (Japan Electronics Industry Development Association). 日本電子工業開発協会。

キロバイト (kilobyte (KB)). 1024 バイト。

LAN (Local area network). ローカル・エリア・ネットワーク。

LCD (Liquid crystal display). 液晶ディスプレイ。

MCI (Media Control Interface). メディア制御インターフェース。

メガバイト (megabyte (MB)). 1024キロバイト。約 100 万バイト。

メモリー (memory). 一般には、ランダム・アクセス・メモリー (RAM) のことを指し、キロバイト (KB) またはメガバイト (MB) などの情報単位で容量が示される。

MHz (Megahertz). メガヘルツ。

マイクロコード (microcode). 製品の中で使用される 1 つまたは複数のマイクロ命令の集合。プロセッサやその他のシステム構成要素の機能を実行するために、配線回路の代わりに使用される。

MIDI (Musical Instrument Digital Interface). 楽器デジタル・インターフェース。

モデム (modem). コンピューターを電話回線に接続して、別の場所にあるコンピューターと通信できるようにする装置。

パラレル・ポート (parallel port). 通常、プリンターや入出力装置などを接続するためのポート。データを 1 回に 1 バイトずつ送信する。

部分的サスペンド・モード (partial suspend mode). スタンバイ・モードの一種で、コンピューターが正常にサスペンド・モードに入れなかった場合に入るモード。このモードでは、電源オン・パスワードが設定されるとコンソールはロックされる。

パスワード (password). コンピューターの不正使用を規制するために指定する一連の文字または数字。

PC カード (PC Card). PCMCIA 規格に準拠しているカード。

ペル (pel). 画素。

パーソナライゼーション・エディター (Personalization Editor). 複数の ThinkPad が使用されている場所で個々の ThinkPad を識別したり、盗難から防止するのに役立つ機能。

画素 (picture element). コンピューター・グラフィックスでのディスプレイ表面の最小要素。個別に色および輝度を割り当てることができる。

ピクセル (pixel). 画素。

ポインティング・デバイス (pointing device). 画面上でポインターを移動させるために使用するマウス、トラックポイント、ジョイスティックなどの装置。

ポップアップ・メニュー (pop-up menu). ディスプレイ画面上の特定のポイントに表示されるウィンドウ、またはメニュー。

ポート・リプリケーター (port replicator). 追加の PC カード・スロットやポートを提供することで、ThinkPad の機能を拡張するオプション。

POST (Power-on self-test). 始動時自己診断テスト。

省電力モード (power mode). 電力を節約するためのバッテリー操作モード。ThinkPad では、ハイ・パフォーマンス、オート、カスタマイズの 3 種類の省電力モードが使用できる。

プロンプト (prompt). プログラムがユーザーに何らかの応答を要求する場合に送付する、可視メッセージまたは可聴メッセージ。

プルダウン・メニュー (pull-down menu). 特定のポイントやラインまたは画面最上部の近くから画面下方に表示されるメニュー。

リブート (reboot). ThinkPad を再起動すること。電源オンと同じ効果がある。

レジューム (resume). サスペンド・モードから再び ThinkPad が通常の操作状態に戻ることに。

ROM (Read-only memory). 読み出し専用メモリー。

SDRAM (Synchronous Dynamic Random Access Memory).

シリアル・ポート (**serial port**). 表示装置、プリンター、モデム、プロッターや、ライト・ペンおよびマウスなどのポインティング・デバイスを接続するためのポート。データを 1 回に 1 ビットずつ送信する。

サスペンド (suspend). 電力消費を減らすために、ThinkPad のすべての操作を停止すること。

SVGA (Super Video Graphics Adapter).

TFT (Thin-film transistor).

トラックポイント (**TrackPoint**). ThinkPad の組み込み式ポインティング・デバイス。

TSRs (Terminate-and-stay-resident programs). 常駐プログラム。メモリーにロードされ、常時アクセスできるようにメモリー内にとどまるメモリー常駐プログラム。

USB (Universal serial bus). 汎用シリアル・バス。

垂直方向拡大機能 (**vertical expansion**). 文字表示モードでのビデオ表示技法で、垂直方向の文字ドット数を調節することによって、ビデオ・イメージを LCD 画面全体に合わせる方式。

VESA (Video Electronics Standards Association). ビデオ電子規格協会。

VGA (Video graphics array). ビデオ・グラフィックス・アレイ。最大 640x480 ドットまでの解像度の画像を生成するビデオ・モード。

VSYNC (Vertical synchronization frequency). 垂直同期波。

XMS (Extended memory specification). 拡張メモリー。

日本語、英字、数字、特殊文字の順に配列されています。なお、濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

〔ア行〕

安全に正しくお使いいただくために xiii

位置 4

正面図 3

底面図 7

背面図 5

インディケータの位置 4

液晶ディスプレイ

表示モード

表示モードの切り換え 66

問題

ラッチの位置 3

エラー・コード 105

エラー・メッセージ 105

オーディオの問題 114

オプション

ハード・ディスク・ドライブのアップグレード

ポート・リプリケーター

メモリー、増設

UltraBay FX・デバイス 53

オプションの問題 122

オプション・リスト

温度、機械の仕様 133

オンライン・ユーザズ・ガイド

〔カ行〕

拡大鏡 43

画面

設定 92

問題 106, 111

管理と保守

キーの組み合わせ

キーボード、仕様 131

キーボードの機能

数値キーパッド 17

トラックポイント 10

Fn キー 14

機構 131

基準、ディスクセット 132

輝度調節つまみ、位置 4

機能 131

キャップス・ロック・ランプ 9

クリーニング 137

携帯 137

〔サ行〕

サービス

入手方法

サービス体制

最新のソフトウェアの入手方法 35

サスペンド状態、位置 6

サスペンド・ランプ 9

システム拡張コネクタ、位置 7

システム状況インディケータ 8

問題 112

システムのバックアップ

姿勢について

始動順序、変更 29

始動パスワード 80

修理サービス

仕様 131, 133

温度 133

環境 133

寸法 133

電源コード

入力電圧 133

バッテリー・バック 134

発熱量 133

索引

- 状況インディケータ 8
- 状況表示、位置 4
- 情報
 - 入手場所
- 助言
- シリアル・コネクタ
 - 設定 93
- シリアル・コネクタ、位置 5
- シリアル・ポート
 - 問題 123
- シリアル・ポート、設定
- 数字キーボード、使用法
- 数値キーボード、設定
 - キーボード 17
 - 外付け 58
- スクロール 43
- スクロール・ロック・ランプ 9
- スピーカー、位置 4
- 寸法、機械の仕様 133
- 制限事項
- 赤外線通信の問題
- 赤外線ポート
 - 位置 5
 - 設定 92
 - 問題 114
- セキュリティーかぎ穴、位置 5
- セキュリティー機能
 - セキュリティーねじ 86
 - セキュリティー・システム・ロック 86
 - パスワード 80
- セキュリティー・システム・ロック 86
- 接続 70
- セットアップ・パスワード 81
- 外付けキーボード
 - 接続
 - 設定 61
 - 問題 107
- 外付け数値キーボード
 - 接続
- 外付け数値キーボード、設定 58
- 外付けディスプレイ
 - 位置 5
 - 接続
 - 設定 64, 95
 - プラグアンドプレイ 96
- 外付けディスプレイ (続き)
 - 問題 119
- 外付け入力装置コネクタ
 - 位置 5
- 外付けマウス
 - 接続
 - 設定 58, 94
 - 問題 107
- ソフトウェアの回復 126
- ソフトウェアの再インストール 34, 99
- ソフトウェアの問題 124

〔 夕行 〕

- ディスク標準 132
- ディスク・ドライブ、位置 4
- ディスク・ファクトリー
 - 要約 34
- ディスク・ファクトリー、使用
- ディスプレイ 131
 - 解像度 68
 - 表示モードの変更 66
 - モード
- ティルト脚、位置 7
- テクニカル・サポート
- 電源コード
- 電源ジャック、位置 5
- 電源スイッチ
 - 位置 5
- 電源ランプ 9
- 電話援助
- 動作
- 導入済みアプリケーション CD
 - 使用 126
- ドッキング
- ドライブ使用中ランプ 9
- トラックポイント
 - 位置 4
 - 拡大鏡 43
 - カスタマイズ 40
 - キャップの交換 13
 - 使用不可 63
 - スクロール 43
 - 使い方のヒント
 - 使う

トラックポイント (続き)
 動作
 プレス・セレクト
 要約 10
 トラックポイント、設定
 トラックポイントの感度 42
 取り扱い上のヒント 135
 取り外し
 取り付け

〔ナ行〕

内蔵マイクロホン、位置 4
 ナム・ロック・ランプ 9
 入力装置の問題 107

〔ハ行〕

ハードウェア仕様 133
 ハードディスク
 アップグレード 51
 ハードディスク・ドライブのアップグレード
 51
 ハード・ディスク・ドライブ
 アップグレード
 位置 5
 交換
 取り外し
 取り付け 53
 ハード・ディスク・パスワード 80
 ハイパネーション、作成 139
 ハイパネーション・モード
 問題
 パスワード
 設定 83
 タイプ 80
 使う 80
 取り外し 84
 入力 81
 変更 84
 バックアップ
 情報 34
 バッテリー
 交換 36
 バッテリーの寿命を最大長にする 98,
 138

バッテリー (続き)
 問題 112
 バッテリー状況 9
 位置 6
 バッテリー能力、最大化
 バッテリーの問題
 バッテリー・バック
 位置 5
 交換
 操作の最大化
 長持ち
 バッテリーの寿命を最大長にする
 ラッチの位置 7
 バッテリー・メーター
 パラレル・ポート
 位置 5
 汎用シリアル・バス (USB) の問題 115
 ヒント
 プリンター 70
 プリンターの問題 118
 プレス・セレクト
 プレス・セレクト、トラックポイント 40
 ベイ用 LED、位置 7
 ヘッドホン・ジャックの位置 4
 変更、始動順序の 29
 ポート・リプリケーター
 情報 76
 問題 122
 ホット・キー
 ボリューム制御、位置 4

〔マ行〕

マイクロホン・ジャック、位置 4
 メモリー
 計算 49
 仕様 131
 スロットの位置 7
 寸法 49
 取り外し 49
 取り付け 46
 要約 45
 モデム、位置
 モデム、PC カード 74

モデムの問題
問題
 問題判別ガイド 103
問題、記録
問題判別
 インディケータの問題 112
 エラー・コード
 エラー・コードなし
 エラー・コードまたは画面上のメッセージ
 105
 エラー・コードまたは画面上のメッセージ
 で表示されない問題 106
 エラー・メッセージ
 エラー・メッセージなし
 オーディオの問題 114
 ガイド
 サスペンドの問題 108
 赤外線通信の問題 114
 外付けディスプレイの問題 119
 その他のオプションの問題 122
 その他の問題 125
 ソフトウェアの問題 124
 入力装置の問題 107
 ハイバネーション機能の問題 108
 ハイバネーションの問題
 バッテリーの問題 112
 汎用シリアル・バス (USB) の問題 115
 表
 プリンターの問題 118
 ポート・リプリケータの問題 122
 ポート・リプリケータの問題
 モデムの問題
 CD-ROM ドライブの問題 113
 LCD の問題 111
 LED の問題
 PC カードの問題 116
 USB の問題

〔ヤ行〕

よく聞かれる質問と答え

〔ラ行〕

ライン入力ジャック 4
リカバリー CD
 使用 126
リカバリー CD、使用
ロック 86

A

America Online

B

BIOS セットアップ・ユーティリティー 22
 再始動メニュー 31
 始動 22
 始動メニュー 29
 終了 31
 パスワード・メニュー 28
 Advanced サブメニュー 24
 Config メニュー 24
 Date/Time 27
bulletin boards

C

CardBus
 Windows 98 での使用可能化
CD-ROM
 挿入
 取り外し
 問題 113
CD-ROM ドライブ 4
 使う
CD-ROM ドライブ、使用 18
CD-ROM 排出穴、位置 4
CD-ROM 排出ボタンの位置 4
client support line
CompuServe
ConfigSafe 35

D

diskettes, updates

E

EasyServ
enhanced PC support line

F

facsimile assistance
FAQ (Frequently asked questions)
Fn キー
 位置 4
 キーロック
Fn キー機能
Fn キーの組み合わせ 15

I

ID 番号
International Warranty Service

L

LCD 問題 111

N

network and server support line
notices and warranties
 product

O

operating system, updating

P

PC カード
 挿入 71
 取り外し 73

PC カード (続き)

 問題 116

 PC カード・モデム、使用 74

PC カード排出ボタン、位置 4

PC カード・スロット、位置 4

Prodigy

Product Recovery CD-ROM

 要約 34

publications, ordering

T

ThinkPad カスタマイゼーション、使用

ThinkPad にとって厳しい環境 140

ThinkPad の携帯

ThinkPad の清掃

ThinkPad の設定プログラム 32

ThinkPad の取り扱い

U

UltraBay FX 18

 確保 86

 交換 53

 スワッピング 54

 デバイス・ロックの位置 7

 取り付け 54

 ベイ用 LED 7

USB (汎用シリアル・バス)

 位置 5

 問題

W

warranty

 extensions and upgrades

 product

 service, international

Web サイト



部品番号: 27L2685

Printed in Japan



27L2685

&

Grid Definitions

<u>id</u>	<u>File</u>	<u>Page</u>	<u>References</u>
NNTE	C79EPSET	i	46, 65, 71, 74, 100, 100, 101, 133
NINDEX	C79EPSET	i	
IDEX	C79EPSET	i	

Table Definitions

<u>id</u>	<u>File</u>	<u>Page</u>	<u>References</u>
SOFT	C79EPSET	i	
SHAD	C79EPSET	i	133
AX2	C79EPSET	i	138
AX	C79EPSET	i	
THEAD	C79EPSET	i	
BOX	C79EPSET	i	20, 67, 72, 76, 77
BOX2	C79EPSET	i	12, 14
NTE	C79EPSET	i	10, 11, 16, 17, 17, 41, 43, 44, 51, 53, 56, 60, 66, 66, 68, 71, 72, 73, 76, 77
SYMBL	C79EPSYS	8	8, 8, 8
TBL1	C79EPSYS	8	9
TBL0	C79EPSYS	8	9
FNKEY	C79EPFNK	15	15, 15, 16
INT	C79EPFNK	15	15, 15, 16
2PCOL	UGDEPPNT	58	58, 61
HEAD	C79EP3DI	69	69
CH2T1	C79EP3DI	69	69, 69, 69
CH2T2	C79EP3DI	69	69
TTABLE	UGCOMTSG	103	103, 103
COV	UGCOMTSG	103	103, 103
TROUBLE	C79EPTSC	103	103, 103

&

		105	105, 106, 107, 108, 111, 112, 112, 113, 114, 114, 116, 118, 119, 122, 122, 124, 125
TROUB	C79EPTSC	105	115, 119, 120
SERIALT	UGDEPSE	128	128, 128, 128
SERIALF	UGDEPSE	128	128
SERIALH	UGDEPSE	128	
FX2	C79EPUSE	135	135

Headings

<u>id</u>	<u>File</u>	<u>Page</u>	<u>References</u>
SINF	C79EPMST SCRIPT	xiii	安全に正しくお使いいただくために ii
LASER	C79EPMST SCRIPT	xvi	レーザーに関する承諾事項
FAMIL	C79EPMST SCRIPT	1	第1章, ご使用の ThinkPad について xi
LOCT	C79EPMST SCRIPT	3	各部の機能と名称
STATUS	C79EPMST SCRIPT	8	システム状況インディケータ
PTGSTK	UGDEPKBD	10	トラックポイント v
HKFUN	C79EPFNK	14	Fn キー機能
EMBPAD	UGCOMNUK	17	数値キーボード 9
CDROM	C79EPMST SCRIPT	18	CD-ROM ドライブ
TU	C79EPMST SCRIPT	22	ThinkPad ユーティリティ・プログラム
WQ440	C79EPMST SCRIPT	22	BIOS セットアップ・ユーティリティ 125
WQ441	UGDEP3ES	29	Startup
TPFUN	C79EPMST SCRIPT	32	ThinkPad の設定プログラム 14, 63, 65
BKUPSYS	C79EPMST SCRIPT	34	システムのバックアップ
WEB	UGCOMBAK	35	最新のソフトウェアの入手方法 34
RMVBTT	C79EPMST SCRIPT	36	バッテリー・バックの交換

		51	
SYSP	C79EPMST SCRIPT	39	第2章, ThinkPad 機能の拡張 xi
CUSTMT	C79EPMST SCRIPT	40	トラックポイントのカスタマイズ 10, 12
EXMEM	C79EPMST SCRIPT	45	メモリーの増設
RHDD	C79EPMST SCRIPT	51	ハードディスク・ドライブのアップグレード
REPBUY	C79EPMST SCRIPT	53	ウルトラベイ FX デバイスの交換 18, 37
ATNUM	C79EPMST SCRIPT	58	マウス、数値キーパッド、および外付けキーボードの接続
S MOUSE	C79EPMST SCRIPT	63	トラックポイントの使用不可 60
DISPLY	C79EPMST SCRIPT	64	外付けディスプレイの接続
DISPLOC	DISCHAN	66	ディスプレイの表示モードの変更 26
DSVGA	C79EP3DI	68	解像度、色数、およびリフレッシュ・レート 66
INSTCA	C79EPMST SCRIPT	71	PC カードの取り付け v
MPCC	C79EPUPC	74	PC カード・モデム (オプション) の取り付け
CBSOCK	UGCOMUPR	78	CardBus スロットを使用可能にするには (Windows 98 の場合)
SECUR	C79EPMST SCRIPT	79	第3章, システムの保護 xi
PASSWRD	UGCOMSEC	80	パスワードの使用 28
ENTPASS	UGCOMSEC	81	パスワードの入力
SETPASS	UGCOMSEC	83	パスワードの設定 105, 105
REMPop	UGCOMSEC	84	パスワードの変更と消去
KENSIN	UGCOMSEC	86	ロック機能の使用
SCREW	UGCOMSEC	86	セキュリティーねじの使用 53
SOLV	C79EPMST SCRIPT	89	第4章, 問題が起こったら... xi
QANDA	C79EPMST SCRIPT	90	よく聞かれる質問とその答え
RNL05	UGCOMLIM	102	2 枚目の CardBus カードの使用

&

CHARTS	C79EPMST SCRIPT	104	問題判別表 103
ECODES	C79EPTSC	105	エラー・コードまたは画面上のメッセージ 104
PRB2	C79EPTSC	106	エラー・コードまたは画面上のメッセージで表示されない問題 104
INP	C79EPTSC	107	入力装置の問題 104
SAVEP	C79EPTSC	108	サスペンド・モードまたはハイバネーション・モードの問題 104
LCDPR	C79EPTSC	111	液晶ディスプレイ (LCD) の問題 104
INDPRB	C79EPTSC	112	インディケータの問題 104
BATPRB	C79EPTSC	112	バッテリーの問題 104
CDPRB	C79EPTSC	113	CD-ROM ドライブの問題 104
IRPRB	C79EPTSC	114	赤外線通信の問題 104
TCAUDIO	C79EPTSC	114	オーディオの問題
USBPRB	C79EPTSC	115	汎用シリアル・バス (USB) の問題 104
PCPRB	C79EPTSC	116	PC カードの問題 104
PRNPRB	C79EPTSC	118	プリンターの問題 104
EXTDIS	C79EPTSC	119	外付けディスプレイの問題 104, 106
PRPRB	C79EPTSC	122	ポート・リプリケータの問題 104
OOPPRB	C79EPTSC	122	その他のオプションの問題 104
SFTPRB	C79EPTSC	124	ソフトウェアの問題 104
GENPR	C79EPTSC	125	その他の問題 104
RCD	C79EPMST SCRIPT	126	削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復 34, 103

&

RECOVCD	C79EPRCD	126	リカバリー CD の使用 34, 99
FACT	C79EPRCD	126	導入済みアプリケーション CD の使用 34
SERVICE	C79EPMST SCRIPT	127	第5章, サービス体制 xi, 103
INFOR	UGDEPSE	128	お使いの ThinkPad に関する情報 127
RECID	UGDEPSE	128	ID 番号の記録
PRBSEET	UGDEPSE	129	問題記録用紙 127
SPECIF	C79EPMST SCRIPT	131	付録A, 製品仕様 xi, 108
FTRS	C79EPSPC	131	機能
SPECS	C79EPSPC	133	仕様
CARE	C79EPMST SCRIPT	135	付録B, 取り扱い上のヒント ii, xi
WQ448	C79EPUSE	139	ハイバネーション機能の作成 48, 110
RUGG	C79EPUSE	140	ThinkPad にとっての厳しい環境 136
NOTIC	C79EPMST SCRIPT	141	付録C, 特記事項 ii
TRADEM	UGCOMNT1	142	商標
GLOSS	C79EPMST SCRIPT	145	用語集

Index Entries

<u>id</u>	<u>File</u>	<u>Page</u>	<u>References</u>
WQX2	INID	i	(1) 安全に正しくお使いいただくために
WQX3	INID	i	(1) 液晶ディスプレイ
WQX4	INID	i	(1) 液晶ディスプレイ (2) ラッチの位置 3
WQX5	INID	i	(1) 内蔵マイクロホン、位置 4

&

WQX6	INID	i	(1) 内蔵マイクロホン、位置 4
WQX7	INID	i	(1) 輝度調節つまみ、位置 4
WQX8	INID	i	(1) モデム、位置
WQX9	INID	i	(1) ヘッドホン・ジャックの位置 4
WQX10	INID	i	(1) ライン入力ジャック 4
WQX11	INID	i	(1) マイクロホン・ジャック、位置 4
WQX12	INID	i	(1) PC カード・スロット、位置 4
WQX13	INID	i	(1) PC カード排出ボタン、位置 4
WQX14	INID	i	(1) ボリューム制御、位置 4
WQX15	INID	i	(1) ディスケット・ドライブ、位置 4
WQX16	INID	i	(1) CD-ROM ドライブ 4
WQX17	INID	i	(1) CD-ROM 排出ボタンの位置 4
WQX18	INID	i	(1) CD-ROM 排出穴、位置 4
WQX19	INID	i	(1) トラックポイント
WQX20	INID	i	(1) トラックポイント (2) 位置 4
WQX21	INID	i	(1) Fn キー
WQX22	INID	i	(1) Fn キー (2) 位置 4
WQX23	INID	i	(1) 状況表示、位置 4
WQX24	INID	i	(1) インディケータの位置 4
WQX25	INID	i	(1) スピーカー、位置 4

WQX26	INID	i	(1) バッテリー・バック
WQX27	INID	i	(1) バッテリー・バック (2) 位置 5
WQX28	INID	i	(1) 赤外線ポート
WQX29	INID	i	(1) 赤外線ポート (2) 位置 5
WQX30	INID	i	(1) 電源スイッチ
WQX31	INID	i	(1) 電源スイッチ (2) 位置 5
WQX32	INID	i	(1) USB (汎用シリアル・バス)
WQX33	INID	i	(1) USB (汎用シリアル・バス) (2) 位置 5
WQX34	INID	i	(1) 電源ジャック、位置 5
WQX35	INID	i	(1) 外付けディスプレイ
WQX36	INID	i	(1) 外付けディスプレイ (2) 位置 5
WQX37	INID	i	(1) シリアル・コネクタ、位置 5
WQX38	INID	i	(1) セキュリティかぎ穴、位置 5
WQX39	INID	i	(1) ハード・ディスク・ドライブ
WQX40	INID	i	(1) ハード・ディスク・ドライブ (2) 位置 5
WQX41	INID	i	(1) パラレル・ポート
WQX42	INID	i	(1) パラレル・ポート (2) 位置 5
WQX43	INID	i	(1) 外付け入力装置コネクタ
WQX44	INID	i	(1) 外付け入力装置コネクタ (2) 位置 5
WQX45	INID	i	(1) バッテリー状況

&

WQX46	INID	i	(1) バッテリー状況 (2) 位置 6
WQX47	INID	i	(1) サスペンド状態、位置 6
WQX48	INID	i	(1) ティルト脚、位置 7
WQX49	INID	i	(1) メモリー
WQX50	INID	i	(1) メモリー (2) スロットの位置 7
WQX51	INID	i	(1) バッテリー・バック
WQX52	INID	i	(1) バッテリー・バック (2) ラッチの位置 7
WQX53	INID	i	(1) ベイ用 LED、位置 7
WQX54	INID	i	(1) UltraBay FX
WQX55	INID	i	(1) UltraBay FX (2) ベイ用 LED 7
WQX56	INID	i	(1) UltraBay FX
WQX57	INID	i	(1) UltraBay FX (2) デバイス・ロックの位置 7
WQX58	INID	i	(1) システム拡張コネクタ、位置 7
WQX59	INID	i	(1) 状況インディケータ 8
WQX60	INID	i	(1) バッテリー状況 9
WQX61	INID	i	(1) サスペンド・ランプ 9
WQX62	INID	i	(1) ドライブ使用中ランプ 9
WQX63	INID	i	(1) ナム・ロック・ランプ 9
WQX64	INID	i	(1) キャップス・ロック・ランプ 9
WQX65	INID	i	(1) キャップス・ロック・ランプ 9

&

		i	(1) スクロール・ロック・ランプ 9
WQX66	INID	i	(1) 電源ランプ 9
WQX67	INID	i	(1) トラックポイント
WQX68	INID	i	(1) トラックポイント
WQX69	INID	i	(1) トラックポイント (2) 使う
WQX70	INID	i	(1) トラックポイント
WQX71	INID	i	(1) トラックポイント (2) 使い方のヒント
WQX72	INID	i	(1) トラックポイント
WQX73	INID	i	(1) トラックポイント (2) キャップの交換
WQX74	INID	i	(1) Fn キー機能
WQX75	INID	i	(1) キーの組み合わせ
WQX76	INID	i	(1) ホット・キー
WQX77	INID	i	(1) Fn キー
WQX78	INID	i	(1) Fn キー (2) キーロック
WQX79	INID	i	(1) バッテリー・メーター
WQX80	INID	i	(1) 数字キーパッド、使用法
WQX81	INID	i	(1) UltraBay FX 18
WQX82	INID	i	(1) CD-ROM ドライブ
WQX83	INID	i	(1) CD-ROM ドライブ
WQX84	INID	i	(1) CD-ROM ドライブ (2) 使う
WQX85	INID	i	(1) CD-ROM
WQX86	INID	i	(1) CD-ROM (2) 挿入
WQX87	INID	i	(1) CD-ROM
WQX88	INID	i	(1) CD-ROM (2) 取り外し
WQX89	INID	i	(1) BIOS セットアップ・ユーティリティー

			22
WQX90	INID		
WQX91	INID	i	(1) BIOS セットアップ・ユーティリティ
WQX92	INID		(1) BIOS セットアップ・ユーティリティ
WQX93	INID	i	(1) BIOS セットアップ・ユーティリティ (2) Config メニュー
			22
WQX94	INID		(1) BIOS セットアップ・ユーティリティ
WQX95	INID	i	(1) BIOS セットアップ・ユーティリティ (2) Advanced サブメニュー
			24
WQX96	INID		(1) BIOS セットアップ・ユーティリティ
WQX97	INID	i	(1) BIOS セットアップ・ユーティリティ (2) Date/Time
			27
WQX98	INID		(1) BIOS セットアップ・ユーティリティ
WQX99	INID	i	(1) BIOS セットアップ・ユーティリティ (2) パスワード・メニュー
			28
WQX100	INID		(1) BIOS セットアップ・ユーティリティ
WQX101	INID	i	(1) BIOS セットアップ・ユーティリティ (2) 始動メニュー
			29
WQX102	INID	i	(1) 変更、始動順序の
			29
WQX103	INID	i	(1) 始動順序、変更
			29
WQX104	INID		(1) BIOS セットアップ・ユーティリティ
WQX105	INID	i	(1) BIOS セットアップ・ユーティリティ (2) 再始動メニュー
			31
WQX106	INID		(1) BIOS セットアップ・ユーティリティ
WQX107	INID	i	(1) BIOS セットアップ・ユーティリティ (2) 終了
			31
WQX108	INID		(1) ThinkPad の設定プログラム
			32
WQX109	INID		

&

WQX110	INID	i	(1) オンライン・ユーザーズ・ガイド
WQX111	INID	i	(1) システムのバックアップ
WQX112	INID	i	(1) ConfigSafe
WQX113	INID	i	(1) Web サイト
WQX114	INID	i	(1) バッテリー・バック
WQX115	INID	i	(1) バッテリー・バック (2) 交換
WQX116	INID	i	(1) ThinkPad の取り扱い
WQX117	INID	i	(1) 管理と保守
WQX118	INID	i	(1) ThinkPad の清掃
WQX119	INID	i	(1) ThinkPad の携帯
WQX120	INID	i	(1) バッテリー・バック
WQX121	INID	i	(1) バッテリー・バック (2) 長持ち
WQX122	INID	i	(1) バッテリー能力、最大化
WQX123	INID	i	(1) バッテリー・バック
WQX124	INID	i	(1) バッテリー・バック (2) 操作の最大化
WQX125	INID	i	(1) ハイバネーション、作成 139
WQX126	INID	i	(1) 姿勢について
WQX127	INID	i	(1) 情報
WQX128	INID	i	(1) 情報 (2) 入手場所
WQX129	INID	i	(1) トラックポイント
WQX130	INID	i	(1) トラックポイント (2) カスタマイズ
WQX131	INID	i	(1) プレス・セレクト
WQX132	INID	i	(1) トラックポイント
WQX133	INID	i	(1) トラックポイント (2) プレス・セレクト
WQX134	INID	i	(1) 動作
WQX135	INID	i	(1) トラックポイント

&

		i	(1) トラックポイント (2) 動作
WQX136	INID	i	(1) スクロール 43
WQX137	INID	i	(1) 拡大鏡 43
WQX138	INID	i	(1) トラックポイント
WQX139	INID	i	(1) トラックポイント (2) スクロール 43
WQX140	INID	i	(1) トラックポイント
WQX141	INID	i	(1) トラックポイント (2) 拡大鏡 43
WQX142	INID	i	(1) メモリー
WQX143	INID	i	(1) オプション
WQX144	INID	i	(1) オプション (2) メモリー、増設
WQX145	INID	i	(1) メモリー
WQX146	INID	i	(1) メモリー (2) 取り付け
WQX147	INID	i	(1) メモリー
WQX148	INID	i	(1) メモリー (2) 計算 49
WQX149	INID	i	(1) メモリー
WQX150	INID	i	(1) メモリー (2) 寸法 49
WQX151	INID	i	(1) メモリー
WQX152	INID	i	(1) メモリー (2) 取り外し
WQX153	INID	i	(1) ハード・ディスク・ドライブ
WQX154	INID	i	(1) オプション
WQX155	INID	i	(1) オプション (2) ハード・ディスク・ドライブのアップグレード
WQX156	INID	i	(1) ハード・ディスク・ドライブ
WQX157	INID	i	(1) ハード・ディスク・ドライブ

&

		i	(1) ハード・ディスク・ドライブ (2) アップグレード
WQX158	INID	i	(1) ハード・ディスク・ドライブ
WQX159	INID	i	(1) ハード・ディスク・ドライブ (2) 交換
WQX160	INID	i	(1) ハード・ディスク・ドライブ
WQX161	INID	i	(1) ハード・ディスク・ドライブ (2) 取り外し
WQX162	INID	i	(1) ハード・ディスク・ドライブ
WQX163	INID	i	(1) ハード・ディスク・ドライブ (2) 取り付け 53
WQX164	INID	i	(1) UltraBay FX
WQX165	INID	i	(1) UltraBay FX (2) 交換 53
WQX166	INID	i	(1) オプション
WQX167	INID	i	(1) オプション (2) UltraBay FX・デバイス 53
WQX168	INID	i	(1) UltraBay FX
WQX169	INID	i	(1) UltraBay FX (2) スワッピング 54
WQX170	INID	i	(1) UltraBay FX
WQX171	INID	i	(1) UltraBay FX (2) 取り付け 54
WQX172	INID	i	(1) 外付けマウス
WQX173	INID	i	(1) 外付けマウス (2) 接続
WQX174	INID	i	(1) 外付けキーボード
WQX175	INID	i	(1) 外付けキーボード (2) 接続
WQX176	INID	i	(1) 外付け数値キーパッド
WQX177	INID	i	(1) 外付け数値キーパッド (2) 接続
WQX178	INID	i	(1) トラックポイント

&

WQX179	INID	i	(1) トラックポイント (2) 使用不可 63
WQX180	INID	i	(1) 外付けディスプレイ
WQX181	INID	i	(1) 外付けディスプレイ (2) 接続
WQX182	INID	i	(1) ディスプレイ
WQX183	INID	i	(1) ディスプレイ (2) 表示モードの変更 66
WQX184	INID	i	(1) 液晶ディスプレイ
WQX185	INID	i	(1) 液晶ディスプレイ (2) 表示モードの切り換え 66
WQX186	INID	i	(1) ディスプレイ
WQX187	INID	i	(1) ディスプレイ (2) モード
WQX188	INID	i	(1) 液晶ディスプレイ
WQX189	INID	i	(1) 液晶ディスプレイ (2) 表示モード
WQX190	INID	i	(1) プリンター 70
WQX191	INID	i	(1) PC カード
WQX192	INID	i	(1) PC カード
WQX193	INID	i	(1) ポート・リプリケーター
WQX194	INID	i	(1) オプション
WQX195	INID	i	(1) オプション (2) ポート・リプリケーター
WQX196	INID	i	(1) ポート・リプリケーター
WQX197	INID	i	(1) ポート・リプリケーター
WQX198	INID	i	(1) CardBus
WQX199	INID	i	(1) CardBus (2) Windows 98 での使用可能化
WQX200	INID	i	(1) セキュリティ機能
WQX201	INID	i	(1) セキュリティ機能 (2) パスワード

&

			80
WQX202	INID		
		i	(1) パスワード
WQX203	INID		
		i	(1) パスワード (2) 使う
			80
WQX204	INID		
		i	(1) パスワード
WQX205	INID		
		i	(1) パスワード (2) タイプ
			80
WQX206	INID		
		i	(1) 始動パスワード
			80
WQX207	INID		
		i	(1) ハード・ディスク・パスワード
			80
WQX208	INID		
		i	(1) セットアップ・パスワード
			81
WQX209	INID		
		i	(1) パスワード
WQX210	INID		
		i	(1) パスワード (2) 入力
			81
WQX211	INID		
		i	(1) パスワード
WQX212	INID		
		i	(1) パスワード (2) 設定
			83
WQX213	INID		
		i	(1) パスワード
WQX214	INID		
		i	(1) パスワード (2) 変更
			84
WQX215	INID		
		i	(1) パスワード
WQX216	INID		
		i	(1) パスワード (2) 取り外し
			84
WQX217	INID		
		i	(1) セキュリティ機能
WQX218	INID		
		i	(1) セキュリティ機能 (2) セキュリティ・システム・ロック
			86
WQX219	INID		
		i	(1) セキュリティ・システム・ロック
			86
WQX220	INID		
		i	(1) ロック
			86
WQX221	INID		

&

WQX222	INID	i	(1) セキュリティー機能
		i	(1) セキュリティー機能 (2) セキュリティーねじ 86
WQX223	INID		
WQX224	INID	i	(1) UltraBay FX
		i	(1) UltraBay FX (2) 確保 86
WQX225	INID		
		i	(1) FAQ (Frequently asked questions)
WQX226	INID		
		i	(1) よく聞かれる質問と答え
WQX227	INID		
		i	(1) 赤外線ポート
WQX228	INID		
		i	(1) 赤外線ポート (2) 設定
WQX229	INID		
		i	(1) シリアル・ポート、設定
WQX230	INID		
		i	(1) トラックポイント、設定
WQX231	INID		
		i	(1) 外付けディスプレイ
WQX232	INID		
		i	(1) 外付けディスプレイ (2) 設定
WQX233	INID		
		i	(1) バッテリー・パック
WQX234	INID		
		i	(1) バッテリー・パック (2) バッテリーの寿命を最大長にする
WQX235	INID		
		i	(1) ヒント
WQX236	INID		
		i	(1) 助言
WQX237	INID		
		i	(1) 制限事項
WQX238	INID		
		i	(1) 問題判別
WQX239	INID		
		i	(1) 問題判別 (2) ガイド
WQX240	INID		
		i	(1) 問題判別
WQX241	INID		
		i	(1) 問題判別 (2) 表
WQX242	INID		
		i	(1) 問題判別
WQX243	INID		
		i	(1) 問題判別 (2) エラー・メッセージ
WQX244	INID		
		i	(1) 問題判別
WQX245	INID		
		i	(1) 問題判別

&

			(2) エラー・コード
WQX246	INID	i	(1) エラー・メッセージ
WQX247	INID	i	(1) エラー・コード
WQX248	INID	i	(1) 問題判別
WQX249	INID	i	(1) 問題判別 (2) エラー・メッセージなし
WQX250	INID	i	(1) 問題判別
WQX251	INID	i	(1) 問題判別 (2) エラー・コードなし
WQX252	INID	i	(1) 問題判別
WQX253	INID	i	(1) 問題判別 (2) 入力装置の問題
WQX254	INID	i	(1) 入力装置の問題
WQX255	INID	i	(1) 問題判別
WQX256	INID	i	(1) 問題判別 (2) サスペンドの問題
WQX257	INID	i	(1) 問題判別
WQX258	INID	i	(1) 問題判別 (2) ハイバネーションの問題
WQX259	INID	i	(1) ハイバネーション・モード
WQX260	INID	i	(1) ハイバネーション・モード (2) 問題
WQX261	INID	i	(1) 問題判別
WQX262	INID	i	(1) 問題判別 (2) LCD の問題
WQX263	INID	i	(1) 液晶ディスプレイ
WQX264	INID	i	(1) 液晶ディスプレイ (2) 問題
WQX265	INID	i	(1) 問題判別
WQX266	INID	i	(1) 問題判別 (2) インディケータの問題
WQX267	INID	i	(1) 問題判別
WQX268	INID	i	(1) 問題判別 (2) LED の問題
WQX269	INID	i	(1) バッテリーの問題

&

WQX270	INID	i	(1) 問題判別
WQX271	INID	i	(1) 問題判別 (2) バッテリーの問題
WQX272	INID	i	(1) 問題判別
WQX273	INID	i	(1) 問題判別 (2) CD-ROM ドライブの問題
WQX274	INID	i	(1) CD-ROM
WQX275	INID	i	(1) CD-ROM (2) 問題
WQX276	INID	i	(1) 問題判別
WQX277	INID	i	(1) 問題判別 (2) 赤外線通信の問題
WQX278	INID	i	(1) 赤外線通信の問題
WQX279	INID	i	(1) オーディオの問題 114
WQX280	INID	i	(1) 問題判別
WQX281	INID	i	(1) 問題判別 (2) オーディオの問題 114
WQX282	INID	i	(1) USB (汎用シリアル・バス)
WQX283	INID	i	(1) USB (汎用シリアル・バス) (2) 問題
WQX284	INID	i	(1) 問題判別
WQX285	INID	i	(1) 問題判別 (2) USB の問題
WQX286	INID	i	(1) モデムの問題
WQX287	INID	i	(1) 問題判別
WQX288	INID	i	(1) 問題判別 (2) モデムの問題
WQX289	INID	i	(1) PC カード
WQX290	INID	i	(1) PC カード (2) 問題
WQX291	INID	i	(1) 問題判別
WQX292	INID	i	(1) 問題判別 (2) PC カードの問題
WQX293	INID		

&

WQX294	INID	i	(1) プリンターの問題
WQX295	INID	i	(1) 問題判別
WQX296	INID	i	(1) 問題判別 (2) プリンターの問題
WQX297	INID	i	(1) 外付けディスプレイ
WQX298	INID	i	(1) 外付けディスプレイ (2) 問題
WQX299	INID	i	(1) 問題判別
WQX300	INID	i	(1) 問題判別 (2) 外付けディスプレイの問題
WQX301	INID	i	(1) ポート・リプリケーター
WQX302	INID	i	(1) ポート・リプリケーター (2) 問題
WQX303	INID	i	(1) 問題判別
WQX304	INID	i	(1) 問題判別 (2) ポート・リプリケーターの問題
WQX305	INID	i	(1) 問題判別 (2) その他のオプションの問題
WQX306	INID	i	(1) ソフトウェアの問題
WQX307	INID	i	(1) 問題判別
WQX308	INID	i	(1) 問題判別 (2) ソフトウェアの問題
WQX309	INID	i	(1) 問題判別
WQX310	INID	i	(1) 問題判別 (2) その他の問題
WQX311	INID	i	(1) ディスケット・ファクトリー、使用
WQX312	INID	i	(1) ThinkPad カスタマイゼーション、使用
WQX313	INID	i	(1) リカバリー CD、使用
WQX314	INID	i	(1) 修理サービス
WQX315	INID	i	(1) 修理サービス
WQX316	INID	i	(1) 問題、記録
WQX317	INID	i	(1) サービス
WQX318	INID	i	(1) サービス

&

			(2) 入手方法
WQX319	INID		
		i	(1) 修理サービス
WQX320	INID		
		i	(1) テクニカル・サポート
WQX321	INID		
		i	(1) 電話援助
WQX322	INID		
		i	(1) EasyServ
WQX323	INID		
		i	(1) warranty
WQX324	INID		
		i	(1) warranty (2) service, international
WQX325	INID		
		i	(1) International Warranty Service
WQX326	INID		
		i	(1) facsimile assistance
WQX327	INID		
		i	(1) bulletin boards
WQX328	INID		
		i	(1) CompuServe
WQX329	INID		
		i	(1) Prodigy
WQX330	INID		
		i	(1) America Online
WQX331	INID		
		i	(1) enhanced PC support line
WQX332	INID		
		i	(1) client support line
WQX333	INID		
		i	(1) network and server support line
WQX334	INID		
		i	(1) warranty
WQX335	INID		
		i	(1) warranty (2) extensions and upgrades
WQX336	INID		
		i	(1) operating system, updating
WQX337	INID		
		i	(1) diskettes, updates
WQX338	INID		
		i	(1) publications, ordering
WQX339	INID		
		i	(1) 機構 131
WQX340	INID		
		i	(1) メモリー
WQX341	INID		
		i	(1) メモリー (2) 仕様 131
WQX342	INID		
		i	(1) ディスプレイ 131
WQX343	INID		
		i	(1) キーボード、仕様 131
WQX344	INID		

&

		i	(1) 基準、ディスク 132
WQX345	INID	i	(1) ディスク基準 132
WQX346	INID	i	(1) 仕様 133
WQX347	INID	i	(1) ハードウェア仕様 133
WQX348	INID	i	(1) 仕様
WQX349	INID	i	(1) 仕様 (2) 寸法 133
WQX350	INID	i	(1) 寸法、機械の仕様 133
WQX351	INID	i	(1) 仕様
WQX352	INID	i	(1) 仕様 (2) 環境 133
WQX353	INID	i	(1) 仕様
WQX354	INID	i	(1) 仕様 (2) 温度 133
WQX355	INID	i	(1) 温度、機械の仕様 133
WQX356	INID	i	(1) 仕様
WQX357	INID	i	(1) 仕様 (2) 発熱量 133
WQX358	INID	i	(1) 仕様
WQX359	INID	i	(1) 仕様 (2) 入力電圧 133
WQX360	INID	i	(1) 仕様
WQX361	INID	i	(1) 仕様 (2) バッテリー・バック 134
WQX362	INID	i	(1) 電源コード
WQX363	INID	i	(1) 仕様
WQX364	INID	i	(1) 仕様

&

WQX365	INID		(2) 電源コード
WQX366	INID	i	(1) warranty
WQX367	INID	i	(1) warranty (2) product
WQX368	INID	i	(1) notices and warranties
SYSIN	C79EPSYS	8	(1) システム状況インディケータ

List Items

<u>id</u>	<u>File</u>	<u>Page</u>	<u>References</u>
DISCARD	UGDEP3ES	31	23

Revisions

<u>id</u>	<u>File</u>	<u>Page</u>	<u>References</u>
FIRST	C79EPSET	i	10, 10, 40, 40, 41, 41, 51, 51, 65, 65, 66, 66, 66, 66, 72, 72, 76, 76, 77, 77, 78, 78, 78, 78, 92, 92, 93, 93, 95, 96, 96, 97, 98, 98, 135, 135, 147, 147
SEC	C79EPSET	i	12, 12, 76, 76, 77, 77, 123, 123, 136, 136, 137, 137
APP	C79EPSET	i	
EDIT	C79EPSET	i	iv, iv, v, v, 74, 74, 96, 96, 97, 111, 111, 114, 114, 120, 120, 121, 121, 121, 121, 121, 121, 135, 135, 138, 138

&

Spots

<u>id</u>	<u>File</u>	<u>Page</u>	<u>References</u>
SAFE	UGCOMSAF	xv	(no text)
BACK	C79EPLOC	5	(no text)
SYSST	C79EPSYS	8	(no text)
STKP	UGDEPKBD	10	(no text)
HKFN	C79EPFNK	14	(no text)
CDRD	C79EPROM	18	(no text)
REPACK	C79EPRBP	36	(no text)
MEMSPT	C79EPMEM	45	(no text)
INSTMEM	C79EPMEM	46	(no text)
			48
DIMM	C79EPMEM	46	(no text)
CALCMEM	C79EPMEM	48	(no text)
			48
SCRNEXP	C79EP3DI	68	(no text)
			26
SRES	C79EP3DI	68	(no text)
SECC	C79EPMST SCRIPT	79	(no text)
SOLVE	C79EPMST SCRIPT	89	(no text)
FAQ01	C79EPFAQ	92	(no text)
			90
FAQ02	C79EPFAQ	92	(no text)
			90
FAQ03	C79EPFAQ	93	(no text)
			90
FAQ04	C79EPFAQ	94	(no text)
			90
FAQ05	C79EPFAQ	95	(no text)
			90
FAQ06	C79EPFAQ	96	(no text)
			90
FAQ07	C79EPFAQ	98	(no text)
			90

&

FAQ08	C79EPFAQ	99	(no text) 90
FAQ09	C79EPFAQ	99	(no text) 90
HIBP	C79EPTSC	108	(no text)
DISST	C79EPTSC	112	(no text)
PCPRBS	C79EPTSC	116	(no text)
OPTION	C79EPTSC	122	(no text)
SOFT	C79EPTSC	124	(no text)
IDNUM	UGDEPSE	128	(no text)
FSPC	C79EPSPC	131	(no text)
BIT	UGCOMGLO	145	(no text)

Processing Options

Runtime values:

Document fileid	C79EPMST SCRIPT
Document type	USERDOC
Document style	YMHWART8
Profile	EDFPRF40
Service Level	0028
SCRIPT/VS Release	4.0.0
Date	98.09.14
Time	13:52:03
Device	PSA
Number of Passes	3
Index	YES
SYSVAR G	INLINE
SYSVAR X	YES

Formatting values used:

Annotation	NO
Cross reference listing	YES
Cross reference head prefix only	NO
Dialog	LABEL
Duplex	YES
DVCF conditions file	(none)
DVCF value 1	(none)
DVCF value 2	(none)
DVCF value 3	(none)
DVCF value 4	(none)
DVCF value 5	(none)
DVCF value 6	(none)
DVCF value 7	(none)

&

DVCF value 8	(none)
DVCF value 9	(none)
Explode	NO
Figure list on new page	YES
Figure/table number separation	YES
Folio-by-chapter	NO
Head 0 body text	(none)
Head 1 body text	第
Head 1 appendix text	付録
Hyphenation	NO
Justification	NO
Language	JAPA
Keyboard	395
Layout	OFF
Leader dots	YES
Master index	(none)
Partial TOC (maximum level)	(none)
Partial TOC (new page after)	INLINE
Print example id's	NO
Print cross reference page numbers	YES
Process value	(none)
Punctuation move characters	(none)
Read cross-reference file	(none)
Running heading/footing rule	NONE
Show index entries	NO
Table of Contents (maximum level)	(none)
Table list on new page	YES
Title page (draft) alignment	LEFT
Write cross-reference file	(none)

Imbed Trace

Page 0	C79EPSET
Page 0	C79EPSYM
Page 0	INID
Page ii	C79EPINT
Page iv	C79EPHIG
Page xi	C79EPATB
Page xi	UGCOMICN
Page xiii	UGCOMSAF
Page xvi	C79EPLAS
Page 3	C79EPLOC
Page 8	C79EPSYS
Page 10	C79EPHRD
Page 10	UGDEPKBD
Page 14	C79EPFNK
Page 17	UGCOMNUK
Page 18	ULTRABAY
Page 18	C79EPROM
Page 22	UGDEP3ES
Page 32	UGDEP3TF
Page 34	UGCOMBAK
Page 36	C79EPRBP
Page 40	UGCOMTRP

&

Page 45	C79EPMEM
Page 51	C79EPHDD
Page 53	ULTRBFXD
Page 58	UGDEPPNT
Page 63	UGCOMDTP
Page 64	C79EP3DI
Page 66	DISCHAN
Page 71	C79EPUPC
Page 76	UGCOMUPR
Page 79	UGCOMSEC
Page 90	C79EPFAQ
Page 100	UGCOMLIM
Page 103	UGCOMTSG
Page 104	C79EPTSC
Page 126	C79EPRCD
Page 127	UGDEPSER
Page 131	C79EPSPC
Page 135	C79EPUSE
Page 141	UGCOMNT1
Page 145	UGCOMGLO
Page 149	DBCS DSMDBIX